明治四十八年十二月十五日 第三種郵便物認可

滿洲日報

議會解散の時機 犬養首相に一任する

反對黨の態度如何に應じ

【東京十八日發】政府の議會對策については十八日の閣議で協議されたが、要するに解散必至は免れぬ處なるも斷行の時期を三大臣の演說直後とするか、或は兌換停止緊急勅令事後承諾案、滿洲事件費の協贊を求めたる後これを行ふかは**反對黨の議場における情況に應ずべきものであるが**反對黨が殊更に政府の立場を暴露せんとする如き情勢においては**三相の演說直後、解散斷行も亦已むを得ざるべく**不祥事件が論議となりたる場合においても犬養首相より進んで說明を行ひたる後にても可なるべきを以て何れにするも機宜の處置は議場の情況に應じ**犬養首相に一任すべきであるとの意見に一致**したが、反對黨の出やうに應ずべき必要あるため明十九日の閣議においても協議し絕對秘密を守る事となつた

解散は廿一日

一名位の質問を許すか

【東京十八日發】十八日の閣議は解散時機につき休會明け當日犬養首相、芳澤外相、高橋藏相の演說終了後斷行し反對黨の質問は議場の空氣に顧み一名位を許すべきもこの點は犬養首相に一任すべしといふに一致を見、明十九日閣議にて犬養首相の承認を得る事となつたが、その結果、政府は開會劈頭**滿洲事變費及び兌換停止緊急勅令事後承諾案を提出すべきも必ずしもその通過を待たず**一に解散の時機を誤つて政治的不利を招くを避くる方針を執る事となつたもので、**二十一日の解散斷行は免れぬ**ものとなつた

首相施政演說骨子

長官會議の訓示を基礎

【東京十八日發】十八日の閣議で決定した首相の施政方針演說內容は曩に地方長官に與へた訓示の論點たる

一、不祥事件と留任事情

一、金輸出再禁止斷行事情

一、現內閣の政策遂行と七年度豫算との關係

一、政策遂行の順序

一、滿蒙對策

一、思想善導問題

等を基礎としこれに政府今後の時局對策に關する具體的方針を闡明

財政演說は 詳細を極めん

【東京十八日發】政府は明十九日午前十時臨時閣議を開き高橋藏相の財政演說、芳澤外相の外交演說を決定すること、なつたが、高橋藏相は十八日の閣議においても井上前藏相の處置につき甚だしき不滿を漏らしてゐるため相當突つ込んだ意見を述べたいといつて居り財政演說は長文詳細を極めるものと見られてゐる

に述べ所要時間二十分乃至三十分を要するものであると

閣議で議會策 協議

【東京十八日發】十八日の定例閣議は午前十時より開會、犬養首相病氣の爲め缺席、先づ對議會策につき種々協議した結果、解散は必然の勢ひと見て準備する事に意見一致を見、次いで來る二十一日休會明け劈頭……

事變費追加豫算

きのふ閣議にて決定

【東京十八日發】滿洲事變六年度追加豫算案は十八日の閣議で左の通り決定した

一、一般會計 二〇、九〇七、二八…

內譯	
外務省	三、〇三五、九二…
陸軍省	一六、〇二二、一…
海軍省	一、八四九、一…

一、特別會計

關東廳	一四〇、三…

尙一般會計分は公債に依つて支…

貴院で前藏相が 代表的質問

民政黨側の對議會策

【東京十八日發】民政黨は休會明け議會劈頭の解散を覺悟し對議會策を練つてゐるが、若し政府が衆議院に質問の機を與へず、拔打的解散をなす場合は貴族院における質問のみに依つて野黨の態度を明かにし得るのみなので、是非井上前藏相を立て財政問題特に金再禁止問題につき代表的質問を行はしむべく苦心し貴院の質問順は抽籤に依り決定するため民政系議員は順位を井上氏に讓るべく諒解が出來てゐる、一方衆議院において質問が許さるゝ場合は、鈴木富士彌氏を第一陣に齋藤隆夫、小川鄉太郎氏を第二陣に立て、內閣留任問題につき臣節如何と財政問題とを質問する方針を立てゝゐるが、同……

會明け劈頭犬養首相が爲す施政方針演說の大綱を決定、藏相、外相の施政演說は更に十九日午前十時から臨時閣議を開き藏相の財政演說、外相の外交演說につき繼續審議を進める事になつたが

一、藏相の財政演說は前段に金解禁から再禁止までの財政經濟各般の實情を暴露し後段には新財政計畫樹立に關する抱負經綸を詳述し經濟的再建の急務と全般的方策に論及する

一、外相の外交演說は歐米列強並に國際間修交の現狀、滿洲事變發生以後における聯盟理事會と我國との折衝、滿洲事變と將來帝國の採るべき對支並に對滿政策の根本態度

等であつて三相の演說は約一時間三四十分である

滿洲關係の軍革改案

八年度から實施を期して

【東京十八日發】明年度豫算に計上された軍制改革案は滿洲事變に決定したもので、將來滿洲に增兵するか否かは兎も角改革案中の滿洲關係事項たる

一、交代師團制度を廢し常置師團制を執る事

一、飛行、鐵道各一個聯隊を關東州に移駐する事

一、獨立守備隊各大隊より一ケ中隊を減少しその代り各大隊に機關銃隊を附する事

等では新滿蒙の狀勢に卽し難き事明かであり、議會が解散され且つ……

吉林討匪軍の先頭 楡樹縣城占據

反熙洽軍の潰滅近し

【吉林特電十八日發】剿匪軍司令部の情報によれば本日拂曉楡樹縣に向け猛進し匪軍は之に抵抗せず忽ち潰走した、張作舟は既に……

反熙軍團營長の 投降內通續出す

作舟側頻に逆宣傳

民日不敬事件 再抗議

豐島中佐赴任

藤井少佐一行 門司着

菊池參謀赴任

對日國交斷絕には 開戰の決心を要す

南京政府獨人顧問談

【上海十八日發】國民政府ドイツ人顧問某は支那記者に對し左の如く語つた

國交斷絕は國際法上可能なりとするも、關係密接なる日支間に在りてこの事あらば當然宣戰布告の用意をせねばならぬ、支那若し國交斷絕を宣せば、日本は在支邦人保護のため軍を支那本土に派遣すべく、その際**支那は主權擁護のため勢ひ戰端を開くに至らうから**支那政府にこの決心あらば兎も角余はこの點を述べ國民政府に進言してゐる

事變恤兵其他 委曲奏上

【東京十八日發】荒木陸相は十八日午後二時參內、天皇陛下に拜謁仰付けられ、滿洲事變勃發以來今日まで恤兵其他國民の熱誠なる後援同情の經過を委曲奏上、種々御下問に奉答御前を退下した

南京政府の危機……(上)

財政難は必然的に

中央集權を決定的に破壞

氣遣はれる 避難同胞の運命

三家堡で重圍に陷る

馬占山有力な 馬賊團買收

天津佛租界擴大

市政府から嚴重抗議

蔣氏近く再出馬

大統領制愈よ實現か

英、佛、伊三國首相 賠償會議に何れも出席

青島市黨部 解散問題

我外務省に要求

蔣汪協同政權 樹立か

學良軍の 熱河入

湯玉麟が拒絕

驅逐艦歸港

「愛國號」歡迎 の相談

少額訴訟は 第二審で終結

北寧鐵路職員 英人所長と衝突

駐日米大使の アグレマン快諾

グルー氏は 滿洲問題を理解

李雲龍軍兵變

韓軍河北省に 移動

部長級異動

文部追加豫算

御就任國府大會 三十日に延期

社説

吉會終端港論 雄基、清津、羅津三港の得失

時局の進展につれて各般の建設問題が論議されて居るが、既存の權益中最も重要なものの一に吉會線の全通がある。更に之に伴ふ終端港の選定も喧しくなりさうだ。後者は決して今日に始まつた問題でなく、過去十餘年來の懸案で、鐵道敷設と不可離の相關的研究事だが、その候補地として數へられるのは、雄基、羅津及び清津の三港灣である。この中雄基は港灣そのものが狹小なために、專門家の間には餘り重要視されて居らぬ。しかし唯さへ海岸線の單調な日本海側において、元山、清津、城津に次ぐ良港であり、既に一萬餘の人口を包擁して居る。この點から南方數里を距る羅津に比し、自然の形勝が劣るにも拘はらず、人文的に、產業的に之を閑却する譯に行かぬ。現に年額五百萬圓內外の貿易額を有する半島北邊の要津だ。

◇

清津は雄基よりも總てにおいて立ち優つた商港である。人口貿易額共に幾んど後者に三倍し殊に會寧との間に九十四粁の幹線鐵道を有し、羅南、鏡城等の新舊諸都市と相近接して居る、處が羅津に至つては、僅かに落々たる農村が海岸に點在するのみで、商港としての記錄も內容もない、朝鮮統治の內政上から見て、何等新たに商港設備を要しないのだが、事の國際交通に關する課題を考慮すべき時に當り雄基は愚か、清津とその形勝を爭ふやうになつた。直言すれば吉會終端の候補地は清津と羅津との二者だといつて差支ない、現に雄基在住の有力者は、該地は該地だけの繁榮基礎があるとの自信を有し、必ずしも終端港の選に洩れんことを憂へて居らぬ。

◇

最も切實な利害は清津人の痛感する所だ。日露戰役當時、一漁村に過ぎなかつた清津が、今日の輪奐を具ふるに至つたその事が、會寧までの鐵道を生命視せねばならぬ證左である。されば若し國際新鐵道にして他に終端を求めんか、その依つて及ぼす影響の至大なこと言ふまでもない。それだけ終端港の御鉢を引き當てた後の發達振りが思ひ遣られる譯だ。しかし問題は港灣の自然的價値である。專門的に解剖すれば、清津と羅津とは互に優劣の考覈すべきものが少なくない。陸上設備も兩者の長短は相半ばして居る。しかし港灣そのもの〻自然的形勝に至つては、朝鮮全半島は勿論、東洋全局に亘つて羅津に優るものは稀であらう。半島東側千餘哩の單調な海岸線中、かくの如く卓越した港灣が、何が故に久しく顧みられなかつたかを怪しむほどだ。

◇

吉會終端港の考案は愼重に策定されねばならぬが、その中最も必要な事項は現有の利害である。しかし朝鮮北邊の開發、並びに大陸無限の物資を搬出せんとする國際交通の系統からいへば現在のみに拘泥し難い多くの研究點がある。殊に咸鏡北道は軍事的にも、產業的にも、成るべく國境近く人衆を集結し、文化の普及、民族の融和、並びに繁榮基礎の鞏固が圖られねばならぬ。この意味において羅津は自然的に國際港の面目を具備し如何なる大船巨舶をも繫留するに適して居る。縱し吉會問題がなかつたとしても、竟に着目されればならぬ無比の形勝であつて、清津が既有の利害のみを以て羅津を排除し得ない理由なのだ。換言すれば清津港の運命が行政的に考慮されればならぬやうに、羅津の處女灣は大陸發展策上放置さることは出來ない。蓋し最も深く檢討を要する現實問題だと稱すべきだ。

◇

本紙京城特電大村朝鮮鐵道局長の談話を見るに、取り敢へず既設港灣たる清津を先づ終端港として利用し、不足を感ずれば雄基を併用する。羅津の建設は其次にする方針だといふ事である。これは經濟問題から割り出して、必要に應じて漸次充實して行くといふ漸進主義に據るものであらう。

在日支那領事館は四ヶ所閉鎖に決定 南京政府の政費半減

【南京十八日發】國民政府は財政難切拔のため政費月額四百萬元を今月から二百萬元に半減し向ふ半年間實施することゝなつた、このため月給百元以上の官吏は均一的に百元となり各機關人員も今月內に三分の一の淘汰を行ひ外交部では十數ヶ所の領事館を閉鎖するに決定した、日本では長崎、元山、仁川、清津の各領事館を閉鎖するはずである

天津通關業者 取締來月實施

【天津十八日發】天津海關は國民政府の命に依つて二月一日から內外通關業者に對する取締規則を實施することゝなり之を布告すると共に全文二十二條から成る報關行暫行章程を發表した

公債元利支拂ひ停止は遂に斷念 孫科氏、聲明を發す

【上海十八日發】孫科氏は各方面の反對に遭ひ公債の元利支拂停止實行を斷念しこれを行はざる旨の聲明を發し同時に胡漢民氏の出盧を求めた

北支支那官吏 第二次減俸

【天津十八日發】張學良は各市省政府及び平津衞戍司令其他各機關吏員に對し一月より第二次減俸を命令斷行せしめることゝしたが、理由は財政困難の故で俸給百元以下のものを例外とし一律に十分の六を支給すると、即ち第一次減俸率に合すれば約六割强の減俸を行ふわけで而もその減額俸給さへも完全には支拂はれぬらしい

歐洲經濟聯盟 總委員會

【ジュネーヴ十七日發】明十八日開會の豫定であつた第五回歐洲經濟聯盟總委員會は一時延期されたが多分二月中に開かれる事となるであらう

大藏證券發行 一億一千萬圓

【東京十八日發】大藏省發表＝政府は一月十八日借替發行豫定の大藏省證券二億四千萬圓中入札應募入額一億二千九百四十二萬圓を除きたる殘額一億一千五十八萬圓は額面七千二百五十一萬圓日步一錢六厘と額面三千八百七萬圓日步一錢七厘の二大藏證券として發行するに決した

アインシュタイン博士夫妻米國訪問

【ブラッセル發】相對性原理といふとてつもなく難解な原理を發表してから忽ち今世紀最大の科學者として又我々が想像する事も出來ない西歐における猶太禍より起る猶太人壓迫に對する勇敢な鬪士としてあの童顏と共に有名なドイツのアインシュタイン博士は夫人同伴アメリカ訪問旅行の途に着いた【寫眞はポートランド號甲板における博士夫妻】

本社從軍記者座談會 (二)
得意と無念の數々 氣味惡い敵地への突入

佐藤 事變最初の時の感じといつたものを誰か

山口 これ程大きい事變にならうとは思はなかつた、一寸した事ぐらゐにしか考へてゐなかつた

中村 夜中に電話が社からかゝり五百旗頭君から「奉天で戰爭が始まつた」といはれた時にはピンとは來なかつた、一寸した喧嘩だと思つた

加藤 僕の下宿の爺は「やつたナ」といつた

山口 戰爭に行くといつても僕は生れて初めての事だから何とも思はなかつたが、大石橋で在郷軍人がホームに出迎へ萬歲を叫んだ時に、自然と目頭が熱くなつて初めて戰爭に行く氣持になり心が急に引緊つた、そして營口驛では在住民總出で軍用列車を見送り婦人團はキヤラメル等を兵隊に配つてゐた

中村 現在は兎も角事變最初は殆ど滿日が他のすべての新聞をリードしたといふ確信を持つてゐる

山口 然し奉天に行つた時は寫眞の種に困つた、その事を考へると一時行方不明になつて本社の人に心配をかけたが田莊臺の紅蟲山の寫眞を撮つたことは大成功だつた、あの時の戰爭の寫眞はあれだけだからな

中村 行方不明といへば神藏君が鞍山、營口間で行方不明が傳はつた時はほんとうに心配した

西村 奉天から從軍した記者仲間では朝日以外に滿日の森か神藏だといふ評判だつた

中村 山口君昂々溪の戰ひで一番苦かつた話を一つ

山口 あの時は寒さも餓も忘れてしまつてゐたね

中村 實際防寒具なしによく通したね

山口 動き續けだつたからだね、十七日の午後三時から歩き出して十九日の朝龍江に着くまで殆ど步き續け、食事も固パンだけさ、人間の氣持は變なもので龍江の灯が見える樣になつてヤレ〳〵と思つてからが一番苦しかつた、灯が見えだしてから漸く到着したが初めて龍江で[illegible]廣漠たる平原といふ感を深くした、その時れむいので始終空を見るやうにして步いてゐたが、流星が非常に多かつた事を今でもハッキリと覺えてゐる

中村 新聞記者は軍人のやうに强行軍に馴れてゐないのだから重いリュックサックを擔いで軍に從ふことは實際苦勞だと思ふね

神藏 ほんとうに寒かつたのは昂々溪の戰ひだらう、風が非常に强かつたといふから

中村 この邊で一つ失敗談でも白狀しやうぢやないか

神藏 鞍山の戰ひが了り、山口君と驥井君と三人で相談の結果、山口君の最後までの寫眞を僕が持つて營口に引返すことゝなり山口君と停車場に行きついたが何とかして營口に早く歸る方法をと考へ裝甲列車にゐた將校に頼んだところ滿日ならといふのでその人の自由になるモーターカーを出して貰へることになつたが、結局營口から來る列車があつて目的を果せなかつた、あれに乘つてをれば餘程早く通信が出來てゐたのだ

中村 西村君の天津での出來事は大ニュースだつたんだがな

西村 あまり自己宣傳になると思つて書かなかつたんだ、然し天津の新聞は二日に亘つて大々的に報道した、それは十一月十八日の事だが支那兵撤退の跡を見るため日本記者團が出かけた時交渉の行違ひからか「見ることはよいが寫眞は絕對駄目だ」と支那側が文句をいひ出し記者團とゴタ〳〵やつてゐる時それを僕が撮つたところ支那警察署長が矢庭に寫眞機を奪ひ取らうとした、そこで日本側の言ひ分を聞かない支那側の態度に憤慨した日本將校が突如「戰鬪配備に就け」と部下に命令した、その時僕達は日支兩軍の間にゐたのだから双方から彈丸を打ち出しては大變だと日本軍配備線まで二、三百米の間を死物狂で逃げて歸つた

加藤 僕は天津の出來ごとで殘念な思ひ出がある、丁度山口君が北平を引揚げて天津に歸る列車の中で偶然王樹常と乘り合はせた、僕等は何とかして寫眞と談話をとらうとしたが、王の室の前は着け劍の衞兵で護られ一步も外に出ず、天津の一つ手前の驛で下りたからそれッとばかりに山口君と追つかけ寫眞を撮らうとすると急に三十人許りで王を取卷き結局駄目だつた

神藏 どうだれ氣味の惡かつた話は……

山口 氣味の惡いつていへば僕も天津や北平に行つた位氣味の惡かつた事はない、何しろ支那兵ばかりで固めてる中だからね

中村 五百旗頭君、洮海線はどうだね

五百旗頭 あの線は兵隊は勿論日本人の姿は全然見えないんだが然しその前に洮昂、東支兩線を一人旅してゐたし滿鐵の池原氏から大丈夫だと太鼓判を捺されてゐたのでそれ程でもなかつた【挿畫は山口特派員の活躍】

寒行に就て 旅順一市民

◇私は旅順市在住の者です、昨今寒行と稱するものに甚だしく迷惑を感じてゐるので、紙面を借りて同行の人達に一考を求める次第です。

◇寒行といふさうですが、曰く觀音講曰く日蓮宗曰く何曰く何と數組の男女が如何にも非音樂的な鐘を敲いて每夜小生の家の門に立つのです、そして丁寧なことに數十分間も迷惑な讀經と敲鐘を續けて下さるのです。

◇最初に來た頃家の長女が床についてゐまして隣家の前で敲く音に非常に神經を尖らせて困りましたので、自家の前に來た折りは早速金十錢を提供して急いで去つて貰ふ積りでした、處がそれが惡かつたのださうです、その後は每夜來るのに多少でも金を出さぬうちは歸らぬのです。

◇今では子供より自分の方が神經を疲らせて終つて一夜中讀書も出來ず、數組が時を置いて訪れるために前半夜はこの鐘で蹂躙されて終ふのです、時に安眠もされぬ夜すらあります、これは私だけの不平でせうか。

◇日本人はこの寒行に多少の理解はあるにせよ、支那人はこれを「要飯的」と申してゐます、支那人中の智識階級に屬する人達でさへ「要飯一樣」と言つてゐます。

◇一行の中には十歲前後の小兒數名を見受けますが、こんな小兒に宗教的自覺があらうとも思はれませんし、面白半分と喜捨を喜ぶ風の見えるのは敎育上の見地よりしても感心出來ぬことゝ存じます。

◇で私のお願は寒行は同宗の間に限ること、出來るなら鐘を打つことは廢して讀經のみに止めること、小兒は連行せざることの三點を卽時實行して頂きたいと思ふのであります、私のこの拙文が若し諸氏の反感を買つたら御容赦願ます。

爲替再び軟化

【大阪十八日發】爲替は正午反撥を示したが、午後は又復弗買持筋の某大銀行の三十六弗八分七買拂へを示し再び氣配軟化し相場は反落し後見送り保合ひ閑散となる

天津日本租界の支那要人が半減 他の租界に移轉して

【天津十八日發】滿洲事變前における支那各地の日本租界は支那の失脚政客、軍人連の安樂境であつた、つまり支那年中行事の兵變動亂が起り、それに敗れた文官武官連は必ず外國官憲の管理下にある租界に亡命した、中でも最も利用されたのがわが天津租界だつた、といふのがわが租界は飽く迄國際慣例に從つて亡命者の生命財產を保護し、生活の安全を計り、決して支那側時の政府の壓迫諒解による引渡し要請に屈した事が無かつたからだ、これが他の國だと時々亡命者の引渡しをやる、從つて流石に八方美人の支那大官連にも租界に關する限りにおいては「正義の國日本」の言葉が深く刻まれ、亡命するなら日本租界といふ事になつてゐたのだ、今回の事變突發以來日支間の風雲惡化に天津の日本租界の如き物騷なうけるに至り、日本租界に住居してノウ〳〵と暮して居た支那要人連中は足下から鳥が立つた以上に驚きあわてた、そしてわが租界から他租界へ、所謂「不安なる安樂境」を求めて續々移轉を始めたのである、嘗ては支那要人の亡命者が最も多く入込んでゐたわが租界も今は寥々たるものだ、今天津日本租界だけについて之を見ると、事變前には先づ前の國務總理段祺瑞氏以下元日本公使陸宗輿氏、元步軍統領王懷慶氏、元警察總監楊以德氏、前交通總長高凌蔚氏等を始め在住してゐた要人は實に百十數軒に及んだもので あつたが、それが現在では段祺瑞氏が英租界に遷つたのを手始めに各要人各々英、佛、伊各國の租界へ轉居して、目下は元の陸軍總長陸錦氏等五十餘軒が殘つてゐるのみである、これに反し外國租界を見ると、佛租界には事變前元山東督軍田中玉、同鄭士琦、浙江督軍盧永祥、福建督軍長周蔭人氏等僅かに十三軒であつたのが、事變後三十數軒に增加、英租界も前の大總統徐世昌、甘肅督軍陳樹藩氏等三十五軒から現在では七十一軒に增加し、伊租界は熱河省主席湯玉麟、東北軍顧問何豐林、前陸軍總長鮑貴卿氏等僅か十九軒から現在三十數軒になつてゐる、尙舊獨租界の特別一區、露租界の特別二區居住要人連は移動がない

委員を增員して積極的運動 製鋼所問題大會の準備會議

昭和製鋼所の滿洲設置を高唱すべく來る二十日大連で全滿大會を開催する事になつた事は既報の通りであるがその準備會議は州內設置期成同盟會實行委員および市內各團體代表、旅順、金州、普蘭店、貔子窩各地代表者參集、十八日午後二時三十分より市役所市會議場において開かれた、劈頭小川新期成同盟會長は昭和製鋼所は州內設置に內定してゐた矢先、山本元滿鐵總裁案たる新義州設置說が再燃、擡頭して來た事はわれ等大連市民として誠に遺憾な事である、新義州設置說は當時の特惠關稅問題政府奬勵金の問題、使用水の問題等に絡まり起つた案で現在においては全部會員に加入する事、および現在十名の委員以外に會長指名により更に適當の委員を推薦し增員を圖る事、山岡關東長官來任と共に二十日の大會の宣言決議を提出し滿洲設置を陳情する事とし同四時閉會した

海軍當局協議會 在旅營造物等につき

旅順海軍無線電信所では十八日午前十一時から應接室において海軍省及び佐世保より派遣された原清大佐、相浦主計少佐、福井大尉、甚目、鈴木兩海軍技師に久保田駐在武官、有馬第二遣外艦隊先任參謀、三並能登呂艦長、岡本大連海務局長等參集の上營造物及び港灣事務に關し協議を爲す處があつた

海軍當局に旅順の現狀說明

永山旅順市長、東畑、米岡兩市會正副議長は目下滯旅中なる海軍省及び佐世保派遣員原清大佐其他に對し兩三日中會見の上親しく旅順の現狀に就て具申する由、一方旅順商工協會においても十八日午後八時原清大佐一行に面接現狀を說明した

山岡長官旅程

【奈良十八日發】山岡長官は午後二時十五分畝傍驛着直に畝傍山陵に參拜の後京都に入り伏見桃山々陵に參拜の上正午京都驛發大阪に一泊し翌二十日大阪發二十一日下關發香港丸で出發二十三日大連着の豫定である

滿鐵三氏挨拶

新任の石本滿鐵奉天事務所次長、土肥滿鐵人事課長、太田滿鐵チチハル公所長は新任挨拶のため十八日市中を歷訪した

關東廳辭令(十八日)

正五位勳三等 西山左內
敍從四位
正五位 中谷政一
敍勳四等授瑞寶章
從五位 日下部鉦次郎
敍勳六等授瑞寶章(各通)
從七位勳七等 高木喜德
勳八等 坂本實平
同 佐藤芳太郎
同 松尾宗三郎
敍勳七等授瑞寶章(各通)
笠原謙三
齋藤源四郎
敍勳八等授瑞寶章(各通)
關東廳警視 星子敏雄
巡查及消防手懲戒委員を命す

人事

▲三浦碌郎氏(關東廳內務局長) 兩三日中赴奉の豫定

▲日下辰太氏(關東廳庶務課長) 十七日午後八時二十分山中屬を帶同奥地へ出張

大觀小觀

ものゝふのかざしてたいはふはたみえて、あけゆくさゝにはさりのこゑ——これ御題「曉鷄聲」の選歌に現はれた滿洲事變織込み?歌の一ッ▲それにしても雄大な大陸の鷄聲、爽快な滿蒙黎明の歌などの傑作、未だ世に現はれざるを惜む▲蔣、汪仲よく杭州で會見、胡の南京出馬を促す▲かと思へば一方危機に瀕した南京政府、上海財閥との諒解成りて危機を脫すとの說あり▲だが要するにあれも一時これも一時でなくンば幸ひ▲その現南京政府に對して支那の新聞は巧いことをいふ、曰く「政府成立數十日無聲無臭、無以對國民對同志」と▲全く同感、出來もしない「對日斷交說」などを流布するばかりが能でもあるまい▲今議會の再開期迫る雨?風?解散か、非解散か、代議士連中胸を轟かす▲朝野兩派の幹部は無論解散必至と見て早くも獲らぬ狸の皮算用を始む▲すなはち與黨は往年の大政友會再現を夢見て絕對過半數、少くも二百六、七十名獲得は確だと豪語し▲民政黨はまた現在二百四十六名、假令減るとも二百三十名を下るまいと見る▲言ふことだけ聞けばお互に成算歷々、なれど成算と成算のかち合せは一たい何ういふことになる▲よし無產黨や中立派の存在は無視するとしても兩大政黨の目算見ン事圖に當れば議席四百八、九十から五百が必要▲獲らぬ狸の皮算用茲に至つて勘定合へど錢足らずの歎なからずや▲鮮銀平壤支店の七十八萬圓盜難事件は近來の奇ッ怪事▲斯ういふ大金が一夜で消え去るとは想像も及ばず、外部からさすれば盜倉にも程あり、怪事は更に怪事を產まん▲「家鼠穴石炭穀で防ぎけり」

市況(十八日)

株式 內地株保合 當市も小綻り

特產 一般的に各品軟調

錢鈔 米日爲替安で鈔票反撥

商品 麻袋弱保合 綿糸保合

奧地市況

市場電報 神戶特產 大阪株式 東京株式 東京株式(短期) 大阪綿糸 橫濱生糸 東京期米

1932年の春を迎へて (9)

傷いた兵士たちの生活を保證してやりたい

大連醫院八千代會代表　小串久

▼▽…改年に當つて何か申せとの御意、すべてに素養のない私何を申してよいやら思案にあまつて居ります。國家の危急、婦人聯合會の事業等に就いては既に各幹事の方が立派な御意見をお述べになりましたから別に申上げることもございません、たゞ看護の任にある私として、職務の立場から特に感じました事を少し申さして頂きます。

▼▽…それは此度の事變にいたましくも傷ついて今後健康體として人並に活動出來ない兵士方の生涯の生活の保證についてであります、無論國家としても相當考慮されることでせうがそれではなかなか一家をなし子女を教育するに充分ではありますまいたとひ國家が充分これを保證するとしても、人間として外部の支給のみで生活するといふ事は如何かと存ぜられます、むしろ健康の許す人には國家から何か適當な仕事を與へるやうに致したらどうでせうか。

▼▽…先日この事に就て聯合會の古賀主事に御話しいたしました時、佛國ではかういふ氣の毒な人に對して煙草を賣らせるとか伺ひましたが、日本でも煙草とか葉書、切手等の販賣權を先づこんな氣の毒な方々に許して營業させるといふ方法は當を得た策ではないでせうか、良い事なら他國を眞似たとて別に國の恥にもなりますまい。時局柄現在では名譽の負傷者としてもて囃されますから本人もさまで不幸も感じませんでせうが、これが平定して一年二年と立つ内には今の感激が忘れられることがないと誰がいへませう、ここに目下の樣な思想の亂れ勝な折、この犧牲者たちから生れる良き思想、惡き思想はいづれにしろ深刻な力づよいものとして社會に反映することだらうと思ひます

▼▽…小さい私の考へかも知れませんが過去の戰ひに傷ついた廢兵の方々に就いての感じと、これから同じ道を進まれる兵士方の將來を思ふ時、私はどうしても當局の方々にもう一歩考へて頂き度く存じます【寫眞は小串久さん】

一寸變つたお料理

蕪とマカロニ

▲材料＝蕪中位のもの一個、かしわ挽肉百匁、鷄卵一個、片栗粉中匙一杯、鹽小匙一杯、胡椒小匙半杯、醬油大匙一杯、味の素少々(以上五人前)

▲準備＝削節で煮出汁をとつておきます、蕪は皮を剝き縱に四つに割り一分位の厚さに輪切りにし、ざつと茹でて笊にあげておきます。マカロニは茹て七八分の長さに切つておきます

▲調理＝丼に挽肉百匁を入れ鷄卵一個を割りこんで片栗粉を加へ鹽胡椒で味をつけてよく混ぜ合せ一口で頂けるほどの適宜の大きさに分けて丸めておきます、鍋に煮出汁蕪を煮、軟かになつたらマカロニを入れますと汁がひたひたになりますからその上に鷄肉の團子を行儀よく並べ蕪が充分軟かになるまで弱火でトツプリと煮込みます、大がい煮えた所で鹽と味の素で味を加減し下し際に醬油を入れて風味をつけます、これは鹽味で頂くのですから醬油を入れすぎると不味くなります、蕪の最もおいしいこの頃、季節向のあたゝかい營養豐富なこの料理を皆樣の食膳におすゝめいたします

ご存じですか

▲御飯が煮えてシンが出來た時手早く酒を御飯の上にパラパラと打かけすぐ蓋をして火にかけ弱い火でしばらく蒸すとフックラとやはらかい御飯になること妙です、但し炊いてすぐでないと效果がありません

▲果物を御客樣におすゝめになる時梨や林檎は剝いてお出しになるとやがて果物のあくが出て赤くなつてしまひます、お剝きになつたら一度鹽水をくぐらせてごらんなさい、決して色の變るやうなことはありませんから

▲青菜を滾る時に火箸や庖丁など金氣のものを鍋に入れて置きますと何時までも青々と綺麗な色を保ちます

▲小魚を丸のまゝ煮る時、大豆三十粒ばかりを一緖に入れて煮ますと骨が非常に軟かくなつて骨ごと美味しく頂けます

▲卵の半熟はなかなかその頃合がむづかしいのですが、はじめ鍋に卵のかぶる位の湯をグラグラに煮立て火から下してすぐに卵を入れキッチリ蓋をして十分間そのまゝ置きますとよい加減の半熟卵が出來ます

自分の姓名位は讀み書きする樣

學齡兒童を持つ保護者へ希望　倉井松林校長のお話

各小學校では新入學兒童入學受付で多忙を極めてゐるのですが倉井松林小學校長は次の樣に保護者に希望してゐます

入學前 に何も兒童に教へぬことを誇りにして學校へ兒童を連行した際に私の宅では何にも教へてゐませんと得意になつて語られる父兄もありますがこれは最早や過去の教育で現在では五歲にも達しますと色々の質問を發しうつかりしてゐては答に困る樣な相當複雜な質問が出るものです然し保護者がおつしやられる樣に何も教へない主義であつたら折角の熱心な研究態度もぶち壞され教育の芽生へもつみ切られてしまふのです兒童教育のスタートは兒童の要求によつて初めて始められるものであつて、彼等の要求(質問)がなかつたら

教育は 出來るものではないのです、特に今日の學齡に達してゐる兒童は家庭で特別組織立て、教へ込まぬでも現代の社會狀態或は環境により一から百まで數へ上げたり、或は自分の姓名の讀み書き位はでき本も讀める程度にあるのが現在兒童の狀態なのです、研究的態度にある幼い時代がそれらを知つてゐる事は當然だと思ひます、自分の家庭で教へぬ事にしてゐましても他の家庭で教へ込んであればその子は學校で初めの

出發點 に於て最早や遲れて居る事になりますから入學前に自己の姓名を讀み書き出來る樣にしておく事は兒童教育の上にも大い便利だと存じます

アサヒノボル (30)

中溝じんいち作　河野ひさし画

㊀タイチャン ハ コレハイケナイト タマ ヲ ナデナガラ アベコベ ニ ヘイタイ ヲ アナ ニ イレロ

㊁バット オトガ シタカト オモフ ト イツノマニヤラ タイチャンタチ ガ オモテ ニ デテ タツテキルシ

㊂ヘイタイ ガ ミンナ イワヤ ノ ナカ ニ ギチギチ ニ ツメコマレテ キル メツタ ニ デラレナイ ヤーイ

㊃オマヘタチ ハ ワルイコト ヲ スル カラ ユツクリ ソノナカ ニ キナサイ ト イヒナガラ ニゲダシタ

自分の飮む牛乳に關心を……

外人は牧場で下檢分　空き瓶は洗つて置く

痰や唾はすぐ吐き散らす非衛生な支那人の癖には誰もが參つてゐるのですが、これと形は變つて日本人も未だ公衆衛生に充分目覺めてゐるとは思へない點が種々あります、大連警察署の木幡氏から牛乳につき次の樣な家庭の主婦にとり大いに參考になるお話を伺ひました

西洋 では早くから牛乳も生で呑んでゐるのですが日本では未だだくその域に達してゐません、あちらでは生牛乳もA、B、Cと三級に分けられ、A級は菌が一萬以內、Bは二十萬以內、Cはそれ以上となつてゐるのです、日本では生乳ですと極寒い時で三、四萬、暑くなりますと三、四十萬、百萬と繁殖し營養攝取の目的で牛乳を呑む病人や小兒には却て不良となり日本では生乳を呑む事は未だ許されてゐないのですが

加熱 してない營養に富んだ生乳が使用される樣にならなければ折角の生乳の營養も駄目なのです、それには牛乳供給者と需要者とが相俟つて公衆衛生に目覺めて欲しいのです、こちらでは度々臨檢をやつてゐますから不正な牛乳を販賣するなどの事は出來ないし五、六年前の牛乳から比しますとうんと質もよくなつてゐますが一般需要家はもつと自分の飮むお乳に關心をもつて欲しいのです、西洋では自分が呑まうと定めると先づ初めに牧場に行き乳牛の健康狀態及び搾乳者の牛乳に對する態度(衛生的)などを充分檢べた上でないと呑まぬと云ふ良い

習慣 を持つて居ます、大連居住の歐洲人もやはり同じで自分が飮用する前にちやんと牧場を檢べに行つて居ります、又牛乳瓶が空ますと決して日本人の樣にそのまゝ放つておくと云ふ事がなくすぐその手で綺麗に洗ひ上げておくと云ふ良い習慣があります、これは馬鹿に丁寧すぎる樣に思ひますが彼等の公衆衛生思想が日本よりも遙かに發達してゐる事を示してゐるのです、牛乳は配達する前に三十分間八十度の加熱消毒を行ひ九十%の菌は殺されて了ふのですが後の高熱に耐える十%の菌は瓶に殘つて居るわけで

夏季 などは僅かの時間で非常に大きな力でこの菌は繁殖いたします、ですから瓶が空きましたら早速水で濯ぎその水は植木(殊に八ッ手)にかけてやつたり或は婦人方の洗顏用に利用いたしますと顏の生地も細かになり然も瓶は衛生的です、需要家から集めた空瓶を販賣店で消毒すると申しましても數多い牛乳瓶ですから一つ一つが綺麗に消毒される事は疑はしいので、折角牧場の方では充分な加熱消毒が行はれてゐても瓶の方に菌が殘つてゐたために牛乳の中に多くの菌が繁殖する事になり人體にも害を及ぼしますからこの點を充分考へてお互の衛生のために洗瓶しておきたいのです、又一般飮用家に

注意 して貰ひたいのは牛乳は朝早く五時頃には配達されるのを晝頃迄もそのまゝ放つておかれる向も中にはありますが、牛乳は時間が經てば經つほど變化し營養價値も薄くなるので、長く放つておいて飮むと云ふ事は故意に惡くして飮むと云ふ樣なわけになるのですから配達されたらすぐ飮むと云ふ習慣をつけたいのです、又最近賣出されてゐるサニタリ牛乳、小兒牛乳とかキング果汁牛乳或はコーヒー牛乳と云ふ樣なものが賣出されてゐますがこれらは營業者が自由に名付けたものでこれら

加工 した牛乳は價値上からは却つて普通の牛乳に劣つてゐるのでたゞ嗜好飮料として選ぶのでしたらどれでも良いわけなのです、牛乳の善惡を素人で見分けるには試驗管にアルコールと牛乳を同量入れてよくふり、樣にして見て小さな粒狀のものが出來試驗管につけばこれは古いものです、新しいのでは決して粒狀は出來ずたゞ白い液だけです、もし配達された牛乳の色が變つてゐたり、ゴミが入つてゐたり或は

不審 の點があれば警察まで持參されゝばこちらではいつでも檢査してあげる事にしてゐます

テツビンの湯垢

不潔どころか大切な役目を

綺麗好きの人の中には鐵瓶の湯垢を氣にしてこれを磨落すのに苦勞してゐる人もありますが鐵瓶の湯垢は不潔などころか大事な役目をもつてゐるのです、湯垢といふのは水中の炭酸カルシウムや硅酸カルシウム等の礦物質が鐵の表面と化合して鐵瓶の內面に附着して一種の膜を生じたもので、この膜のために鐵の金氣の水中に溶け出るのが防がれますから從つて美味しいお茶が呑めるわけです

滿日各地版

職業と教育を授け同胞に積極的救濟
日毎に增加する避難同胞に 奉天居留民會の情け

【奉天】匪兵の危害を受け住むに家なく食ふに食なく奥地居住の鮮農は追はれ追はれて先づ安全地帯に居を求め鐵道沿線に押かけるもの多數あり目下奉天に避難中のものは奉天居留民會の手により鐵西苦力宿舍、麵粉會社、迫擊砲廠等に

收容 されその數一千四百十六名に達してゐるが尚毎日のやうに二十數名の避難民が民會に押しかけて救濟を求めてゐるので係員も大多忙である、これ等避難民の中男子は叺縄等の製造によつて幾分でも收入の道を得せしめるため民會で斡旋をなし叺製造のおさ二百個を朝鮮より購入し北市場の元普通學校跡に於て製造に從事せしめることになつた、又女子は十六日より各方面から寄贈されたぼろを民會樓上で整理せしめ毎日六十名の母子を集めて

雜巾 その他のものを作りこれを賣つて收入に充てゝゐるそしてこれが指導に幾島夫人、加茂校の大村教員、赤松夫人等が盡力して居る又是等避難民中には病人が續出するので收容所に病室を設け之が診療に當つてゐる、避難民の子弟教育に關しては鐵西方面に收容してゐる子弟で教育を受くべき二百名に對し去る九日より奉天普通學校に入學せしめ教育を授けてゐる迫擊砲廠收容の

學齡 兒童百名に對しては同所に教室を設け十九日より授業を開始することになつてゐるなど鮮人に對する諸救濟方法は漸次徹底されつゝある

便衣隊かキ印か 男裝の支那美人
馬占山援助に赴く途 旅費盡き力盡きて捕はる

【奉天】「死を誓つて東三省を回收す」と外套の襟裏に黑で縫ひ込み「東三省を失ふ人々皆悲し、當局の偉人之が回收に力を致さずして馬占山のみは孤軍奮鬪のため最善を盡してゐる自分も死を誓つて馬占山の部下に入らんとするものなり」と標榜した二十歳過ぎの支那男裝美人が奉天を通過し北行の際文官屯で取押へられ十七日奉天署に連行嚴重取調べの結果曩に大連に男裝して現はれ水上署の手によつて取押へられた支那美人であることが判明した彼女の語るところによれば

山東省濟南府生れ宋美奇(二三)と稱し十歳の時家庭教師につき五年間教育を受け孤軍奮鬪の馬占山を紙上で見てその部下に加はらんことを希望してゐた偶々去月廿九日附の支那紙で女子援馬團を組織し黑龍江省に派遣されることを聞き一月一日父母には無斷で七十元を拐帶し北平に走つたが女子援馬團は既に出發の後であつたそれでも彼女は初心をまげず北平の西河沿で陳記成衣局より「誓死收回東三省」と縫ひ込んだ外套を廿元で買ひ求め單獨二日北平を出發したのであつた天津まで汽車で來る途中劉梓貞(二〇)と稱する女學生と知り合ひになり宋美奇が黑龍江省に行く目的につき一切を打明けると劉も大いに贊成共鳴し途中下車して劉の宅に二、三日滯在し一月八日天津に着いたのであつた、それから汽船で十四日大連に渡り徘徊中水上署員に發見され散々油をしぼられた上キ印と斷定されたが十五日夜大石橋までの切符を求め同地を出發したのであつた、しかし彼女は大石橋を乘り越して蘇家屯に於て車掌に發見されやむなく下車した、彼女は同地より徒歩で線路をテクリ奉天を通り越して老命廟驛まで行つたがか弱い彼女は疲れ果てゝ一歩も運ばれず同驛で開原行第三百卅五號輕油動車に無切符のまゝ飛び乘つたもの、忽ち車掌に發見され文官屯でつき下され十七日奉天署に連行されたもので目下保護中である

尚彼女は今後の目的については何等話さないがその他については今より二年前共同丸に乘船し青島を出帆大連に赴く途中船員に暴行を加へられたため同船が大連港外に差掛つた際投身自殺を企てたが海關員に救助されたことなども他愛なくしやべくつてゐた、彼女は果して便衣隊かあらず、キ印かあらず、全く謎の謎とされてゐるが結局係官に對し旅費がなくて北行することも出來ず又奉天に賴るべき身寄の處もなく就職口を願ひ出てゐたとは又以て不可解な支那婦人ではある

大石橋スケート祭 本社優勝メダルを受ける地方事務所小學校職員混成隊代表

各地の戸外デー

奉天 【奉天】第二回戸外デー並にスケート祭は本十七日午後一時より國際運動場において擧行された、定刻會場の正面に各出場者整列し君ケ代を放送しそれより岩田地方課長の開會の辭あり、次いで出場者は大國旗を先頭に小學生、中學生、中學堂、醫大、一般の順序に依り各戸外デーの小旗をかざしスタンドから擴聲器に依つて放送される行進曲に合せて全員滑走あり、次いで自由滑走を終つて左記プログラムに依り順次競技が行はれたが當日は出場者は觀衆無慮數千名に及び午後三時半盛會裡に終了した

プログラム
一、小學校リレー（男女）
一、フリースケーティング
一、高等女學校リレー
一、中學堂リレー
一、醫大對外人ホッケー
一、初心者リレー
一、中學校リレー
一、醫大リレー

長春 【長春】長春地方事務所主催のスケート大會は十七日午前十一時から西公園に於て開催されたが、全滿第二回戸外デーを利用しての擧行であつたため西公園池畔は非常な人出で餘興タップリの競技種目は頗る歡迎を受け更に會場上空には長春飛行隊の飛行機が手のとゞく位な低空飛行を以て會に興を添へ稀に見る盛況であつた

撫順 【撫順】戸外生活獎勵會、撫順スケート祭の名の下に伍堂所長、石橋總理課長を會長として計畫された全撫順スケート大會は十七日午前八時半から永安臺中央リンクに於て盛大に開催された此日恰も零下十八度の寒氣にもめげず會する者老幼男女四百餘人、石橋會長の挨拶に次いで直に競技に入り小學生の二百五十米スピードを皮切りに五百、千五百、五千、一萬米等の個人選手乃至一般競爭やクレーレースさてはスプーン競爭、列車競爭チエーン競爭、假裝競爭、一般對中學のホッケー戰其他の氷上競技が次ぎ次ぎに行はれ鏡の如く研ぎ澄まされたリンク上には終日これ等の人々が樂の音に合せて滑りに滑つたが午後三時半四百に餘る參加者全部の一大氷上行進を最後に大會の幕を閉ぢた尚當日の主なる入賞者左の如し

△五百米一着出原五十秒六(新)石橋、相澤△千五百米一着出原二分五十秒二△五千米森高十一分十七秒四、石塚、稻田△一萬米一着森高二十分三十三秒七、出原、佐々木△一般對中學ホッケー一般二―一中學

鞍山 【鞍山】鞍山に於ける第二回戸外デースケート祭は既報の如く十七日午後一時より永城町中央リンクに於て開催された、定刻スケート選手並に一般觀衆一千數百名參集し小野寺會長より一場の挨拶あり戸外デーの行進歌を合唱し直に競技に移つたが競技は興味本位にしてリンゴ拾ひ、パン喰ひ、提灯等を連續し一般觀衆は多大の拍手を送り盛況であつた、戸外デーの意味に於て一般觀衆にも百五十名に對し賞品を授與した競技終了後氷上一

大石橋 【大石橋】待ちに待つたオール大石橋スケート大會が十七日午前九時より學校裏スケート場で開催された天候急に革り零下十八度に下降したるにもかゝはらず外へ外への宣傳徹底し定刻前既にさしもに廣きスケート場も時ならぬ黑山の人垣を築いた小學兒童の競技も昨年と比較してその技倆倍に熱し漸次回數を重ぬるに伴れ各選手その特技を發揮し觀衆手に汗を握らしめた愈々決勝戰リレーとなれば各所屬の應援歡に送られ地方側驛側地方事務所小學校職員の混成隊側の三組に分れ各々その獨特の技を競ふ事となつた最初地方側のスター高田君最も有效に競つたが漸次地學の混成隊優勝となり遂に優勝カップ本社優勝メダルは其手に落ちた斯くて第二回戸外デーの宣傳覺行が遺憾なく遂行された

に於て、優勝第一戸外へ戸外への小旗を翻へし戸外生活獎勵行進歌を歌ひつゝ旗行列を爲し萬歳三唱して散會した

瓦房店 【瓦房店】十七日は戸外デーなので午前九時より小學校庭に於てスケート大會を開催等級により各賞品を授與したが午後一時より旭山公園に於て兎狩を催した十四反の兎網を張り全山を包圍して小松の下を勢ひ込んで追ひ廻つたが當日は生憎兎連中他所行きと思ひ影も見せなかつた餘興の綱引で元氣を盛返したが一同寒いくと言ひながら綱を肩にして家路に歸つた

旅順 【旅順】氣は暖かく空晴れた十七日の日曜日旅順市中は久方振りでホントの旅順らしい情景が織出された、それは凱旋した旅順重砲兵大隊の兵隊さん初めての公休外出、入港中の二遣外艦隊球磨乘組水兵さんの半舷上陸、富士町スケート場の全旅順スケート大會で男女學生の往來が街頭に點出されたので躍る樣な空氣が町一パイに滿ちてゐた、武器をとつては敢然威武を振ふ陸海軍將士も銀盤上に轉倒する無邪氣さはワンパク兒童を喜ばせ明い女學生を微笑させる小供奉仕の親共も小春の如き戸外へくで久しく張りつめた空氣が一時に開放され和やかな日曜が現出されてゐた

流感撫順に迫る
永安新屯兩小學校は 缺席兒童平常に倍加

【撫順】沿線各地に蔓延せる流感は追ひく撫順にも侵入し來り昨今は發熱せぬまでも咽喉を痛め或は輕い頭痛を覺ゆるものが大分多い模樣である、そこで各學校ではマスクやウガヒを勵行せしむるやうにして極力豫防に努めてゐるが十八日撫順署衞生係の調査に依ると左表の通り附屬地内各校では永安小學校及び新屯小學校の兩校の缺席者が最近は平常に倍加し永安校の如きは約一割の缺席兒を見てゐるが其他は平常通りの出席數でまだ異狀ないと

校別	在籍數	平常	昨今
撫中	三五二	一六	一七
撫女	三六三	一〇	一〇
實習	一五〇	二	二
永安	一四〇一	六五	一二〇
千金	八二九	二三	二三
新屯	二七二	五	一〇

謹告

從來撫順支局に於て配達爲致來候弊紙は爾今瀬田新聞舖に於て一纏めとして配達致すことに合議の上決定致候に付從前同樣御愛讀賜はり度右謹告仕候

昭和七年一月十四日

滿洲日報社

鳳凰城附近匪賊
今なほ盛んに出沒

【安東】安奉線鳳凰城を中心として附近に於ける匪賊の情報左の通り

一、十六日午前零時四十分頃高麗門西方歩哨線前に三名の匪賊斥候現はれたるを以て高麗門駐在警察官は直ちにこれを擊退せり

一、通遠堡の西方十二支里于家西溝に十四日夜約八十名の匪賊滯在中との情報を得たる通遠堡駐在警察官は軍部と協議の結果討伐する事に決定し軍警約四十八名出動し該部落に到着すると匪賊は逃走の後であつたので附近を搜查長銃二挺部落にありたる爲めこれを押收引揚げたり

一、湯山城附近東湯北方八支里の湯什城に十五日夜徒歩の匪賊二百名及乘馬匪賊二百名宿營し乘馬匪賊は十六日朝何れにか移動せるが徒歩匪賊は今尚宿營中の模樣である

二人連の支那人 邦人を袋叩
被害邦人は生命危篤

【長春】長春三笠町三ノ二〇特產商陣ノ内恒治長男政彥(一八)は十六日午後四時頃先生を驛に見送りに行きその歸途滿鐵谷淵寮裏に於て二名連れの支那人に毆打され人事不省に陷りたるも寒氣のため生氣づき附近の人力車を雇ひ歸宅し着生堂醫師の診斷を受け靜養中なるが目下發熱依然人事不省である、因に政彥は右足及び横腹(三寸四方位の青色斑痕あり)左手に出血あり生命危篤であるが毆打された原因不明

かくて斃れた（3）
血を吐きつゝ數發の射擊
劉二堡附近の匪賊討伐に 松下上等兵の奮戰

原籍靜岡縣榛原郡地頭方村新庄獨立守備歩兵第六大隊第三中隊歩兵上等兵松下庄右衛門氏は去る四日北部中隊長の部下として劉二堡附近にある頭目老北風の率ゐる優勢なる馬賊討伐に午前四時出動した

◇

午前九時三十分劉二堡西方一里餘の無名部落に達するや、數百名の馬賊柳壕子の南方二百米の附近を北方に向ひ退却するを認め中隊長北部大尉は部下五十餘名を率ゐ然之が追擊を敢行し前進中、西山特務曹長の第一小隊の乘車せる一臺の自動車は柳壕子南方千米の附近に於て故障のため停車した、小隊長は止むなく下車徒歩を以て柳壕子部落に入るや其の附近堤防及高地より我隊に向ひ猛烈なる射擊を浴せるので小隊長は之に應戰すべく輕機關銃分隊を左村落の端より小銃分隊を村落内の一端より展開し射擊を命じた

◇

この刹那敵彈は松下上等兵の右胸上部に盲貫銃創を與へた、腕を貫通されたるに拘らず上等兵は「野郎射つたな小隊長殘念です、松下は未だ一發も射擊せぬ中に敵にやられて之位殘念なことはありません」と言ひ捨て深手の負傷も屈せず數發の射擊をなしたるも出血夥だしく終に其の場に斃れた

◇

依つて小隊長は戰友に命じ同人を附近の支那家屋に送り軍醫の診療を受けしめた、即ち腕部盲貫銃創を受け口より血を吐きつゝ數發の射擊を爲したことは斃れて尚止まざる軍人精神の發露とも稱すべき陣中美談である【鞍山支局發】

遼陽附近匪賊

【遼陽】遼陽城西夏施堡村に十四日午後九時頃頭目溫作卅、新愛國自國等の騎馬匪百餘名來襲し同村の婦女を凌辱したる上三名の婦人を馬に乘せ頭目の所在地馬卓灣に拉致したと

◇

頭目王全一は第九區の有志を介して遼陽縣自治執行委員會陪委員長に歸順運動中の處許容されなかつたので村民に對し匪賊の食料として高粱十石、精米一石豚二頭を取あへず大砂嶺に送附せよと命じたので村民も之に應じ十六日輸送したと

◇

煙臺の東方三十五支里拉子寺、三家子に約二百名の匪賊現はれ同部落で金品馬匹を掠奪した上民家に放火約四十戸を燒却東方に向け移動したと

匪賊を銃殺

【安東】湯山城沙林子に於て十六日午前二時頃同地公安隊員が匪賊一名を逮捕せるが此奴は先般五龍背を襲擊せる一味にして頭部に彈丸一發を受けたる傷ありたる爲め公安隊に於ては直に銃殺に處した

旅順スケート大會レコード

【旅順】十七日第五回全旅順スケート大會における重なるレコードは左の如くである

▲五千米 一着一一分二九秒六(A組上倉)同(C組記錄なし足羽)同中學校(一三分一五秒筱本)

▲小學校八〇〇米 男子一分五九秒三、(第一小學校B組)女子二分五四秒(第一小學校A組)

▲五〇〇米決勝 一着A組(五五秒上倉)同B組一分(岩本)D組一分二二秒二四(石田)D組一分一二秒六(佐々木)I組一分二二秒一(池田)

▲千五百米 一着三分三四秒四(一中A組福富)同三分三二秒(一中B組笹本)同三分五六秒一(二中趙)同三分五〇秒一(工大菊地)

▲千六百米 一着三分四三秒八(一中)同三分三三秒三(關東廳林野)

▲八百米 一着二分一五秒(旅順高女)同一分四三秒九(關東廳林野)

松山本社長

【長春】本社松山社長は十六日午後一時着列車で本村販賣部長帶同來長、富士屋ホテルに投宿したが同日は南嶺の戰跡を視察後滿鐵地方事務所長橋岡茂氏を訪問挨拶、次いで長谷部旅團長大島聯隊長を訪問歸任の辭を述べホテルに歸つたが十七日は午前十時より寛城子の戰跡を視察後飛行場西公園を經長春神社に參拜午後二時二十九分發列車で赴哈した、尚社長は十九日ハルビン發歸長、二十日吉林往復二十一日長春發赴四、獨立守備隊司令官を訪問奉天に赴く豫定だと

野戰病院歸遼

【遼陽】錦州方面に出動中であつた野戰病院班廣瀬軍醫正新田軍醫の一隊三十五名は任務を終り十六日急行で遼陽に歸着した

SANTE

肺結核の革命的治療藥

●「サンテ」には、應用の適切を期する爲め、一號(有熱用)、二號(無熱用)、三號(虚弱質用)、の三種がある。これも創見者藤澤博士の苦心の現はれであつて、ピツタリ病狀に當てはまる藥を選ぶ事が治癒の促進にどれほど有效に働く事か云ふ迄もない事である。

◉「サンテ」は、各號とも、味緩和にして服用し易く、副作用、習慣作用、或ひは配合禁忌等の缺點のないのを特徴としてゐるから、他の藥物と併用する場合があつても何等妨げないのである。

【適應症】肺結核、肺浸潤、肺尖加答兒、肺氣腫、慢性氣管枝加答兒、肺炎、濕性並に乾性肋膜炎、結核性腹膜炎、喉頭結核、淋巴腺結核、腸結核、結核性下痢、肺門淋巴腺腫脹、脊椎カリエス、瘰癧、骨並に關節結核、結核性並に腺病性眼疾

【種類】「サンテ」一號=有熱期に適す
「サンテ」二號=無熱期に適す
「サンテ」三號=前記各適應症の恢復期並に結核性體質、腺病質、虚弱質、榮養不良に適す

【藥價】

「サンテ」一號	一二〇錠 二圓八十錢	三六〇錠 八圓十錢
「サンテ」二號	一二〇錠 二圓八十錢	三六〇錠 八圓十錢
「サンテ」三號	一二〇錠 二圓五十錢	三六〇錠 七圓二十錢

◉別に醫家調劑用粉末あり

◉先づ文獻に依りて諸博士推獎の聲を聽け

文獻(實驗報告書)送呈

藤澤博士並に諸博士がサンテを結核性疾患の治療に應用されたる成績報告書及び「療養指針書」を御申越次第送呈す

何が故に革命的治療藥と云ふか?

結核は、決して症狀を抑へたからとて治る病氣ではない。

結核に多くの場合隨伴し來る發熱、食慾不進、盜汗、下痢、咳嗽、血痰、頭痛、心悸亢進、疲勞感等の症狀に對して、先づその症狀を抑へんとあせるのは人情の止むを得ざる所であるが、此等の症狀は何に因つて起るかと云へば、結核菌の產生する結核毒素の中毒に因つて起るものであるから、單に症狀だけ輕減せしめ得たとて結核治癒の上には何等の效を爲さないのである。

又、一時的に藥で抑へた症狀は、原因たる結核が治らぬ限り、何回でも繰返して發現し來るは當然である。

それよりも、根本的に結核菌を絶滅し、結核毒素を排除し、結核病竈の本質的治癒を計る事の方が、どれ程重要であるか解らない。

斯くして病氣そのものが治癒に赴きさへすれば、區々たる症狀などは、何等の處置を施さずとも、自然に消失して行つて、再び起る事はない。これこそ本當の治り方である。

新發見藥「サンテ」は、この見地より、結核菌に對する殺菌と排毒兩作用を徹底せしめ治療界に一新生面を開拓すべく、醫學博士藤澤好雄氏の多年苦心研究に成れるものであつて舊套依然たる結核治療に正に革命的の斷案を下したるものと云ふべきである。

世には往々にして、理論上效果あるべしと稱せられたもので、臨床上の效果擧がらず、期待の裏切られるものがあるが、「サンテ」に至つては、理論上はもとより、臨床上に應用して實に素晴らしい效果を示す事は、實驗者が總て驚嘆を以て報告せられる所である。

正しき治療に目覺めよ

悲しむべき統計は我國に於て年々約十二萬の人が結核の爲めに死亡して行く事である。

而もその八割は十六歳から三十五歳までの年齡で、斯くも多數の前途有爲の青年や、一家の柱石を爲す壯年が、雄圖空しく恨みを呑んで結核の犧牲となりつゝある事は、小にしては一家、大にしては國家の大損失である。

故に、結核の治療に就ては、患者自身にとつても、家族の人にとつても、最も細心の注意を以て、對策を誤まらざる樣に考慮すべきであるに拘はらず、多くの人は何等深く考へる事なく、たゞ漫然とその日暮しの一時的治療に甘んじ、又は食慾も無いのに無暗に榮養食を詰め込む事のみに骨を折るといふ有樣であるから、病狀は益々惡化する許りである。

云ふまでもなく、結核は結核菌の傳染に因るものであるから、菌の繁殖を抑制せず、毒素の排除も講せずして、徒らに榮養食を多く食べたとて、毒素のために弱められた胃腸は到底その負擔に堪へ得ず、不測の下痢など起して却つて身體を衰弱させる位が關の山である。榮養を盛んにする事は、先づ結核に對する根本處置を講じてから後でなければ無駄が多い。

正しき治療は、是非とも結核菌の殺菌と毒素の排除に第一目標を置かねばならない。

即ち、その見地に立つ新發見藥「サンテ」が各知名大家によつて競つて推奬せられ、日々多數患者の感謝の的となりつゝあるのも、決して偶然ではないのである。

肺病を治すか否かの分岐點

結核藥に對する認識不足ほど患者自らを毒するものは無い

世に、結核藥又は結核滋養劑と稱して販賣されてゐるものは、實におびたゞしい多數に上つてゐる。

藥店の店頭を一寸のぞいて見ても、新聞や雜誌の廣告を一瞥して見ても、正に

結核藥オンパレード

の感がある位であつて、惱める患者が、あれこれと迷ひわづらふのも誠に無理からぬ事である。

然し乍ら、此等多數のいはゆる結核藥の中に、眞に結核そのものを治す效力のあるものが果してどれだけあるであらうか。

その多くは、結核性疾患に伴つて起り來る症狀の一部を鎭靜するだけ、即ち熱を下げるとか、ねあせを制止するとか、咳嗽を抑へるとか、食慾を進めるとか、いふに止まり、結核藥に非ずして單なる症狀鎭靜藥にしか過ぎないのではあるまいか。

その樣な藥をいくら浴びるほど服んだとてたとへ一時的に症狀は輕減しても、結核そのものゝ根本治療にはなる筈がない。その正確に就ての認識が足らず、結核藥と名がつけば何でも手當り次第に鵜呑みにしてかゝらうとする患者は自分自ら

治る希望を捨てた人

と云はねばならないのである。

自分の病氣を治さうと思へば、モット眞劍に、自分の服む藥に就て正しく考へねばならない筈ではあるまいか——

今茲に述べんとする「サンテ」は、別項にもある如く、徹頭徹尾結核の病竈に向つて藥物的作用を營む眞の抗結核藥であつて、病氣そのものゝ本體に藥理效果を及ぼし根本的の治癒を計る獨特の創意に成る發見藥である。

見方に依れば、病竈に對する作用のみに急にして、現に患者を惱ましつゝある各種の症狀に對する處置を閑却したるものゝ樣にも見ゆるやう。然し、實際は閑却するどころか、病の本源を鎭める事が、即ち症狀を輕減する事に一致し、而も最も早道なる事を知るものである。

人爲的に外部から症狀を抑へる事は、やゝもすると反動を伴ひ易い。のみならず、各種の症狀の起り來る事は、起るべき原因あつて起り來るものであるのに

その源を究めずして

單に表面に現はれた症狀のみを抑へんとすれば、どうしても無理を生じ易い。

若し、先づその源にさかのぼつて、結核毒素を排除し、症狀の起り來る根を斷つ事が出來たなら、少しも骨を折らずに極めて自然的に症狀を消失せしむる事が出來、病氣そのものゝ急速なる本質的治癒を計る事を得るに違ひない。即ち藤澤博士が苦心されて「サンテ」を創見せられた核心は此處にあるのである。

その效果の手近な說明は、「サンテ」を實驗せられた各博士の報告書に見る事が出來る。

——食慾大いに增進し、健康時と同量の食餌を攝るに至る
——微熱去り、平溫となる
——ねあせ止み、夜間安眠する事を得
——胸痛去り、頭痛、全身倦怠を感ぜず
——咳嗽鎭まり、血痰止み、呼吸輕快す
——肩こり、全身異和感去り、元氣振起す
——ラッセル消失す
——下痢頓挫す

斯くの如き著名な症狀の減退が「サンテ」の服用後、早きは四五日

おそくも一週間目頃

からメキメキと現はれ來る事屢々であつて患者の氣分は、日增しに不快なる症狀の消失し行くに從ひ、益々明るく輕快となり、體重も增加し、一步一步全快への堅實な步みを進めて行くので各博士とも非常な喜びを以てその結果を報告せられ、その效果を賞讃せられてゐる。

單なる症狀の沈靜劑であつても、この樣に速かに安全に奏效を見るのは稀である。まして、僅かに一劑にて、斯くも多數の症狀を一擧にして消失せしめ得るのは、前述の通り、「サンテ」が、病の本源を爲す病竈に直く樣作用して忽ち殺菌排毒の效果を現はす獨特の製劑なればこそであつて、斯くてこそ

始めて本當の治癒が

そこに期待出來得るのである。

なほ、本劑が、服用極めて安易安全であつて、過敏性の婦人や小兒も喜んで之を服用し得る事、又少しも副作用習慣作用なく安心して持長せしめ得る事、及び、本劑のほかに下熱劑や其他の症狀鎭靜劑を併用する必要は更になく(併用する事は妨げなけれどもその必要なし)唯一劑のみにて充分各種の效果を同時に現はす故、從つて頗る經濟的なる事など、各博士の一致して推奬せられる所である。

臨床大家四十餘博士が

「サンテ」を各種の結核性疾患に應用せられて

その藥效を推奬せらる

醫學博士 岩井登門氏
醫學博士 生地憲氏
醫學博士 石山暢昂氏
醫學博士 飯島近治氏
醫學博士 濱田良輔氏
醫學博士 半田久雄氏
醫學博士 西田宗一氏
醫學博士 豐田正達氏
醫學博士 大國二郎氏
醫學博士 澁邊貞惠氏
醫學博士 川上理作氏
醫學博士 川村六郎氏
醫學博士 高橋三千彥氏
醫學博士 高島俊治氏
醫學博士 竹島光藏氏
醫學博士 竹森啓祐氏
醫學博士 內藤業太郎氏
醫學博士 中村和雄氏
醫學博士 內田謙益氏
醫學博士 內野淺次郎氏
醫學博士 上森虎之助氏
醫學博士 黑岩文一氏
醫學博士 栗原基氏
醫學博士 松崎香住氏
醫學博士 增田貞一氏
醫學博士 小竹政吉氏
醫學博士 小松原謙三氏
醫學博士 蘆名泰氏
醫學博士 齋藤齊氏
醫學博士 佐藤弘氏
醫學博士 澤田四郎作氏
醫學博士 木崎正美氏
醫學博士 木許寬氏
醫學博士 百合野順太郎氏
醫學博士 三好毅一氏
醫學博士 宮井茂吉氏
醫學博士 宮崎正一氏
醫學博士 宮本博人氏
醫學博士 志賀費氏
醫學博士 弘田茂富氏
醫學博士 森本正好氏
醫學博士 勝呂愢氏
醫學博士 杉田貞之氏
【イロハ順】

全國臨床醫家に急告

‖品切れ中の粉末の用意成る‖

「サンテ錠劑」御注文殺到の爲め「サンテ粉末」製造の暇なく、永らく品切れにて御迷惑を掛けて居りましたが、工場設備の擴張に伴ひ「粉末」の用意も充分に調ひましたから、今後品切れの爲め御迷惑を掛ける事はない積りであります 御諒承の上弊社又は藥品問屋へ御用命を願ひます

御注文方法
◉御注文の際は必ず「サンテ」何號と御明記の事
◉御送金は振替貯金(大阪三五七番)御拂込か、又は郵便爲替御利用が御便利、前金の御注文には送料を要せず
◉代金引替便ならば御注文主にて送料御負擔の事

各地著名藥店及び百貨店藥品部にて取次せらる

大阪市東區北濱一丁目
參天堂株式會社學術部
振替貯金大阪三五七番

匪賊團牛莊城を包圍 便衣隊は各所に放火

我軍苦戰に應援隊急派

十八日午後四時牛頭老北風、青山の率ゐる約一千五百名の匪賊團は牛莊城を包圍我が○○部隊と交戰、更に同五時に至るや城内に潜伏せる便衣隊はこれ等馬賊團と相呼應して城内各所に火を放ち、之がため我○○部隊は苦戰に陷つたとの報に接し、營口及大石橋より應援隊を急派した【營口電話】

單身敵陣に躍込み十四名を斬る

河野中尉戰死

十七日歩兵第○○聯隊の○○部隊は營口北方沙嶺に於て匪賊六七百名と遭遇し直に之と交戰し一時間に渉る激戰の結果敵に多大の損傷を與へて更に西北方に潰走せしめた、この戰鬪に於て河野元秀中尉は勇敢にも單身群がる敵中に躍り込み日本刀を振つて敵十四名を倒したが不幸敵彈に當つて頭部に貫通銃創を受け壯烈な戰死を遂げた、敵は死體約七十を殘して西北方へ潰走したがわが軍の戰死者河野中尉外騎兵一名歩兵二名である【奉天電話】

沙嶺の遭遇戰

十六日沙嶺一帶掃蕩中の歩兵第○○聯隊及び騎○部隊は途中馬河子、八河子附近に於て優勢なる敵の主力と遭遇し之に對し痛烈なる攻撃を加へ敵を潰滅せしめた【奉天電話】

牛莊に入城

沙嶺地方に蟠居せる有力なる匪賊討伐のため十六日田庄臺のわが○○部隊は途中馬河子村落附近に於て牛莊を襲撃せんと計畫中の匪賊に遭遇し直に之と猛烈なる市街戰を開始し完全に掃蕩し十七日午後堂々牛莊に入城した【奉天電話】

通遼附近を掃蕩

匪賊を撃退引揚ぐ

通遼附近の匪賊掃蕩に向つた森山一枝隊は十七日騎兵長岡中隊をして興家鎭を掠奪中であつた約一千名の匪賊を掃蕩した後、同中隊は賊を西北方に撃退し午後一時通遼に引揚げたわれに損害なく賊の死體九十捕虜二十二、鹵獲兵馬三十餘頭

新立屯部隊

討伐開始

小銃二十挺、彈藥五百を鹵獲す【奉天電話】

新立屯北方二道家子附近に兵匪千名出沒し掠奪を恣にしてゐるので新立屯駐屯大隊は十七日拂曉兵匪掃蕩の攻撃を開始した【奉天電話】

また眞綿御下賜

交替部隊に

【東京十八日發】皇后陛下並に皇太后陛下には曩に滿洲將兵に眞綿を賜つたが兩陛下には更に交替補充部隊に對し十八日眞綿下賜の御沙汰あらせられたので荒木陸相は午後一時半宮内省に出頭し河井大夫入江大夫より拜受した

高山子に匪賊襲來

討伐隊を急派

關東軍司令部發表十七日午後十一時頃千名の匪賊が突如打虎山西方高山子附近に襲撃せるを以て打虎山部隊より歩兵約一個中隊を同地に急派した【奉天電話】

二十八勇士の遺骨門司着

【門司十八日發】滿洲の曠野に名譽の戰死を遂げた鳥井曹長以下合計二十八勇士の遺骨は今朝ばいかる丸で門司着それ〴〵郷里に向つた

滿鐵社員に賜つた閑院宮殿下の令旨

内田滿鐵總裁恐懼感激して全社員に對し傳達

【東京特電十八日發】目下滯京中の内田滿鐵總裁が去る十六日參謀本部において畏くも參謀總長閑院元帥宮殿下より謁を賜はり滿鐵今後の經營方針に就き重要なる御報告を申上げたことは既報の如くであるが、その際元帥宮殿下より特に内田總裁に賜りたる御言葉は左の如く過般の犧牲者に對しても誠に有難き御同情を賜はつたので、内田總裁は非常に感激して今日右の令旨を一般社員に傳達し、尚一層執務に精勵するやう、江口副總裁に向け親展電報を打つた

參謀總長閑院元帥宮殿下令旨

獻身的の協力をなしたるは夙に承知せる所であるが、こゝに總裁を通じ感謝の意を表すると共に犧牲者に對しては衷心哀悼の意を表する、今や滿鐵の活動範圍は益々擴大してその責務も從前に比し一層重大を加ふるに至つたから今後益々軍部と協力一致して難局の打開に邁進せられんことを切望する

　滿鐵會社が事變以來軍部に

大毎茅野特派員ら四邦人の死體發見

錦西の西方平山嶺子で

錦州討伐の際兵匪のため拉致されて以來其の生死を危ぶまれてゐた大阪毎日特派員茅野記者及び所、山口、加藤の四邦人が無殘の死體となつて遺棄されてゐるのが十六日午後に至り錦西の西三十キロの平嶺子に雨風に晒されて變り果てた姿で發見された【奉天電話】

匪鄕潛入記（四）

威嚇發砲し部落を占據する

廢墟の如く農村疲弊

佐内泗外生

夜 もほの〴〵と明け初めた頃三百の騎隊は目的地○○○手前二支里の地點に到着した、豫て密使を送つて我々の部落占據に就いて大體の渡りが付けてあるこれを拒めば○○○○○することを暗示し先方も何等抵抗しない旨を確めてはあるが、部落民にどの樣な計畫があらうとも知れぬ、數名の騎隊は逸早く本隊から別れて村落の樣子を探るべく出かける、それに依つて何等手向ひする樣子が無いことが判つたが若し附近に他の賊團でも居たら我々大部隊がこの部落を占據するから敵對しても駄目だぞと云ふ賊追つ拂ひの意味で町に發砲威嚇しながら悠々と部落に這入り込んだ、一番氣の毒なのは

農 民だ、一度や二度なら未だしも限りない匪賊の群から次へと無理難題を吹つかけられて若し拒めばどの樣なことをされるか明かなことだ、命あつての物種、かうした匪賊の横行にも成すがまゝされるまゝを任せる外はない、村にはもう何一つとして目星い品とて殘されて無いみじめさだ、甚だしいのは夜具の類から衣類、馬、車、武器、食糧に至るまで少くとも金目の物、彼等の生活に必要なものであれば一として見逃さないことは云ふまでもない、爲に一度斯うして匪賊の群に睨まれるが最後農村は極度に疲弊し切つてさながら

颱 一過の觀あるにも拘らず、四時斯うした匪禍に怯やかされつゝもなほ倦まずたゆまないで何物かを築き上やうと努力する善良民の意氣を惟ふと醜り無き感慨の念が湧いて來る、三百の騎隊が部落に入るや老百姓は怯え震えて唯上を下への大混亂、武力の前に彼等はたゞ無抵抗のまゝで總ての要求を無條件で承認する、此の世ながらの生き地獄だ！然し斯うしたことを豫期した農村では居殘つてゐる者の殆ど老人子供ばかり僅かに自分達の家を守つて居るに過ぎない、働き盛りの若者とか年頃の婦人は何時の間にか何處かへ逃避して影さへ見せないひつそり閑とした廢墟の樣な土屋の

家 々を占據した一行は疲れ切つた體を憩ふよりも先づ昨夜來の饑を滿すため食事の用意に取掛らなくては成らぬ【挿畫岡井眞ゐがく】

滿鐵青年同志會演說會プロ

さきに雄々しく産聲をあげた滿鐵青年同志會では廿日午後六時半から滿鐵協和會館で開く政策發表演說大會で同會の動向、その他について一般社會に呼かける第一聲を放つこととなつたが同日のプログラムは左の如くで入場は無料一般の來聽を歡迎すると

第一部

▲青年同志會の動向（稻葉一郎）▲誤認されたる我等の權益（志波威和夫）▲滿蒙新國家の建設（白井卓）▲新經濟政策の提唱（北條秀一）▲滿鐵の新生（隱岐猛男）▲滿鐵革正の叫び（吉井卓）▲結辭（増田重秋）

第二部

▲映畫「豐年滿蒙」六卷

金庫には數百萬圓

七十八萬圓だけ盜難

松原朝鮮銀行本店理事語る

【京城十八日發】平壤鮮銀支店の七十八萬圓の大盜難事件に就き松原本店理事は左の如く語る

平壤支店では朝十時出勤して大事件が判つたらしく本店には十一時近くあはてゝ電話があつた何しろ七十八萬圓と云ふ大金で非常に心配してゐるが金庫には數百萬圓の金があるのでその中の七十八萬圓を取つたと思はれる、犯人は内部の者か外部の者か判らぬが或はマンホールを破り大金庫に入つたかも知れぬなほ盜難の鮮銀七十八萬圓は十圓と百圓札が主で三人の宿直は熟睡してゐたと云ふが一說には思想團體の仕業ではないかとも云はれ鮮銀では大狼狽を極めてゐる

滿洲に入れば遂に迷宮か

【京城十八日發】平壤鮮銀支店七十八萬圓盜難事件に就き本店の一課長は語る

平壤支店には何時資金の需要があるか判らぬので數百萬圓を準備してゐる、この大盜難で金が國境を出てゐなければ判るだらうが現金の事だし若し滿洲にでも入つたとなれば遂に判らぬかも知れぬ

犯人は内情を知る者か

【平壤十八日發】平壤鮮銀支店七十八萬圓窃盜事件は十七日拂曉行はれたものらしく犯人は銀行支店の右手檻門から潛入物置の硝子戶を破つて屋内に侵入し構内手形交換所を通り抜け一直線に金庫の前に進み金庫の鐵製大扉の右横にある縱一尺八寸横一尺五寸の非常扉を巧に外して金庫内に入り四百餘萬圓の現金中から七十八萬圓を取つて外に出て内側から檻門を開いて逃走した形跡あり、非常扉は雪の中に投げ棄ててあつた、犯行の跡から見て犯人は豫てから銀行内の模樣を知つて居るものらしく平壤警察署では十六、七兩日の宿直員及び小使は素より過去現在の銀行員小使に至るまで嚴重取調べ中である

犯人は滿洲へ逃亡か

【平壤十八日發】七十八萬圓事件は十七日朝行はれた爲め犯人の指紋等その他證據となるべきものは一切抹殺されてゐるが犯行は數名で行はれてゐるものの如く目下大活動して犯人嚴探中であるが未だ逮捕に至らず犯人は滿洲方面に逃亡した模樣がある

恤兵金二百餘萬圓 慰問袋は百五十萬

事變と國民の後援

【東京十八日發】荒木陸相は十八日滿洲事變における國民後援の狀況を上奏したが、陸軍が九月末恤兵金品取扱ひを開始して以來、一月十五日迄に受領した數量は、寄附金百七十九萬九千七百六十二圓三十錢、寄贈品五千八百七十五口（中慰問袋百二十四萬五千八十六個）で寄贈金品は海外在留邦人及び外人からも贈られてゐる、而して現品は出動部隊に逐次配給し現金はこれを以て日用品、娯樂品、飲食品等を調辦し出動部隊、傷病兵收容病院に配給し、東北凶作地方等の出動軍人遺族家族に現金配與をなしたる外、一般の狀況を調査して救恤せんとしてゐる、この外金品を直接又は留守隊を經て寄附したものは昨年末迄に寄附金三十八萬四千八十八圓四十五錢、寄贈品千二百二十口（中慰問袋二十八萬八千四百九個）となつてゐる、又國防充實のため献納された兵器は飛行機二機、鐵甲五百餘個、機關銃二個となつて居る

北海道大學賜杯獲得

學生スキー大會

【札幌十八日發】第五回全國學生スキー競技大會第二日目は十七日午前十時から札幌神社外苑で擧行された、天氣引續き快晴で寒氣強く絕好のコンデーション、且最後の優勝を決すべき選手の緊張は勿論、觀衆も黑山と會場を埋め熱狂應援した、地元、北大は本日最後のジャンプ競技で壓倒的大捷を得た、結局五種目中四種目の一等を得總得點十一點を三年目に再び本懷を遂げ秩父宮賜杯を獲得した期待された早大はリレーに勝つただけで得點二十六點二位に落ち午後五時十分リレーのラスト日大飯田選手が全く暮色に包まれてゴールに到着し競技を終了午後六時より豐平館に於て秩父宮優勝賜杯その他の賞杯の授與式をなし目出度く大會の幕を閉じた

避難の同胞に無料で施藥

全滿藥劑業者の美擧

事變以來滿鐵各沿線附屬地へ避難してゐる鮮人中病弱者が約一萬人あるが何れも貧困者か或は進んで醫療を受くるものもなく又一方醫療方面に於ても仲々行き屆かないため誠に同情に堪へぬ狀況にある折から今回州内外の全滿藥劑業者一同は救護藥品の無料提供方を關東廳に申出たので同衞生課では大いに喜び直に滿鐵及び沿線各警察署と連絡の上至急適當なる方法を講ずることゝなり多大の幸福を齎された

柳芳畫伯歡迎會

大連在住の福岡縣柳河人は同地出身の畫伯宮本柳芳氏が旅順より大連市二葉町七七番地に移住したため一般のために鞭をとる傍ら廣く一般のために健筆を揮ふ事となりたるを機會として二十二日午後五時半から吉野町鳴戸に集つて交情を溫める事となつた

同畫伯は二十歲の時九鐵勤務中公傷をうけて左腕を切斷したるが猛然として起つて美術學校に入學の機會を作り正木校長等の殊遇をうけ卒業後は日本畫の權威川合玉堂氏に師事する事十餘年に及び現に帝國繪畫協會理事たる外、畫家が望みて得がたき母校の美術文庫の閲覽も許可されて居る程で透徹したる觀察を隻手を以て忠實に寫實し同時に日本畫特有の缺點を除くべく細密の裡に和か味を多分に加へて立體化されたる日本畫ともいふべき一流の畫風をなして居る、特に得意とする花鳥は眞に迫つて居る

因に會費二圓當日持參、吉野町内田寫眞館宛申込のこと

大連支店入電

鮮銀平壤支店の七十八萬圓盜難事件について武部鮮銀大連支店長は語る

今本店から盜難の趣だけ通知がありましたが、詳報が判りませんから何とも云へませんが傳へられるが如く思想團體の手が廻つてゐるとすれば使ひ途について一寸困りますれ、何れにしても今頃奇怪なことが起つたものです

不敬事件の處分

免官、罰俸等夫々發表

【東京十八日發】櫻田門不敬事件に關する懲戒處分は十八日左の如く發令された

懲戒免官

休職警視總監　長延連

一ケ年間俸月割額三分の一減　警務部長　大竹十郎

一ケ年間同上　官房主事　村地信夫

八ケ月間年俸月割額十分の一減　警務課長　綱島覺左衞門

六ケ月間同上　特高課長　山本義章

一ケ年間年俸月割額三分の一減　麹町署長　田村英雄

二ケ月間年俸月割額十分の一減　内務省警保局長　森岡二朗

　下谷坂本署長　杉原傳之助

譴責（各通）

　淺草菊屋橋署長　渡部源治

　保安課長　三橋存一郎

訓告

　内務次官　河原田稼吉

陸軍側責任者譴責處分

【東京十八日發】不敬事件の陸軍側警備責任者處分は調査中だつたが十八日憲兵司令官戶山中將、東京憲兵隊長難波大佐、麹町憲兵分隊長大木少佐は夫々譴責處分に附したなほ三氏は近く他に轉補される筈

今年の義士會は時局柄盛大に行ひ

展覽會や講演會も催す

帝國在鄕軍人會大連聯合分會では例年の如く本年も來る二十一日、舊暦十二月十四日を期して午後五時より彌生高等女學校講堂にて義士會を開催するが、時局多端の折柄單なる義士會とせず此際一層意義有らしめるべく大連市役所、在滿日本人時局後援會の後援を得て義士會時局展覽講演會として開催することゝなり、當日は午後五時より展覽會を開始する筈で、展覽品は不破騎兵大尉の絕筆始め戰歿將士の遺品、各戰鬪の寫眞、及び現在皇軍にて使用してゐる、軍用防寒具等である又午後六時よりは講演會を開會するが同講演會の順序左の如し

一、開會の辭　在鄕軍人第一分會長　脇屋次郎

二、大石良雄に賜はりたる勅語捧讀　大連市長　小川順之助

三、講演

イ、大石良雄と山中幸盛　大連二中教諭　谷口爲次

ロ、新國家建設に就て　時局後援會常務　實性確成

ハ、昂々溪の戰鬪に就て　陸軍歩兵少佐　藪内丈平

ホ、母國に使して　時局同志會　春日兼三郎

へ、義士に就ての所感　時局後援會々長　小川順之助

四、餘興

イ、唱歌　彌生高女生徒有志

ロ、義士打入（琵琶）旭華　女史

五、閉會の辭　在鄕軍人分會長　岩井勘六

神明高女の國旗掲揚式

二月一日午前十時より國旗掲揚式を擧行する事になつてゐるが同國旗は攝津町一一吉富直方氏の寄贈になるもので二十尺に三十尺の大きさである

安樂椅子

馬占山將軍の未だ華やかなりし頃南支における愛國者連の間では或は軍需資金の募集となり或は激勵電となつて正に馬將軍四百餘州の人氣を獨りで背負つたかの感があつたが利にさとい支那人の事とてこのまゝ放つておくわけは無く好機會と許り早速「馬占山將軍」と云ふ煙草を賣り出した。

……◇……

それが當つて賣れるは〳〵恐ろしい賣行でその間にあつた職人連大いに北叟笑んだがその後馬將軍があんな終末を告げるやパツタリ賣行きがとまつた。

……◇……

そこで困つてしまつた職人連、そこは文字の國だけに「馬將軍を吸つてしまへ」と新手の宣傳を初めたので又もや賣行きが上向いて來たと云ふ、滿石の馬將軍も煙草になつて吸はれるとは思はなかつたであらう。

曙の鐘 (170)

倉田潮
河野想多畫

第二の戀人 (三)

お夏はあけみに手つだつて、背中に湯をかけてやりながら、その問に答へた。

「警察ではあの夜私が五階に、春木やたえ子さ一緒にゐたものですから、その時の二人のしたことを詳しく話せさ私に云ひますのよ」

「でも、それは前におまへが警察の人に一度よく話しておいたことぢやないの」

「さうですの。前に御嬢樣と打合せをした通りに申し述べておいたのですが、それが違つてゐはせぬかさ云ふのですの。たえ子が警察へ來てあの夜のことを細かに話したらしいですわ。それが春木の陳述さ符合してゐるので、私が嘘を云つてゐるのではないかさ思つてまた呼び出したのでせう。でも、私、御嬢樣さ相談しておいた通り春木さたえ子の云ふところは總て嘘だ、二人が田舍に逃げて行つてる中にうまくつくりあげた嘘だーと何處までも云ひ張りましたのよ。」

あけみは默つてお夏の顔を見た。お夏の警察で云ひ張つたことは、かれて二人で打ち合せてある通りだつた。しかし、あけみはお夏がその通りを云つたとの返事を聞くと、思ひがけない烈しい憎惡につきあげられた。この古狸のやうなお夏の口からあの純な春木を死におさす言葉が、しやあ／＼と述べ立てられたのだらうか。春木の陳述は總て嘘です——と口をぬぐつて云つたのだらうか實はあの夜「階下に行つて醫者をよんでこい」と、春木に云はれた時、階下に行く風をして春木の犯行を見屆けたさ、まことしやかに申立てたのだらうか。本當は其犯行は春木ではなくお夏自身がしたことであるのに、己の罪を無垢な春木になすりつけようとして、あべこべなことを申立て、しすましたと云ふ顔をして今湯に這入つてゐる。「御嬢樣」の云ふことを信じて、「お嬢樣」が自分にちかつた言葉をそのまゝ信じて安心してゐる。その御嬢樣が實は裏で何んなことを考へ、何んなわなをつくつてゐるのかを知らないのだ。ちがひなぞが何になるものか。ふぬけの惡黨、脅餓の妖魔！自分の眼の前に、怖ろしい千ぢんの斷崖があるのが見えないか。

「それで、お夏」とあけみは激した心を聲にあらはすまいと靜かに云つた。「警察はお前の云ふことを信じたの」

「それはよく解りませんが、多分信じたと思ひますのよ。「春木をてつてい的にしらべて見ろ」と云つてましたから」

「ふーん」

とあけみは苦げに低く唸りながら、そつぽを向くと、苦痛にひん曲つたやうに顔をゆがめた。

春木は仇敵だ——と彼女は心の中で呟いてゐた——あれほど思ひをかけてゐる自分を冷たくはねつけて、何處までも外の女の後を追ふ男は、敵さと思ふより外にすべはない。總てが然らざれば無！慘忍に殺すより外に方法はない。激情しいあけみの心からすれば其の間の妥協は總て許されないのだつた。

湯舟からあがるさ、お夏が背中をながさうさ云ひ出した。あけみは長い首をさげて、上半身をお夏のするまゝにまかせてゐたが、春木の冷やかな心を思ひ己の不思議な運命を思つて、涙が止度なくあふれ落ちるのだつた。マリアを殺さればならなくなつたのもその原因は春木への戀からではないか。

急にあけみはお夏に涙を見られるやうな氣がして、そこにゐたたまれなくなつた。來た時と反對に逃げるやうに浴室を出て、泣くところを求めて己の部屋にかへつて來た。今は平常の驕慢も優越も誇りも、總て失はれてゐた。

がばさ卓子に顔を埋めると彼女はさめ／＼さ泣き初めた。泣いて泣いて、やう／＼涙がとまるさ、ふと眼をやつたピアノの背後に、彼女は或る怖ろしいことを見て、ぞつとして突つ立ち上つた。マリアと入れかへた大きい人形が何時の間にか見えなくなつてゐた。

滿日臨時碁戰

先相先先番 水田利八二段 井上太市初段

——【12】——

●二二一ワ十九 ○二二二チ十九 ●二二三ヨ十九 ○二二四チ十九
●二二五ツ十八 ○二二六ル九 ●二二七チ九 ○二二八ト十九
●二二九レ十八 ○二三〇ソ十 ●二三一レ十五 ○二三二ツ十六
●二三三レ十一 ○二三四ツ十四 ●二三五ツ十一 ○二三六ツ十
●二三七ツ十二 ○二三八ホ十九 ●二三九ホ十八 ○二四〇ヘ十九

水田氏五目勝

けふの放送

大連 JQAK 一月十九日

▲午前七時ラヂオ體操
▲午後六時五十分ニユース
▲華語講座「テキスト第七十二課」滿鐵學務課秩父固太郎
▲長唄「雛鶴三番叟」唄岩崎、三味線平田夫人、ピアノ村岡樂童
▲ハーモニカ（イ）ジプシーラブレハー作（ロ）アメリカンパトロール・ミーチヤーム作（ハ）ドマーヴレキンイヴアノヴイチ作、永田彰男
▲義太夫「義經千本櫻忠信勝本三四、靜」淨瑠璃宮崎扇松、三味線鶴澤叶治郎、ツレ彈碇山夫人同三村すみ子
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニユース

東京 JOAK

一月十九日午後六時三十分
▲滿蒙特別講座「日本と滿蒙」中野正剛▲人形淨瑠璃「梅川忠兵衛冥土の飛脚新口村の段」（文樂座より）淨瑠璃豐竹古靱太夫、三味線鶴澤清六▲連續二人漫談「一九三二年風景」第二席徳川夢聲、古川綠波、伴奏指揮福田宗吉

滿洲日報
（明治四十八年十二月十五日第三種郵便物認可）
發行人 …… 編輯人 橋本喜代治 印刷人 本村武雄
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社
定價 一ヶ月 金一圓二十錢 郵税 金十五錢 一部 金五錢
廣告料 普通一行 金二圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

過去二十箇月に亘る露支交渉徒勞に歸す
莫支那全權露都を引揚

【モスクワ十七日發】一昨夏以來露支交渉代表としてモスクワに在つた莫徳惠氏は過去二十箇月間に亘る交渉も徒勞に歸し本日遂にモスクワを後にハルビンへ向つて出發した、滿洲事變以來露支會議は正式には決裂してゐなかつたが、昨年十月外務人民委員次長カラハン氏と莫徳惠氏との會見を最後として事實上停頓の状態に在つたものである（寫眞は莫氏）

日支の直接交渉は北平にて開くべし
學良南京政府に打電

【南京十七日發】國民政府は本日學良から左の如き對日問題對策決定せりや否やの問合せ電報を接受した

國民政府の對日對策決定せりや否や、若し滿洲問題對策がなほ決定に至つてゐないなら余は自已の方針に基きこれを處理する又若し日支直接交渉が行はれるならその交渉は北平にて開かるべきである

蔣介石氏の支持で新政府危機を脱す
近く重要宣言を發出

【上海十七日發】汪精衞氏の杭州行きと同時に蔣介石氏は近く個人の資格で現政府支持の重要宣言を發表するだらうと傳へられてゐる

崩壞されりとみえた南京政府が上海財界との諒解成立と相俟つて一應は危機を脱した譯である

胡氏が出馬せば共に南京へ赴く

【上海十八日發】杭州來電、汪精衞氏は十七日終日蔣介石氏と會見し南京行問題につき協議したが遂に「胡漢民氏が南京に出馬するならば自分等も出馬、入京し三名で事務に就くべし」といふに決定し即日その旨孫科氏に打電すると同時に廣東に在る胡漢民氏に對し北上を促す電報を發した、尚蔣介石氏は胡漢民氏の上海に來る迄は再び奉化に歸り汪精衞氏は杭州にあつて靜養する旨發表した

胡氏入京難

【上海十八日發】香港十七日來電によれば汪精衞、蔣介石兩氏の出馬求電に接した胡漢民氏は直ちに返電を發し依然血壓高く當分入京不可能なる旨回答した

張海鵬氏動靜

來奉した張海鵬は十七日午後二時約一時間半に亘つて軍司令部に本庄軍司令官を訪問し來奉の挨拶を爲すと同時に種々意見の交換を爲したが、午後四時省政府に臧式毅、袁金鎧、于冲漢、趙欣伯氏らを訪問し新國家問題に關し協議するところあつた【奉天電話】

犬養首相引籠る

【東京十八日發】犬養首相は去る十六日以來齒痛みのため引籠中であるが議會解散間際のこととて特に大事を取り本日の定例閣議にも出席せず官邸に臥床療養中である

高橋藏相快癒

【東京十八日發】舊臘來感冒引籠り中なりし高橋藏相はこの程全快したので十八日午前十時開會の定例閣議に久し振で出席した

愛國號で歸奉した本庄軍司令官　遼西方面の愚軍を慰問し十七日愛國號に初搭乘して歸奉した本庄軍司令官、飛行機から下りんとするが軍司令官

呉佩孚の兩代表舊直隷系を糾合
張學良懷柔に腐心

【天津十八日發】呉佩孚氏の代表督孚韓、趙王珊の兩名は過日來津し舊直隷派を糾合し何事か畫策中なるが軍事は于學忠、冠英傑、財政は前財政總長張英華等がそれぞれ擔任して呉佩孚勢力の結束に當ることとなつた、之に怖れをなした張學良は右二代表を北平に招いて懷柔を試みる一方張宗昌も自派に之を引き入れんと努めてゐる

良民と同服裝の匪賊討伐の苦心
軍部の指導によつて
警察隊の組織が必要

◇…日支衝突後、全滿蒙に跳梁した兵匪の數は決して尠くない、それだけこれが討伐は至難なことである、殊に神出鬼沒の彼等匪賊が總て良民と同樣の便衣で何等特長のある目印があるでなく、また日本人には匪賊であるか、どうか直感的に見分けが出來ない不利が、より以上討伐に困難を感じ且つ討伐側に不覺の犧牲者を出すに至る事情を見ることになる

◇…彼等は匪賊を職業としまた敗殘兵も多分に匪賊の味を知つてゐて地方部落民或は官憲は彼等兵匪の暴虐なる後難を恐ふこと、これを日本官憲の討伐隊に密告することを恐れ賊をかばふこと、なる討伐隊に雇はれる密偵は地方良民が彼等をかばふのでこれを透視することは出來ない、討伐隊と匪賊との間には戰はざる以前に既にこれだけの距離があり、加ふるに地理と防寒と逃足の早さがある、戰爭と討伐とは勿論同一視する譯には行かないから、戰爭で強い軍隊と匪賊討伐に二十數年間訓練されてゐる警察隊と合作して一擧にこれが討伐を決行したならば、犧牲者を出すことが少くして而も有效なる結果を見得るかと思はれる

◇…警察隊の巡捕が放つ密偵は匪賊掃蕩にはけだし最も效果あるものであらう、若しこの機會に積極的討伐を決行せざるにおいては高粱繁茂期には恐らく彼等の天下となり地方の治安はいふまでもなく、滿鐵沿線の脅威は今日以上で其慘禍も思ひ半に過ぎるものがあらうことを想像される

◇…若し軍警合作討伐不可能とあれば關東廳はよろしく警察隊を組織し一個中隊百名の四個中隊これを本溪湖、奉天、四平街、大石橋方面に分遣常置し、その分遣處には滿鐵と交渉して臨時列車の出動用意を整へ、匪賊の動靜に應つて書類報告を略し電話乃至電報報告として迅速なる討伐行動に資することである、勿論軍の後援助力を得されば討伐の實を擧ることは不可能であるから、常に連絡をとり應援をたのむことを忘れてはならない

◇…事變後の匪賊が各地における襲擊目標を見るに、事變前と異なつて少數の軍隊であり、警察官であり、居住日本人で而もその射殺を以て唯一の目的としてゐることを想到するに至らば、現在よりも高粱繁茂期、所謂匪賊の最活躍期における慘害はけだし夥だしいであらうことを覺悟せねばならぬ滿鐵沿線中間驛居住邦人の不安は其居住者以外のものには到底窺知し得ないであらうが、避難に次ぐに避難を以てする實情からして治安が維持され難いことだけは事實として見られる、この點からしても關東廳は當面の問題として附屬地の治安を保持するには、一歩進めて積極的討伐方法を講ずるの必要があらう

◇…軍事行動の一段落を見た今日軍の勞を察知して關東廳は治安維持のため警察隊を組織して軍の討伐に補助機關として出動し偵察に或は搜査に或は討伐に進むべきではあるまいか、此處にいふ警察隊は、所謂獨立警察隊の意味でその參謀は軍人を囑託にするもよからう、目的は一つの匪賊であつてもどうせ軍の指揮を仰ぎ援助をこはればならぬ立場であるからである

◇…だから先づ各地の事情を聽取し且つ意見を集めるため管下警察署長會議を奉天あたりに召集して、近く具體化せんとする新國家と協力して最も順應した適切な治安維持策を練るの必要も現下の關東廳には緊急な事業ではなからうかと思ふ、また治安維持の萬全を期するため關東廳としては本來の使命でもあらうことを信ずるのである、但し警察官の獨立隊組織に當つては軍の意向もあらうし滿鐵としての考へもあらうから、各當事者その間に十分協議して萬全の方法を講ずべき必要は今更いふまでもない（長春支社前田生）

滿洲代表の在京有志招待

上京中の滿洲代表は十四日夜新橋花月に招待し、松岡前滿鐵副總裁、小日山前滿鐵理事等も出席した

吉林省政府長官再び反對軍に歸順を勸告
五項目の條件を提示し

吉林省政府の張作舟軍討伐隊は士氣益々旺盛で**十七日からは積極的に北進を開始しつゝあるが**、一方ハルビンの第二十八旅長丁超も吉林省政府が日一日とその基礎を鞏固にし省内の統一が進捗し且滿蒙新國家の實現が具體化して來たので何時までも反熙洽態度を保持する能はないことを感知しゐるため熙長官は十七日附を以て反熙洽軍の**首魁丁超に對し左の五ケ條よりなる歸順條件を送附、提示する處あつた**

一、濱縣政府を無條件にて解散し管内各縣にその旨通知すること
二、無條件にて解散せば重要人物の生命財産を省政府にて完全に保護す
三、省政府に屬する各縣長は吉林省政府に於て任命す
四、各旅、團、營長は當分更迭せず
五、各旅、團、營長は自發的に代表者其他を吉林省政府に派遣し歸順の誠意を表示すること

之を受理した丁超は張景惠、誠允王修其他と緊急會議を開催、善後策を講じつゝあるが、果して如何なる回答をなすやは頗る注視されてゐる、然し吉林剿匪軍の士氣旺盛なること銃器彈藥の豐富なること、兵數の大なることに對し反**熙洽軍は銃器彈藥の極度に缺乏せること勝算の見込なきところより自己の地位を保全するため寢返るものあること、積極的の戰意なく態度を曖昧にするもの續出する**ことなどから彼等が反熙洽軍と斷つのも唯時間の問題だとされてゐる、然し丁超一派は歸順條件として十六日頃洩らした處に依れば現状の對峙したまゝ、即ち吉林軍の北進した地點までを以て條件とし其の力の及ばなかつた處は從來のまゝ何等手をつけぬといふ虫のいゝ言ひ分でありし爲め之は勿論一蹴されたやうである【長春電話】

對日斷交問題は馮玉祥氏が支持
蔣、汪兩氏入京後決定

【南京十七日發】陳友仁氏の日支國交斷絶論は馮玉祥氏これを支持し居るが何分事重大のため目下杭州に在る蔣介石、汪精衞兩氏の入京後決定される模樣なるが、蔣、汪兩氏は國民政府の勸めにより近く南京に來る模樣である

朝野兩黨豫想の當選議員數
民政二百名以上確信

【東京十八日發】第六十議會は休會明け劈頭、解散必至と目され朝野兩黨は昨今選擧對策に忙殺されてゐるが、政友會では絶對多數獲得間違ひなしとして次の如く算定してゐる、即ち全國府縣會議員總選擧の得票數、加ふるに第十六回第十七回總選擧の結果を參酌し全國を通じ現在より八十六名增加し合計二百五十七名としてゐる、之に對し民政黨は安達一派の脫黨により二百四十六名、民政黨無所屬を加へて二百五十名、結局如何に惡くても二百名を下る事はないとして政友會の絶對多數は不可能としてゐる

駐日米大使更迭
後任は現駐土大使

【ワシントン十七日發】駐日アメリカ大使フォーブス氏が近く辭任し、その後任として駐トルコ大使ジョーゼ・クラーク・グルー氏が任命さるべしとの報について國務省はこれを否定してゐるが、確な筋でフォーブス大使は近く辭職の意向を表明して居り既に數週間前よりグルー氏がその後任として擬せられてゐることであるから右は確なものと信じて居り既にグルー氏任命に關し東京政府に通達、意向聽取中であるとさへいはれてゐる

人事

▲山西恒郎氏（滿鐵理事）十八日朝奉天へ
▲佐藤應次郎氏（滿鐵々道部次長）十七日夜奉天より歸連

◇ 御歌會初めの御製、畏れ多いが大御心と國運發展の曙光とが織込まれたりと拜察す。
◇ 議會解散見込濃厚、朝夜兩黨共に、絶對多數獲得の成算。
◇ 對日斷交論に議論湧く、支那では成程大問題だからな、日本から見てはどちらでもよいが。
◇ 孫陳の對日斷交論、根據は人氣取りと輕米他力主義、これが拔けない間は支那は駄目。
◇ 蔣介石汪精衞攜手說、南京を離れた蔣は木から落ちた猿、學良と結んでみても頼り少い、古巣は矢張り戀しい。
◇ 新興力士の髷、國粹會も持て餘して返還、力士髷全滅の期も近い今日、一二個保存も妙だらうに。
◇ 西鄕隆盛の髷、伊藤博文公の髷など、博物館に陳列されてゐたら興味があらう。

山岡長官赴任
約三千名見送る

【東京特電十八日發】山岡新關東長官は藥師秘書官外三名を同伴、昨夜十時十五分東京驛發赴任の途についたが流石に人氣者の長官のこととて千數百名の日本大學生、神州學生協會員、秦裕相、內田滿鐵總裁、貴族院藤村男その他約三千名の見送りあり山岡長官は「かくまで熱誠なる見送りを受けまして衷心感謝に堪へず、赴任の上は全力を盡し君國の爲め最善を盡します」と簡單な挨拶を爲した

大廟各山陵參拜

【宇治山田十八日發】山岡長官は藥師秘書官帶同午前九時十二分宇治山田市着服裝を整へて九時三十分伊勢大廟に參拜新任の奉告をなしたる後畝傍に向つた

東亞の謎 (178)
國枝史郎　挿畫 伊藤順三

大連の冒險 (三)

隣の卓で五人の男が——それはいづれも日本人であつたが、さうしてビールを飲んでゐたが、そのビール瓶とコップとで、變なことをしてゐるのであつた。

小供が冗談でもするやうな工合に右の頰に痣のある一人の男が、それでゐて四邊の人々に、氣づかれないやうに注意しいしい、こんなやうにコップと瓶とを並べた。

（一人は犧牲とならざる可らず……あれはかういふ意味の符だ）

その形はかうであつた。

（五人の新入會員ありといふ意味だ）

見てゐた伯は直ぐ思つた。

と、一番年長らしい、四十五、六の肥えた男が、右の端のコップを取り上げて、唇へあて、飲む眞似をした。

コップと瓶とは片づけられた。が、痣のある男によつて、又こんなやうに並べられた。

すると額に傷のある男が、有るか無しかに微笑しながら、三個ならんでゐるコップの一つを——それは中央の一つであつたが、それを取り上げて飲む眞似をした。

（あれは黃幇の茶碗陣だ。今やつたのはその一つの「巨魁來」といふ奴だ）

伯は心の中でさう思つた。

と、右の頰に痣のある男が、何氣ない樣子に一つ一つ、コップと瓶とを片付けたが、又それをこんなやうにこつそりと並べた。

（こいつは入會式ありといふ意味だ）

伯は直に知ることが出來た。

と、前齒の缺けてゐる男が、單獨に立つてゐるコップを取ると唇へ持つて行つて飲む眞似をした。痣のある男は微笑したが、素早くコップと瓶とを片付け、それから又も並べ出した。

（一人は犧牲を行はざる可らず……あれはかういふ意味の符だ）

コップと瓶とが、かう並べられた。

松下伯はさう解した。

と、鬚髯とした、タキシードを着た、二十八、九の色の白い男が、單獨に置いてあるコップを取ると唇へ持つて行つて飲む眞似をした（解つたといふ意味なのだ）

伯は頷いて然う思つた。

コップと瓶とは片づけられた。が、またそろそろと並べ出された。

この間にもホールでは、ジャズが奏されダンスが踊られ、茶碗陣をやつてゐる卓の前を、無數の男女が渦卷き通つた。

しかし誰もがこの黃幇の、不思議で微妙な茶碗陣の、行はれてゐることは知らなかつた。

伯は飽も隣りの卓を見た。

昭和第七春を壽ぎ奉る 歌御會始の御儀

けふ宮中鳳凰間にて行はせらる

ゆかしき宮中御慣例の歌御會始

【東京十八日發】昭和第七春を言めの儀は雪もよひの十八日午前十時より宮中鳳凰間にて 天皇、皇后兩陛下出御の下勅題「曉鷄聲」を披講嚴かに行はせられた、この日早朝御儀の間に舗設終るや九時半には讀者點者たる入江御歌所々長を始め講師徳川達孝伯以下諸役荒木學習院長、東大講師ドイツ人クルト・ジンゲル氏等陪聽者十二名參入定めの席に着き終れば十時天皇、皇后兩陛下出御あらせられ詠進四萬餘首から選ばれた選歌に續き各皇族殿下詠進歌の披講あつて皇后、皇太后御歌の披講後御製の御披講あり十一時三十分式を終へさせられた

御製

ゆめさめて
わかよをおもふあかつきに
長なきさりの
こゑそきこゆる

皇后宮御歌

有明のつきなほのこる空までも
のさかにひひく
にはさりのこゑ

皇太后宮御歌

くらききよにまよふ心を
さまさむと
曉はやく鷄のなくらむ

大勲位雍仁親王妃勳一等 勢津子

まつはらのおくよりひひく
さりかれに
やしほち遠く
しらみそめたる

海軍大尉大勳位 宣仁親王

天日のかゝやきいてむ
うれしさを
まつほからかに鳥うたふなり

大勳位宣仁親王妃勳一等 喜久子

なかき夜もあけかたなりさ
ひさひさを
ゆめよりさます庭鳥のこゑ

選歌

東京府陸軍中將大島健一女 靜子
しらしらと湯川のけふり
みえそめて
鷄かれすなり伊豆のやまささ

京都府 小室昌信
しらみゆくやふれのまさに
きこゆなり
みなさのまちの
にはさりのこゑ

京都府 村田ちか子
大川のかはなみしろく
あけそめて
つゝみのいえに
さりかれそする

京都府 小石八千代
ものゝふのかさてないはふ
はたみえて
あけゆくささに
にはさりのこゑ

愛知縣 坂井田順一
くみあけし筒井のみつに
あかつきの
ひかりうこきて
さりのこゑする

兵匪團鐵嶺を包圍

關東廳に警官增員請願

城内襲撃事件以來武器少きを知る兵匪團は三度當地襲撃を企圖しつゝあるもの如く徐々と縣城に接近し中間驛を脅かし十七日の如きも平頂堡東方一里興永寺の山中に百五十騎の兵匪潜入し同夜平頂堡を襲撃すべく戒備中を探知せる警察署では午後十時貨車にて加治部長以下十餘名を急派したが折から近來稀なる大雪に阻まれて襲撃を中止したるものの如く十八日朝にいたるも移動の氣配なく引續き警戒中

更に一方新臺子にも十七日夜老來好の一團襲來說あり荒木部長以下十餘名が急援徹宵警戒したかくの如く今や鐵嶺を中心に四方は兵匪に圍まれ縣下八區のうち賊影をみざる區域なきまでに侵入蹂躙せられ北は施家堡子、廖雲堡等に金山好の精鋭二千餘があり西は八區から五區新臺子西方二里の地點に迫り南東は大甸子より四區二區一區までも侵略せられ東北は金家寨馬家寨一帶に千餘の集團あり

これに對する守備隊は勿論警察官の如き文字通り連日連夜不眠不休の警備で八日目毎に僅かな休養が與へられるのみで既に病に臥す人もあり憂慮すべき狀態にあるをもつて鐵嶺時局後援會では遂に當地各機關を代表し關東廳に對し警察官增員請願の電報を發した【鐵嶺電話】

前小煙臺附近で兵匪を剿滅

遼陽を狙った天下好

獨立守備第〇大隊の討伐隊は遼陽を西北方より挾みうちせんとせる匪賊團老北風の部下天下好の率ゆる五百の兵匪と十七日午前七時煙臺西方約四里の地點王家溝、前小煙臺の間に於て大激戰を演じ賊を全滅せしむるに至り威風堂々赫々たる武勳をたて、出動地遼陽に引揚げた

この大部隊の匪賊討伐はわが〇〇隊の包圍攻撃によれるものにて大石橋第〇大隊長岩田中佐の率ゆる第〇中隊長東海林(熊岳城)部下は王家溝より第〇中隊長森重部下は小新庄屯第〇中隊長葛沼部下は夏字窩棚より天下好匪賊團の根據地前小煙臺に向ひ包圍攻撃をなすべく十七日朝午前一時遼陽を出發煙臺に同二時着それぞれ部署につき準備終了したのは午前六時半、岩田大隊長の指揮により午前七時攻撃を開始し賊は西方に向ひ退却し始めたので我勇士は獅子奮迅の大接戰を演じ見事掃蕩したもので第〇中隊の正面に遺棄せる敵の死體百餘十、鹵獲品は馬五十、長機彈藥多數で我れに何等の損害も無かつた【熊岳城電話】

松尾輜重隊死體發見

傳騎と共に

十六日湯成〇〇旅團の捜索の結果松尾少尉指揮の輸送官兵並に傳騎合計三十名の死體が錦西の西方で發見された【奉天電話】

滿鐵の貧困學兒救護卅七名

滿鐵經營の各地小學校の貧困學童救護數は昭和六年十二月末現在で總計三十七名(十八世帶)でその內譯は安東十三、奉天七、瓦房店、公主嶺、鞍山、四平街、長春、撫順各二、ハルビン一で前年度に比し三名を減じてゐる、性別は男子二十五名、女子十二名で保護者の收入は無收入六、十圓以下四、三十圓以下六、六十圓以下四を示し貧困の原因は世帶主の死亡四、不具二、疾病一、係累過多三、失業四、不景氣五となつてゐる

監部通强盜狂言か

申立が疑しい

十七日午後五時五十分ごろ市內監部通百廿番地藤原カツ(四三)方へ二人組の支那人强盜押入り主人の不在を幸ひ女を脅迫し現金一圓九十錢を强奪逃走した事件の屆出で あり大連署刑事隊は直に現場に急行し檢證したところ妻女の言葉に不審な點多くどうやら虛僞の申立らしいので直に非常警戒を解き引續き藤原カツにつき取調べてゐる

中等學校の入學考査日決る

女子商業校が皮切り

昭和七年度の大連市內男、女各中等學校新入學生選拔考査日は左の通りである

▲大連一、二中學 三月二、三の兩日
▲大連商業 二月廿二、三の兩日
▲神明、彌生兩高女 二月廿六、七の兩日
▲大連女子商業 二月十九、廿の兩日

なほ右各校の募集人員は神明、彌生兩高女が各百九十名、大連女子商業が八十名、大連一、二中、大連商業等は何れも未定で二三日中に決定の筈

入江たか子東坊城監督遂ひに日活を脱退

池永所長の交渉不調

【東京十八日發】昨年十二月獨立プロダクション設立を標榜して日活を去つた東坊城恭長、入江たか子兄弟は後援者細川氏と今後の方針につき協議の結果一應池永日活社長とも種々意見を交換したが池永社長は東坊城の要求は容れず入江のみの復活を要求したので十七日夜細川氏より脱退の聲明書を池永社長に手交した、斯くて東坊城兄弟の日活脱退は實現した

入江たか子本名東坊城英子即ち東坊城子爵の第三女で明治四十四年生れだから本年とつて二十二歲、昭和二年三月東京文化學院中等部卒業、在學中から演藝に趣味深く、卒業後は京都のエランヴエタル小劇場の主要メンバーとして活躍してゐたが認められて同四年一月日活へ入社した、今日の大をなす緒口は村田實監督の「生ける人形」以來現代劇部では夏川靜江と並んで堂々たるスター振りを見せてゐたが、最近片岡千惠藏の「元祿十三年に」共演し、時代劇にも亦充分の腕を有することを示し日活の至寶とまで云はれる程となつた、脱退の直接原因は昨秋の日活社剩員整理の際兄東坊城恭長監督の進退が問題となり、結局たか子の脱退を恐れて東坊城監督の犧牲となつて阿部豐監督が馘首された事に關し、たか子が兄恭長監督に同情してのことと云はれてゐる、たか子の日活に於ける最終の作品はサトウ・ハチロウ氏原作、東坊城恭長監督、たか子主演の「淺草悲歌」であるが、從つて同映畫は恭長監督の最終の作品でもある(寫眞は東坊城監督と淺草悲歌でつくばれおけいに扮した入江たか子)

暴力團襲撃說に力士團警戒

天龍以下何れも避難

【東京十八日發】十七日午後突然國粹會から返却された髷の處置につき同日夜協議を進めやうとしてゐた矢先駒込の新興力士團本部に午後六時二十分「佃政一派百餘名が今夜襲撃すべく準備中」との情報が駒込署より入り同時に危險を慮つて一時避難の勸告があつた折柄夕食中の居合せた天龍以下の力士團は早速それぞれ立退き階上に病臥中の山錦も遲れて避難したが一方同署では時を移さず鶴島警務課長に報告すると共に同署の警官本富士、富坂、大塚、上野各署の應援の下に約百名で力士團本部の內外附近の警戒に當つた日中外出した力士がそれと知らず歸宅し警官に占領された本部附近の物々しい警戒に驚いて呼びいづれかに立去るなど一沫の不安が漂つたが十一時過ぎになつて漸く警戒線が解かれた

トランク一杯に詰め込んで逃亡

消費組合本部に怪盜

贓品から足がつき逮捕

十四日午後十時ごろ市內西公園町滿鐵消費組合本部の硝子窓を破壞して侵入し、懷中時計三十一個價格約八百圓、オーバ、洋服、女コート、反物約五十點價格約四百圓の物品を大型トランク一杯詰め込んでゆうゆう逃走した怪盜事件あり大連署司法係では遠藤、河野、佐々木、舟曳各刑事が必死の捜査を續けた結果市內躉軒の質屋から多數の贓品を發見、犯人は元遞信局工務課第一修繕部員だつた熊本縣生れ住所不定上野義行(二三)と判明、同人の立廻先

朝鮮銀行の平壤支店で七十八萬圓消える

けさ金庫を開け發見

【平壤特電十八日發】十八日午前九時頃平壤府里門里朝鮮銀行支店江口支配人代理が出勤して大金庫を開けると各貨幣取り混ぜて七十八萬圓が盜難にかかつて居るので大に驚き直に平壤署に屆出でた、同支店では十六日から毎夜三名交替で夜勤して居たが何時の間に盜られたか不明である、警察では大金庫非常口から侵入したと認めて居るが一說には外部から侵入の形跡はないものともいはれ近頃の怪事件である

街頭で十一名が落命

大連署管內の交通事故

昨年になり始めて數字が減る

都市生活者の前に常に大きな脅威を與へてゐる交通事故はスピード時代が生んだ當然の結果として毎年增加し、街頭の血腥い慘事も平均二百件に近い戰慄すべき統計を現はしつゝあるが一九三一年における大連署管內の狀況は同署保安係が事故防止を計畫し街角の擴張、標燈標識の新設、交通訓練デーの實施等によつて移動年來の事故統計に比べ初めて減少の數字を現はしてゐる

卽ち昨年中の交通事故總數は二百二十六件で、昨年に比し百八十七件の減少、內譯は依然自動車事故が多く百八十三件を占め自轉車六十二件、電車三十六件、馬車人力車その他十八件で、これ等事故の犧牲者となつて街頭に血を流した重輕傷者は百八十九名、死亡者十一名で自動車の犧牲者は依然九十名といふ多數を占めてゐる

次に之等交通事故による損害は總計六百五十九圓二十錢で、自動車の損害が二千三百五十二圓と斷然多く汽車の二千圓、電車の五百七十九圓、自轉車の三百三圓、人力車の六百八十二圓、オートバイの二百六十五圓の順である、事故發生の場所は繁華な十字路は互ひに注意をするので比較的尠く浪速町九件、伊勢町五件、大山通三件といふ數字であるに反し松林町、初音町、桃源臺方面三十四件、春日町十六件、常盤橋十件、西廣場十三件、大廣場十一件が主なるものである

江口副總裁がけふ寫眞展へ

江口滿鐵副總裁は靑賀後の小閑を利用して十八日午後零時二十分八木秘書役、山崎總務部次長を帶同し本社の時局展覽會に赴き佐賀支配人の案內で會場の隅から隅まで觀覽、目の當り第一線にある將士の戰鬪や陣中生活の狀況を見て「貴重なものばかりだ、僕も一部頒けて貰つて保存しやう」など感心してゐた、それから印刷所の作業狀況を見學し新聞工場では高速度輪轉機其他を見て「こんなに詳しく新聞社の內部を見たのは始めてだ、有難う」と述べ五十分歸社した【展覽會場の副總裁(右端一行)】

靑森縣鰺ケ澤今曉大火

二百六十戶燒く

【靑森十八日發】靑森縣西津輕郡鰺ケ澤町柳町日傭業酒井金作方より十七日午後十時二十分發火折柄の十五米の强風に忽ち燃え擴がり附近町村から馳附けた消防隊の努力も空しく遂に新地町五十一、漁師町六十七、新町五十二、釣町三十二、濱町九計二百六十三戶を舐め盡し十八日朝三時二十分漸く鎭火した

同所は水利の便惡く海水を利用せんとしたが意の如くならず斯く大事に至つたもので詳細なほ不明である

聖德公園に辻强盜

通行人が逮捕

十七日午後五時半ごろ市內櫻町五十番地桑原嘉惣次方長野かずえ(二三)が聖德街一丁目停留所より公園內を通行中突然暗闇より支那人現はれ「奥さん一寸」と呼び止め驚いて逃げんとしたかずえを押し倒し所持せる風呂敷包みを强奪し逃走せんとしたので同女は泥棒々々と連呼せるため附近通行中であつた市內聖德街二丁目中川榮太郎、同木村勝也の兩氏が引捕へ聖德街派出所に突き出した

取調べの結果犯人は河北省生れ當時住所不定の岳篤山(二〇)と判明、引續き餘罪取調中

窃盜露人引致

水上署では天津日本總領事館警察より手配により十八日入港天潮丸にて密かに來連せる舊ロシア人スレビッチ(二七)を窃盜容疑者として引致目下天津に照會の上取調中因に同人は時計窃盜を犯したものであるが餘罪ある見込だと

大連醫院の溫浴室に隱れてゐたところを難なく逮捕した

同人は昨年十月頃馬事の友社に勤務中百餘圓の業務橫領を行ひ大連檢察局で起訴猶豫となつたもので餘罪多數の見込みである

刀靈祭執行

十七日第十四回刀劍硏究會は初春に當り刀靈祭を執行し多數の參會者あり盛會裡に午後五時散會した、出品刀の主なる中今回の事變撮影のため亞東印畫協會左內繁雄氏奥地出張中馬賊頭目が所持してゐた一部支那術へにした石州綱義刀二尺二寸が異彩を放つた

▲奥州仙臺住國包刀第一中學校▲長曾禰興里刀五泉宣三▲飛驒守氏房刀森泉倫和▲豐州高田住行光刀鈴岡久安▲備前家守刀山良龜太郎▲越前國康繼刀黑木美雄▲宇田國宗刀細野長松▲川合久幸脇差同人▲越前國源宗弘脇差長島玄吾▲無銘脇差仙福岩二郎▲大長造▲長州顯國脇差吉川村光世短刀津上善七▲了戒摺上ゲ刀內藤四朗

妻女庖丁自殺

市內白金町九〇滿鐵社員山田榮太郎妻セキ(四)は十八日午前一時五十分ごろ家人の就寢中炊事場にあつた野菜庖丁で咽喉を搔き斬り紅に染まつて苦悶中を夫榮太郎が發見最寄の醫師を招いて應急手當を施したが頸動脈切斷で午前二時三十分遂に絕命した

原因は最近精神に異狀を來たしてゐるため發作的に行つたものらしい

金州丸に無電

海務局では州內航路標識確立について努力を續け本年度中にその完成を見るが同時に海難救助或は航路標識修理等に今後屢々同局所有船の出張を見る筈なので今回檢疫船金州丸に新に眞空管式無電設備を施す事となり既に滿洲ドックにおいて起工中二月一杯にて完成の見込である

カザン鐵慘事

卽死六十八名

【モスクワ十七日發】去る二日モスクワ郊外カシノ驛附近で列車が顚覆し卽死者六十八名重輕傷者百三十名を出すの大椿事が起つたが、右事件は公表を禁止されてゐたが、椿事の責任者として起訴された鐵道の役人十一名の第一回裁判が本日行はれたので初めてその詳細が公表されたのである

獻金募集成績

大連教化團體聯盟では十七日の日曜日を期し年末年始の箏節による時局獻金を募集したが市內十三ケ所の獻金箱で合計百三十一圓七十七錢の獻金があつた

酒母麴品評會

關東州酒造組合では來る二十三日午前九時より大連民政署に於て酒母麴品評會を催し同時に新酒持寄會をも倂せ催すと

時局講演會

沙河口青年聯盟支部、在鄕軍人その他同地修養團體合同主催にて十八日午後七時より沙河口小學校講堂にて關東軍附臼田少佐の時局講演會を催すと

寒稽古納會

沙河口署では十九日午前十一時より同署演武場にて署員の寒稽古武道納會を行ふと

うらる丸船客

【門司特電十八日發】二十日入港うらる丸の主なる船客諸氏左の通り

帝大教授平林武、同橋本傳右衛門、同那須幸、車輛會社員田中太助、貿易商小澤太兵衛、副島四郎、三神吾朗、大同海運社員辻針吉、國吉喜一、杉野耕三郎新興キネマ一行

天氣豫報

十九日

北西の風晴

各地溫度

	十八日午前十一時	十七日最低
大連	零下二、四	零下九、〇
旅順	同〇、八	同七、八
營口	零下四、七	同一五、一
奉天	同八、五	同一八、五
長春	同一三、〇	同二三、四

けふの小洋相場(十時)

金百圓は一八〇圓八〇錢

武門血笑記 (27)

下村悅夫作
布施長春挿書

愛憎の盾(三)

久し振りに吸ふ外氣! しつとりとした月の光! 源之丞の心は、おのづから明るく躍つた。自分では意識してゐないけれど、城下へ向いた彼の足も、自然と小急ぎになつてゐた。

思はぬ出來事のために、久し振りで見る親や兄の顔、友達や師匠の温顔! それにも増して、彼の心を時めかしたのは、夢現の間にさへ忘れることの出來なかつた戀人お梨花の美しい顔であつた。彼の女の事を思ふと、源之丞の胸は風に吹かれる若芦のやうに遽かに搖れ渡る――。

か、彼の行く手に、奈何な事が待つてゐるか? 何ンにも知らない彼は、明るい事ばかりを考へながら、歩一歩城下へ近づいて行くのであつた。

「おう、こゝだつた!」

源之丞は、いつか、黑兵衛の獄……

節に窮しに來た晩、福馬や作樂と集つた茶屋の前まで來ると、思はず、足を止めて、かう呟いた。

「陣野や白井はどうしてゐるだらう……?」

すると、懸轄、戀する者の敏感な心は、次ぎのやうな事を思つた

(俺の不在の間に、お梨花どのは二人のうちの何れかにッ……)

源之丞は、我と我思ひにぎよッとして、不図段の眉をぐいッとしかめた。が、直ぐ、

(馬鹿なッ、そんな事があるものか!)

自分で自分を云ひくるめるやうに、心の中でかう云ふと、已の邸のある方角へ、スタ〳〵と大股に足を早めた――。

また、夜更けと云ふ程でもないが、人通りの稀な屋敷街には、森と月の光が照り渡つて、源之丞の跫の音が寂しく響く……。

と、彼の邸の近くの、見ある曲り角まで來た時であつた。向ふから來る男女の姿が、月の光に、描き出されたやうに美しく現れた。

戀人同士か、睦じく肩を寄せて靜かに歩い來るらしいその姿! 源之丞の眼は、吸ひ寄せられたやうに、その姿をぢつと眺めた。途端の口から、

「むゝッ」

と、逆つたのは、押し殺されたやうな沈鬱な叫び聲! 彼はヒラリと、物陰へ身をかくして、二人の姿をぢつと見入る。

しめやかに語らひながら、次第に源之丞のかくれてゐる前にさしかゝた男女――。おゝその二人! それは源之丞が、驚いたのも無理がなかつた。陣野福馬とお梨花とであつた。二人が歩いて來た方角から察しると、どうやら、お梨花が陣野の邸を訪れた歸り途を、福馬が送つて行くものらしい。

今は、天下晴ての許婚の間柄、二人は餘で鴛鴦のやうに、睦じい。福馬が低い聲で、何事か囁くと、お梨花は甘えたやうに、ホホと笑ふ。そして、こゝに源之丞が、物陰に身をひそめて、自分達の樣子を見て居やうなどゝは露知らず間もなく、彼方の通りへ曲つてしまつた。

源之丞は、彼として、見るべからざるものを、見たのであつた。知るべからざる事を知つたのであつた。すッくと、物陰から立ち上つて、二人の姿を見送つた彼の眼からは、煮湯のやうな涙が溢れ落ちた。

「知らなかつた! 知らなかつた! こんな事があらうとは、露ほども知らなかつた……」

源之丞は、がつくりと膝を落す。石のやうに、かく呟いて、ギリ〳〵と齒を噛み鳴らし、夢遊病者のやうにふら〳〵と歩き出した。

一行中の花形華丘洋子は帝劇舞踊部第三期生で、赤坂に華丘舞踊研究所を開き先年歐米を巡遊後、加入しダンスと唄を得意とし、橘美智子は藤間流の舞踊名手でマキノ、日活を經てレヴユウ團を組織した事あり舞踊を得意とし「唐人お吉」を呼び物にしてゐる、高砂峰子は大阪松竹樂劇部出身でスズラン座のスターとして活躍した事あり、ダンスと三枚目役を得意としてゐると【寫眞はジャズダンス】

談を呼び物に各地で好評を博してゐる

オリエンタル歌劇團來演
廿一日常盤座

オリエンタル少女歌劇舞踊團が來る二十一日から常盤座に來演することに確定した、一行は女優軍を中心に二十六名の新進歌劇團で構成、ジャズバンドと共に春を唄ひ流行を踊り、歌唱舞踊解説の喋舌漫……

新興キネマ發聲準備
今春は本腰に

松竹蒲田の城戸所長は今回年四十二本のトーキー製作を發表して蒲田に於けるトーキー萬能時代來るを思はせてゐるが、日活に次いで新興キネマでも帝キネ時代「赤城颪」「子守唄」等のトーキーを發表後鳴りをひそめてゐたが、昨秋秘密裡に木村莊十二監督でサトウハチロウ原作の「昨日の唄」を杉狂兒、鈴木歌子主演でトーキーとしての製作を行ひ、研究をつゞけ新興側としても慎重な態度でかゝつて居り着々トーキー製作に對する準備を進め今春には本腰で愈よ乘り出すものと觀測される同社の幹部は「トーキー製作準備は進めて居り當方としてもいざとなればどしどしやります」と語つてゐる

トーキーに降伏した
チヤツプリン

「街の灯」を製作後歐洲巡遊に出發したチヤールス・チヤツプリンは英國、佛國、獨逸等を歴訪して近く日本にも來朝するとの噂があるが、氏はトーキーに反旗をひるがへして製作した「街の灯」がロンドン、ベルリン其他の國においても思ふやうな成績をあげ得ず同作品の配給權を獲得した人々が、その料金の餘りにも高額なるに反し成績が思はしくなく不評判であると言ふ事實に、大いに心痛し、一時は撮影所の全員を解散して映畫製作を斷念するかの如き態度を示してゐたが、最近に至り「街の灯」がトーキーであればより以上の成績をあげ得たと言ふ確信を得たもの、如く從來反對の態度を示してゐたトーキーの製作を決意してこの第一回作品としてストーリーた物色中のところブロードウエイの盛り狂詩「ザグッド・コンバ……

噂話

オンス」(好い仲間)に白羽の矢を立てその權利を獲得したから或は東洋行も中止して同映畫の製作に專念する事になるやも知れぬと言はれてゐる

各館とも一寸一服といつた中だるみのところへ寶館は依然好調をつゞけ▲日曜日に「緋鹿子草紙」再上映とマキノ、右太プロの三本立で俄然ヒットし午後六時五十分に木戸止めをしたといふ凄い景氣であるが▲けふから大日活が東活で二十錢興行をするので、どんな風に寶館に響くか▲この對戰こそ注目されるが、もし大日活に對抗して好調だつたら祝杯をあげると力み返つてゐる▲映樂館のメトロ發聲映畫「肉體の呼ぶ聲」は發聲效果が百パーセントだと果然ウエスタンが凱歌を奏し好評を博してゐる▲それに外人客が開館以來益々殖えて來たこともいよ〳〵目立つて來た、このチャンスに一つクリーンヒットを飛ばす必要があらう

本社特選 新棋戰 (其一)

角落　八段▲土居市太郎
四段△鈴木禎一

【圖は四四歩迄の局面】

▲鈴木氏「持駒」ナシ

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
香	桂	銀	金	王	金		桂	香	一
	飛					銀			二
歩	歩	歩	歩			角	歩	歩	三
				歩	歩	歩			四
							歩		五
				歩	歩				六
歩	歩	歩	歩			歩		歩	七
					銀		飛		八
香	桂	銀	金	玉	金		桂	香	九

△土居氏「持駒」ナシ

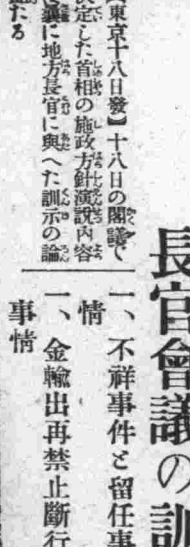
△二六歩　▲三四歩
△二五歩　▲三三角
△四八銀　▲三二銀
△五六歩　▲五四歩
△四六歩　▲四四歩
△五七銀　▲五二金右
△六六歩　▲六四歩
△三八金　▲四三金

【土居八段講評】△上手直に二五歩と突出した目的は敵若し機圍の際は三三角と上らせ次に四二角と引かす方が手順の損益に關係するので斯く指したので、大駒落の如き上手絶對見込みない局面には斯樣な僅少な作戰にも注意をして置かなくてはならない。續て六六歩と指したのは敵に六四歩と受けさせ角の働きを薄くしやうとの意味であつて、勿論敵六四歩と受けなければ機會を圖り六五歩と突き出す心算である。

【萩原六段解説】上手(土居先生)の二五歩は後に二五桂跳の構崩しの手は出來なくなるのであるがこの二五桂跳の順は上手攻め過ぎの嫌ひがあるので二五歩と突き、そして敵に三三角と上らして後に四二角と引かし、その間下手の構圍ひに一手の差を生じるそれは上手が二五歩と此處で突かないと下手は次に三三銀と上り次に四三金の構へにして三二玉と移し三一角の順になつて飛車先の六歩を切り同歩、同角、八七歩の時手順に四二角の形に出來るので一手の差を生じる。又下手が早く上手六六歩に對し六四歩と突き三一角の進出が一時消えても、それは三一角の形で陣形を整へ、後に七五歩、同歩、六五歩、同歩、七五角の進出となつて一旦四二角と引くのとはそこに一手の差があるので、上手は前述の如く二五桂の手は消えても早く二五歩と突いて三三角と上からするのである。以下の手順は角落に於ける下手構圍ひの陣組。

滿洲日報
(明治卅八年十二月十五日第三種郵便物認可)

休會明を眼前に 議會の雲行激化

議會解散の時機 犬養首相に一任する

反對黨の態度如何に應じ

【東京十八日發】政府の議會對策については十八日の閣議で協議されたが、要するに解散必至は免れぬ處なるも斷行の時期を三大臣の演說直後とするか、或は兌換停止緊急勅令事後承認案、滿洲事件費の協贊を求めたる後これを行ふかは**反對黨の議場における情況に應ずべきものであるが**反對黨が殊更に政府の立場を暴露せんとする如き情勢においては**三相の演說直後、解散斷行も亦已むを得ざるべく**不祥事件が論題となりたる場合においても犬養首相より進んで說明を行ひたる後にても可なるべきを以て何れにするも機宜の處置は議場の情況に應じ**犬養首相に一任すべきであるとの意見に一致**したが、反對黨の出やうに應ずべき必要あるため明十九日の閣議においても協議し絕對秘密を守る事となつた

絕對多數の獲得に

政府與黨對策を練る

【東京十七日發】政友會では休會明けの議會劈頭解散あるものと觀て御膳立すべては久原幹事長を中心に岡田植原津雲三總務を補佐とし對策を進めてゐるが、飽く迄候補亂立を避け言論戰に重きを置き犬養首相を始め各閣僚總動員で全國重要都市に出馬言論の陣頭に立ち候補者の應援をなし關東十名、東北七名、北信五名、近畿七名、東海八名、中國四名、四國五名、九州八名、結局五十四名の議員を增し總計二百五十五名を得、絕對多數となし來る選擧後の特別議會には重要政策を提出し政友會が多年主張して來た政策を實行するに決定してゐる

閣議で議會策協議

【東京十八日發】十八日の定例閣議は午前十時より開會、犬養首相病氣の爲め缺席、先づ對議會策につき種々協議した結果、解散は必至と見て準備する事に意見の一致を見、次いで來る二十一日休會明け劈頭犬養首相が爲す施政方針演說の大綱を決定、藏相、外相の施政演說は更に十九日午前十時より臨時閣議を開き決定する事とし零時二十分散會した

……を決定することゝなつたが、高橋藏相は十八日の閣議においても井上前藏相の處置につき甚だしき不滿を漏らしてゐるため相當突つ込んだ意見を述べたいといつて居り財政演說は長文詳細を極めるものと見られてゐる

首相施政演說骨子

長官會議の訓示を基礎

【東京十八日發】十八日の閣議で決定した首相の施政方針演說內容は曩に地方長官に與へた訓示の論點たる

一、不祥事件と留任事情

一、金輸出再禁止斷行事情

一、現內閣の政策遂行と七年度豫算との關係

一、政策遂行の順序

一、滿蒙對策

一、思想善導問題

谷本上等兵の告別式

將士の爲に曼陀羅に合掌

吹雪の一昨夜軍司令官が

關東軍に賜はつた……屯軍が寒風吹き……る狀況を親く視……戰線を思ひ起し……める錦州地方駐……共に吹き荒れる……けられた曼陀羅……佛を念じてゐる

貴院で前藏相が代表的質問

民政黨側の對議會策

【東京十八日發】民政黨は休會明け議會劈頭の解散を覺悟し對議會策を練つてゐるが、若し政府が衆議院に質問の機を與へず、拔打的解散をなす場合は貴族院における質問のみに依つて野黨の態度を明かにし得るのみなので、是非井上前藏相を立て財政問題特に金再禁問題につき代表的質問を行はしむべく苦心し貴院の質問順は抽籤に依り決定するため民政系議員は順位を井上氏に讓るべく諒解が出來てゐる、一方衆議院においても質問が許さるゝ場合は、鈴木富士彌氏を第一陣に齋藤隆夫、小川鄕太郞氏を第二陣に立て、內閣留任問題につき臣節如何と財政問題とを質問する方針を立てゝゐるが、同黨首腦部は政府は到底野黨に質問を許さず施政方針演說直後解散を斷行すべしと見てゐる、只野黨側は病氣中の高橋藏相が十八日閣議に强て出席したとはいへ議會に出席し財政演說を行ひ質問應答に耐ふるや否やを頗る重大視しその如何に依つては質問對策にも重大な影響を及ぼすものとしてこゝ一兩日の成行を注視してゐる

和戰兩樣の作戰で野黨臨む

解散斷行の見極めがつけば臣節問題で問責せん

【東京十七日發】休會明け議會を目睫に控へ民政黨は十八、九兩日中に若槻總裁を中心に最高幹部會を開き對議會策を練るが政友側でも二十一日休會明け劈頭の解散については異論ありて躊躇の色あり未だ決定するに至らぬと言ふので稍氣迷ひ狀態然し今の處民政黨の對議會策の根本は

一、政府が解散しなければ不祥事件金再禁止問題等をひつさげ質問戰に主力を注ぎ決議案等はその結果如何を待つて採否をきめる

二、若し解散斷行の見極めつかば先手を打つて臣節問題に關する總括的問責案を提出國務大臣の演說前に緊急上程す卽ち政府の出やうにより和戰兩樣の作戰を考慮して居る第二作戰については異論あるも清浦內閣のとき列車顚覆事件の緊急質問ありし前……

與黨會合日取

【東京十七日發】政友會は左の諸會合を開き對議會策を練ることゝなつた

十八日午後二時幹部會役員詮衡 十九日院外團大會、二十日午前十時幹部會、午後一時議員會 午後二時黨大會、犬養首相より對議會策を指示、午後五時芝三緣亭で懇親會を開催

斯くて第六十議會に臨む筈である

……きまつて居ない、若しこれを置くとせば江木翼氏がこれに當る事とならう、斯くて選擧に臨んでは急速に公認候補を決定し二百三十餘名を目標に進む筈なるが、これがために前閣僚は勿論若槻總裁も第一線に立ち全國各地に轉戰する決心である

黨略的人事行政

貴院各派で注視

【東京十七日發】貴院各派は田中內閣當時の失政に鑑み現內閣の人事行政に深甚の注意を拂つてゐたが最近植民地首腦部、文部、鐵道、司法等の事務次官を行政部の更迭に露骨な更迭、政務官事務官の意義を無視し且又地方長官はもとより地方警……行はれんとし居るを頗る痛憤なる反政府的意見……てゐる、卽ち現內閣は……

事變恤兵其他委曲奏上

【東京十八日發】荒木陸相は十八日午後二時參內、天皇陛下に拜謁仰付けられ、滿洲事變勃發以來今日まで恤兵其他國民の熱誠なる後援同情の經過を委曲奏上、種々御下問に奉答御前を退下した

無產政黨の戰線統一疑はる

社民、大衆の合同危し

【東京十七日發】社會……回年次大會は來る十九日芝協調會館で開かれ……が、この大會に上議さ……議題は運動方針書發表……政黨の戰線統一に關す……統制案、滿蒙問題對策……り、無產政黨戰線の統……は大會の決議を經て……

事變費追加豫算

きのふ閣議にて決定

天津佛租界擴大

市政府から嚴重抗議

選擧方針

二百卅名目標

解散準備に

英、佛、伊三國首相

賠償會議に何れも出席

【ローマ十七日發】……

南京政府の危機（上）

財政難は必然的に

中央集權を決定的に破壞

韓軍河北省に移動

對日國交斷絕には開戰の決心を要す

南京政府獨人顧問談

【上海十八日發】……國交斷絕は國際法上……可能なりとするも……

賠償金不拂問題

國際政局に投ぜられたドイツの爆彈的聲明

フランス大憤慨

政府の聲明

出席を拒むか

イギリス

アメリカは樂觀

駐日米大使

アグレマン快諾

グルー氏は滿洲問題を理解

社説

吉會終端港論
雄基、清津、羅津三港の得失

時局の進展につれて各般の建設問題が論議されて居るが、既存の權益中最も重要なものの一に吉會線の全通がある。更に之に伴ふ終端港の選定も喧しくなりさうだ。後者は決して今日に始まつた問題でなく、過去十餘年來の懸案で、鐵道敷設と不可離の相關的研究事だが、その候補地として數へられるのは、雄基、羅津及び清津の三港灣である。この中雄基は港灣そのものが狹小なために、專門家の間には餘り重要視されて居らぬ。しかし唯さへ海岸線の單調な日本海側において、元山、清津、城津に次ぐ良港であり、既に一萬餘の人口を包擁して居る。この點から南方數里を距る羅津に比し、自然の形勝が劣るにも拘はらず、人文的に、産業的に之を閑却する譯に行かぬ。現に年額五百萬圓内外の貿易額を有する半島北邊の要津だ。

◇

清津は雄基よりも總てにおいて立ち優つた商港である。人口貿易額共に殆んど後者に三倍し殊に會寧との間に九十四粁の幹線鐵道を有し、輸城平野の産米地を繞らし、羅南、鏡城等の新舊諸都市と相近接して居る、處が羅津に至つては、僅かに落々たる農村が海岸に點在するのみで、商港としての記錄も内容もないのだが、事の國際交通に關する課題を考慮すべき時に當りて、何等新たに商港設備を要しない、朝鮮統治の内政上から見て、雄基は愚か、清津とその形勝を爭ふやうになつた。直言すれば吉會終端の候補地は清津と羅津との二者だといつて差支ない、該地は該地だけの繁榮基礎があると現に雄基在住の有力者は、該地の自信を有し、必ずしも終端港の選に洩れんことを憂へて居らぬ。

◇

最も切實な利害は清津人の痛感する所だ。日露戰役當時、一漁村に過ぎなかつた清津が、今日の輪奐を具ふるに至つたその事が、會寧までの鐵道を生命視せねばならぬ證左である。されば若し國際新鐵道にして他に終端を求めんか、その依つて及ぼす影響の至大なこと言ふまでもない。それだけ終端港の御蔭を引き當てた後の發達振りが思ひ遣られる譯だ。しかし問題は港灣の自然的價値である。專門的に解剖すれば、清津と羅津とは互に優劣の考覈すべきものが少なくない。陸上設備も兩者の長短は相半ばして居る。しかし港灣そのもの、自然的形勝に至つては、朝鮮全半島は勿論、東洋全局に亘つて羅津に優るものは稀であらう。半島東側千餘哩の單調な海岸線中、かくの如く卓越した港灣が、何が故に久しく顧みられなかつたかを怪しむほどだ。

◇

吉會終端港の考案は愼重に策定されればならぬが、その中最も必要な事項は現有の利害である。しかし朝鮮北邊の開發、並びに大陸無限の物資を搬出せんとする國際交通の系統からいへば現在のみに拘泥し難い多くの研究點がある。殊に咸鏡北道は軍事的にも、産業的にも、成るべく國境近く人衆を集結し、文化の普及、民族の融和、並びに繁榮基礎の鞏固が圖られればならぬ。この意味において羅津は自然的に國際港の面目を具備し如何なる大船巨舶をも繫留するに適して居る。縱し吉會問題がなかつたとしても、竟に着目されればならぬ無比の形勝であつて、清津が既有の利害のみを以て羅津を排除し得ない理由なのだ。換言すれば清津港の運命が行政的に考慮されればならぬやうに、羅津の處女灣は大陸發展策上放置さることは出來ない。これ蓋し最も深く檢討を要する現實問題だと稱すべきだ。

◇

本紙京城特電大村朝鮮鐵道局長の談話を見るに、取り敢へず既設港灣たる清津を先づ終端港として利用し、不足を感ずれば雄基を併用する。羅津の建設は其次にする方針だといふ事である。これは經濟問題から割り出して、必要に應じて漸次充實して行くといふ漸進主義に據るものであらう。

在日支那領事館は四ヶ所閉鎖に決定
南京政府の政費半減

【南京十八日發】國民政府は財政難切拔のため政費月額四百萬元を今月から二百萬元に半減し向ふ半年間實施することゝなつた、このため月給百元以上の官吏は均一的に百元となり各機關人員も今月内に三分の一の淘汰を行ひ外交部では十數ケ所の領事館を閉鎖するに決定した、日本では長崎、元山、仁川、清津の各領事館を閉鎖するはずである

公債元利支拂ひ停止は遂に斷念
孫科氏、聲明を發す

【上海十八日發】孫科氏は各方面一の反對に遭ひ公債の元利支拂停止實行を斷念しこれを行はざる旨の聲明を發し同時に胡漢民氏の出廬を求めた

北支支那官吏第二次減俸

【天津十八日發】張學良は各市省政府及び平津衞戍司令其他各機關吏員に對し一月より第二次減俸を命令斷行せしめることゝしたが、理由は財政困難の故で俸給百元以下のものを例外とし一律に十分の六を支給すると、即ち第一次減俸率に合すれば約六割强の減俸といふわけで而もその減額俸給さへも完全には支拂はれぬらしい

アインシュタイン博士夫妻米國訪問

【ブラッセル發】相對性原理といふとてつもなく難解な原理を發表してから忽ち今世紀最大の科學者として又我々が想像する事も出來ない西歐における猶太禍より起る猶太人壓迫に對する勇敢な鬪士としてあの童顏と共に有名なドイツのアインシュタイン博士は夫人同伴アメリカ訪問旅行の途に着いた【寫眞はポートランド號甲板における博士夫妻】

天津通關業者取締來月實施

【天津十八日發】天津海關は國民政府の命に依つて二月一日から内外通關業者に對する取締規則を實施することゝなり之を布告するさ

歐洲經濟聯盟總委員會

【ジュネーヴ十七日發】明十八日開會の豫定であつた第五回歐洲經濟聯盟總委員會は一時延期された が多分二月中に開かれる事となるであらう

寒行に就て
旅順一市民

◇私は旅順市在住の者です、昨今寒行と稱するものに甚だしく迷惑を感じてゐるので、紙面を借りて同行の人達に一考を求める次第です。

◇寒行といふそうですが、曰く觀音講曰く日蓮宗曰く何曰く何と數組の男女が如何にも非音樂的な鐘を敲いて毎夜小生の家の門に立つのです、そして丁寧なことに數十分間も迷惑な讀經と敲鐘を續けて下さるのです。

◇最初に來た頃家の長女が床についてゐまして隣家の前で敲く音に非常に神經を尖らせて困りましたので、自家の前に來た折りは早速金十錢を提供して急いで去つて貰ふ積りでした、處がそれが惡かつたのださうです、その後は毎夜來るのに多少でも金を出さぬうちは歸らぬのです。

◇今では子供より自分の方が神經を疲らせて終つて一夜中讀書も出來ず、數組が時を置いて訪れるために前半夜はこの鐘で蹂躙されて終ふのです、時に安眠もされぬ夜すらあります、これは私だけの不平でせうか。

◇日本人はこの寒行に多少の理解はあるにせよ、支那人はこれを「要飯的」と申してゐます、支那人中の智識階級に屬する人達でさへ「要飯一樣」と言つてゐます。

◇一行の中には十歳前後の小兒數名を見受けますが、こんな小兒に宗教的自覺があらうとも思はれませんし、面白半分と喜捨を喜ぶ風の見えるのは教育上の見地よりしても感心出來ぬことゝ存じます。

◇で私のお願は寒行は同宗の間に限ること、出來るなら鐘を打つことは廢して讀經のみに止めること、小兒は連行せざることの三點を即時實行して頂きたいと思ふのであります、私のこの拙文が若し諸氏の反感を買つたら御容赦願ひます。

舊政權に對する邦人の債權問題
奉天商議解決に努力

舊奉天省政府に對する邦人三百萬圓債權問題は奉天商議より關東軍司令部を通じ數次に亘り急速解決方を交涉中であつたが臧主席の責任者を見るも右問題は依然として放置されて居るに對し邦人債權者は甚だ以て奇怪なりとして邦人債權者一同は商議を通じて嚴重なる抗議を爲す處あり奉天商議は之れに對し奉天省主席臧式毅氏に對し右問題に對し急速なる解決方を取計る樣公文を發したが此の公文に對し臧氏が如何なる回答を與ふるか問題が問題だけに一般から重視されて居る【奉天電話】

委員を增員して積極的運動
製鋼所問題大會の準備會議

昭和製鋼所の滿洲設置を高唱すべく來る二十日大連で全滿大會を開催する事になつた事は既報の通りであるがその準備會議は州内設置期成同盟會實行委員および市内各種團體代表、旅順、金州、普蘭店、貔子窩各地代表者參集、十八日午後二時三十分より市役所市會議場において開かれた、劈頭小川新期成同盟會長は

昭和製鋼所は州内設置に内定してゐた矢先、山本元滿鐵總裁案たる新義州設置說が再燃、擡頭して來た事はわれ等大連市民として誠に遺憾な事である、新義州設置說は當時の特惠關稅問題政府獎勵金の問題、使用水の問題等に絡まり起つた案で現在においては滿蒙問題も進展し著しく事情も變化してゐるから國策として滿洲に設置すべきが當然で、また大連においても或意味の死活問題であるから聲を大にして滿洲設置を高唱せねばならぬ

と挨拶、早速協議に入つたが出席者にして現在同盟會員に非ざる者は全部會員に加入する事、および現在十名の委員以外に會長指名により更に適當の委員を推薦し增員を圖る事、山岡關東長官來任と共に二十日の大會の宣言決議を提出し滿洲設置を陳情する事とし同四時閉會した

山岡長官旅程

【奈良十八日發】山岡長官は午後二時十五分畝傍驛着直に畝傍山陵に參拜の後京都に入り伏見桃山々陵に參拜の上正午京都驛發大阪に一泊し翌二十日大阪發二十一日下關發香港丸で出發二十三日大連着の豫定である

天津日本租界の支那要人が半減
他の租界に移轉して

【天津十八日發】滿洲事變前における支那各地の日本租界は支那の失脚政客、軍人連の安樂境であつた、つまり支那年中行事の

兵變動亂

が起り、それに敗れた文官武官連は必ず外國官憲の管理下にある租界に亡命した、中でも最も利用されたのがわが天津租界だつた、といふのがわが租界は總く泣國際慣例に從つて亡命者の生命財産を保護し、生活の安全を計り、決して支那側時の政府の壓迫諒解による引渡し要請に屈した事が無かつたからだ、これが他の國だと時々亡命者の引渡しをやる、從つて流石に八方美人の支那大官連にも租界に關する限りにおいては「正義の國日本」の言葉が深く刻まれ、亡命するなら日本租界となつてゐたのだ、ところが今回の事變突發以來

日支間の

風雲惡化し、遂に天津の日本租界の如き砲火の洗禮をうけるに至り、日本租界に住居してノウ〳〵と暮してゐた支那要人連中は足下から鳥が立つた以上に驚きあわてた、そしてわが租界から他租界へ、所謂「不安なる安樂境」を求めて續々移轉を始めたのである、曾ては支那要人の亡命者が最も多く入込んでゐたわが租界も今は寥々たるものだ、今天津日本租界だけについて之を見ると、事變前には先づ前の國務總理段祺瑞氏以下元日本公使陸宗輿氏、元歩軍統領王懷慶氏、元警察總監楊以德氏、前交通總長高凌蔚氏等を始め在住してゐた要人は實に

百十數軒

に及んだものであつたが、それが現在では段祺瑞氏が英租界に遷つたのを手始めに各要人各々英、佛、伊各國の租界へ轉居して、目下は元の陸軍總長陸錦氏等五十餘軒が殘つてゐるのみである、これに反し外國租界を見ると、佛租界には事變前元山東督軍田中玉、同鄭士琦、浙江督軍盧永祥、福建省軍長周蔭人氏等僅かに十三軒であつたのが、事變後三十數軒に增加、英租界も前の大總統徐世昌、甘肅督軍陳樹藩氏等三十五軒から現在では七十一軒に增加し、伊租界は熱河省主席湯玉麟、東北軍顧問何豐林、前陸軍總長鮑貴卿氏等僅か十九軒から現在

三十數軒

になつてゐる、尙舊獨租界の特別一區、露租界の特別二區居住要人連は移動がない

滿鐵三氏挨拶

新任の石本滿鐵奉天事務所次長、土肥滿鐵人事課長、太田滿鐵チチハル公所長は新任挨拶のため十八日市中を歷訪した

凡て懸案は好都合
宇垣總督語る

【下關十七日發】歸任の途にある宇垣總督は十七日午前十時關釜連絡船で朝鮮に向つたが總督は元氣で左の如く語る

陸軍關係その他の懸案は萬事好都合に運んだ、滿蒙問題に就いては自分の意見を充分述べて置いた、師團移駐にきまつたら何處に置くかつて？何處でもよいぢやないか、今井田總監の問題は僕がゐる中は指一本だつてさゝせはしないよ

人事

▲兒島卯吉氏（大連製氷重役）十七日入港はるびん丸にて歸連
▲室田寅雄氏（前關東軍囑託）同上
▲石田茂氏（關東廳秘書官）同上
▲岩田愛之助氏（愛國社々長）同上來連
▲原清氏（海軍大佐）同上
▲福井又助氏（海軍大尉）同上
▲甚目雅治氏（海軍技師）同上
▲鈴木謹二氏（海軍技師）同上
▲相浦次郎氏（海軍主計少佐）同
▲津川唯次郎中佐他二名同日入港奉天丸にて來連

大觀

日本の對米回答アメリカでは「最も拔け目ない外交文書」といふ評判▲一たい、拔け目ないとは狡猾な意味するか、それとも文書に卒がなく逆捻の餘地なしとの意味か▲前者ならば日本はその柄にあらず、後者ならばそれは當然といふべし▲何故ならアノ回答は日本の行動をありのまゝにさらけ出したまでだ▲隨つて文書に拔目なきに非ず、日本の行動そのものに一點非難の餘地なきを立證せるに過ぎず▲それにしても今更「滿蒙の門戸開放政策維持」に滿足、とは一たい何んのことやら▲支那の條約無視、滿蒙門戶閉鎖政策の打破」が日本の傳統的政策であり▲今回の事變も全くそれが爲めに起つたことを今まで知らなかつたと見える▲列國の認識不足、罹れこの類▲やうやく乍ら滿蒙の實情が判つて來た以上、列國も日本の態度を早く氷解すべし▲「南面の小滿の石や薄氷」▲例年になき溫暖の冬、却つて流感を誘ふ、市民各位御用心▲「すれ違ふ人も咳入る舗道かな」

本社從軍記者座談會（二）
得意と無念の數々
氣味惡い敵地への突入

佐藤　事變最初の時の感じといつたものを誰か

山口　これ程大きい事變にならうとは思はなかつた、一寸した事ぐらゐにしか考へてゐなかつた

中村　夜中に電話が社からかゝり五百旗頭君から「奉天で戰爭が始まつた」といはれた時にはピンとは來なかつた、一寸した喧嘩だと思つた

加藤　僕の下宿の爺は「やつたナ」といつた

山口　戰爭に行くといつても僕は生れて初めての事だから何とも思はなかつたが、大石橋で在鄉軍人がホームに出迎へ萬歲を叫んだ時に、自然と目頭が熱くなつて初めて戰爭に行く氣持になり心が急に引緊つた、そして鞍山驛では在住民總出で軍用列車を見送り婦人連はキャラメル等を兵隊に配つてゐた

中村　現在は兎も角事變最初は斷然滿日が他のすべての新聞をリードしたといふ確信を持つてゐる

山口　然し奉天に行つた時は寫眞の種に困つた、その事を考へると一時行方不明になつて本社の人に心配をかけたが昌圖の紅頂山の寫眞を撮つたことは大成功だつた、あの時の戰爭の寫眞はあれだけだからな

中村　行方不明といへば神藏君が盤山、營口間で行方不明が傳はつた時はほんとうに心配した

西村　奉天から從軍した記者仲間では滿日以外に滿日の森か神藏だといふ評判だつた

中村　山口君昂々溪の戰ひで一番苦かつた話を一つ

山口　あの時は寒さも餓も忘れてしまつてゐたれ

中村　實際防寒具なしによく通したれ

山口　動き續けだつたからだれ、十七日の午後三時から歩き出して十九日の朝龍江に着くまで殆ど歩き續け、食事も麵パンだけさ、人間の氣持は妙なもので龍江の灯が見える樣になつてヤレ〳〵と思つてからが一番苦かつた、灯が見えだしてから七時間で漸く到着したが初て廣漠たる平原といふ感を深くした、その時れむいので始終空を見るやうにして歩いてゐたが、流星が非常に多かつた事を今でもハッキリと覺えてゐる

中村　新聞記者は軍人のやうに强いリュックサックを擔いで軍に從ふことは實際苦勞だと思ふれ

神藏　ほんとうに寒かつたのは昂々溪の戰ひだらう、風が非常に强かつたといふから

中村　この邊で一つ失敗談でも白狀しやうぢやないか

神藏　盤山の戰ひが了り、山口君藤井君と三人で相談の結果、山口君の最後までの寫眞を僕が持つて營口に引返すことゝなり山口君と停車場に行きついたが何とかして營口に早く歸る方法をと考へ裝甲列車にゐた將校に頼んださころ滿日ならその人の自由になるモーターカーを出して貰へることになつたが、結局營口から來る列車があつて目的を果せなかつた、あれに乘つてたれば餘程早く通信が出來てゐたのだ

中村　西村君の天津での出來事は大ニュースだつたんだがな

西村　あまり自己宣傳になると思つて書かなかつたんだ、然し天津の新聞は二日に亘つて大々的に報道した、それは十一月十八日の事だが支那兵撤退の跡を見るため日本記者團が出かけた時交涉の行違ひからか「見ることはよいが寫眞は絕對駄目だ」と支那側が文句をいひ出し記者團とゴタ〳〵やつてゐる時それを僕が撮つたところ支那警察署長が矢庭に寫眞機を奪ひ取らうとした、そこで日本側の言ひ分を聞かない支那側の態度に憤慨した日本將校が突如「戰鬪配備に就け」と部下に命令した、その時僕等は日支兩軍の間にゐたのだから雙方から彈丸を打ち出しては大變だと日本軍配備線まで二、三百米の間を死物狂で逃げて歸つた

加藤　僕は天津の出來ごとで殘念な思ひ出がある、丁度君さ北平を引揚げて天津に歸る列車の中で偶然王樹常と乘り合はせた、僕等は何とかして寫眞と談話をとらうとしたが、王の室の前は着け劍の衞兵で護られ一歩も外に出ず、天津の一つ手前の驛で下りたからそれッとばかりに山口君と追つかけ寫眞を撮らうとすると急に三十人許りで王を取卷き結局駄目だつた

神藏　どうだれ氣味の惡かつた話は……

山口　氣味の惡いつていへば僕も天津や北平に行つた位氣味の惡かつた事はない、何しろ支那兵ばかりで固めてる中だかられ

中村　五百旗頭君、灤海線はどうだれ

五百旗頭　あの線は兵隊は勿論日本人の姿は全然見えないんだが然しその前に洮昂、東支兩線を一人旅してゐたし滿鐵の池原氏から大丈夫だと太鼓判を捺されてゐたのでそれ程でもなかつた

【挿畫は山口特派員の活躍】

市況（十八日）

株式
内地株强保合
當市も小旋り

内地主力株の後場强保合を入れて當市の五品錢鈔新豆共三四十錢高に引けた

◇後場

銘柄	當限	先限
新豆	引寄 [illegible]	[illegible]
錢鈔	引寄 [illegible]	二一八
五品	引寄 [illegible]	[illegible]

◇延取引（單位十錢）

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錢鈔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

特産
一服的に各品軟調

後場の定期は暴騰の後を受けて各品共一服的に軟調を辿つた

◇定期後場（銀建）

▲大豆（軟調）單位厘／▲豆粕（軟調）單位厘／▲豆油（軟調）單位錢／▲高粱（低落）單位厘

[illegible]

◇現物後場（銀建）

▲包米（出來不申）／混保（袋込）大豆（裸物）出來高七十車／普通大豆 出來不申／豆粕 出來高一萬一千枚／豆油 出來高一千箱／高粱 出來不申／包米 出來不申

錢鈔
米日爲替安で鈔票反撥

米日爲替安を入れて前場に比し一圓五六十錢方反撥した

◇定期後場（單位錢）

期近　出來高 四百八十三萬圓

◇現物後場（單位錢）

一時半／二時半／三時半　出來高（銀對金）廿六萬六千圓（銀對洋）一萬三千圓

商品
麻袋弱保合
綿糸保合

●綿糸　大阪三品大引は前場に比し氣配變らず當市は氣迷ひ閑散

●麻袋（延取引）

出來高 三十梱／出來高 四萬枚

奥地市況
▲泰大洋

[illegible]

市場電報

神戸特産
大阪株式
東京株式（長期）
東京株式（短期）
大阪綿糸
横濱生糸
東京期米

[illegible]

1932年の春を迎へて（9）

傷いた兵士たちの生活を保證してやりたい

大連醫院 八千代會代表　小串久

▼▽…改年に當つて何か申せさの御意、すべてに素養のない私何を申してよいやら思案にあまつて居ります。國家の危急、婦人聯合會の事業等に就いては既に各幹事の方が立派な御意見をお述べになりましたから別に申上げるこさもございません、たゞ看護の任にある私さして、職務の立場から特に感じました事を少し申さして頂きます。

▼▽…それは此度の事變にいたましくも傷ついて今後健康體さして人並に活動出來ない兵士方の生涯の生活の保護についてであります、無論國家さしても相當考慮されるこさでせうがそれではなかなか一家をなし子女を教育するに充分ではありますまいたさひ國家が充分これを保證するさしても、人間さして外部の支給のみで生活するさいふ事は如何かさ存ぜられます、むしろ體の許す人には國家から何か適當な仕事を與へるやうに致したらどうでせうか。

▼▽…先日この事に就て聯合會の幹事に御話しいたしましたら佛國ではかういふ氣の毒な人に對して煙草を賣らせるさかいひましたが、日本でも煙草さか葉書、切手等の販賣權を先づこんな氣の毒な方々に許して營業させるさいふ方法は當を得た策ではないでせうか、良い事なら他國を眞似たさて別に國の恥にもなりますまい。時局柄現在では名譽の負傷者さしてもて囃されますから本人もさまで不幸も感じませんでせうが、これが平定して一年二年さ立つ内には今の感激が忘れられるこさがないさ誰がいへませう、ここに目下の樣な思想の亂れ勝な折、この犧牲者たちから生れる良き思想、惡き思想はいづれにしろ深刻な力づよいものさして社會に反映するこさだらうさ思ひます

▼▽…小さい私の考へかも知れませんが過去の戰ひに傷ついた癈兵の方々に就いての感じさ、これから同じ道を進まれる兵士方の將來を思ふ時、私はどうしても當局の方々にもう一歩考へて頂き度く存じます【寫眞は小串久さん】

自分の姓名位は讀み書きする樣

學齡兒童を持つ保護者へ希望　倉井松林校長のお話

各小學校では新入學兒童入學受付で多忙を極めてゐるのですが倉井松林小學校長は次の樣に保護者に希望してゐます

入學前 に何も兒童に教へぬこさを誇りにして學校へ兒童を連行した際に私の宅では何にも教へてゐませんさ得意になつて語られる父兄もありますがこれは最早や過去の教育で現在では五歳にも達しますさ色々の質問を發しうつかりしてゐては答に困る樣な相當複雜な質問が出るものです然し保護者がおつしやられる樣に何も教へない主義であつたら折角の熱心な研究態度もぶち壞され教育の芽生へもつみ切られてしまふのです兒童教育のスタートは兒童の要求によつて初めて始められるものであつて、彼等の要求（質問）がなかつたら

教育は 出來るものではないのです、特に今日の學齡に達してゐる兒童は家庭で特別組織立て、教へ込まぬでも現代の社會狀態或は環境により一から百まで數へ上げたり、或は自分の姓名の讀み書き位はでき本も讀める程度にあるのが現在兒童の狀態なのです、研究的態度にある幼い時代がそれらを知つてゐる事は當然ださ思ひます、自分の家庭で教へぬ事にしてゐましても他の家庭で教へ込んであればその子は學校で初めの

出發點 に於て最早や遲れて居る事になりますから入學前に自己の姓名を讀み書き出來る樣にしておく事は兒童教育の上にも大い便利ださ存じます

一寸變つたお料理

蕪とマカロニ

◢材料＝蕪中位のもの一個、かしわ挽肉百匁、鷄卵一個、片栗粉中匙一杯、鹽小匙一杯、胡椒小匙半杯、醬油大匙一杯、味の素少々（以上五人前）

◢準備＝削節で煮出汁をさつておきます、蕪は皮を剝き縱に四つに割り一分位の厚さに賽切りにし、ざつさ茹で笊にあげておきます。マカロニは茹て七八分の長さに切つておきます

◢調理＝丼に挽肉百匁を入れ鷄卵一個を割りこんで片栗粉を加へ鹽胡椒で味をつけてよく混ぜ合せ一口で頂けるほどの適宜の大きさに分けて丸めておきます、鍋に煮出汁蕪を煮、軟かになつたらマカロニを入れますさ汁がひたひたになりますからその上に鷄肉の團子を行儀よく並べ蕪が充分軟かになるまで弱火でトツプリさ煮込みます、大がい煮えた所で鹽さ味の素で味を加減し下し際に醬油を入れて風味をつけます、これは鹽味で頂くのですから醬油を入れすぎるさ不味くなります、蕪の最もおいしいこの頃、季節向のあたゝかい營養豐富なこの料理を皆樣の食膳におすゝめいたします

ご存じですか

◢御飯が煮えてシンが出來た時手早く蓋を取つた御飯の上にバラバラさ打かけすぐ蓋をして火にかけ弱い火でしばらく蒸すさフックラさやはらかい御飯になるこさ妙です、但し炊いてすぐでないさ効果がありません

◢果物を御客樣におすゝめになる時梨や林檎は剝いてお出しになるさやがて果物のあくが出て赤くなつてしまひます、お剝きになつたら一度鹽水をくぐらせてごらんなさい、決して色の變るやうなこさはありませんから

◢青菜を湯る時に火箸や庖丁など金氣のものを鍋に入れて置きますさ何時までも青々さ綺麗な色を保ちます

◢小魚を丸のまゝ煮る時、大豆三十粒ばかりを一緒に入れて煮ますさ骨が非常に軟かくなつて骨ごさ美味しく頂けます

◢卵の半熟はなかなかその頃合がむづかしいのですが、はじめ鍋に卵のかぶる位の湯をクラクラに煮立て火から下してすぐに卵を入れキッチリ蓋をして十分間そのまゝ置きますさよい加減の半熟卵が出來ます

自分の飲む牛乳に關心を……

外人は牧場で下檢分　空き瓶は洗つて置く

處構はず吐き散らす非衞生な支那人の癖には誰もが參つてゐるのですが、これさ形は變つて日本人も未だ公衆衞生に充分目覺めてゐるさは思へない點が種々あります、大連警察署の木幡氏から牛乳につき次の樣な家庭の主婦にさり大いに參考になるお話を伺ひました

西洋 では早くから牛乳も生で呑んでゐるのですが日本では未だだその域に達してゐません、あちらでは生牛乳もA、B、Cさ三級に分けられ、A級は菌が一萬以內、Bは二十萬以內、Cはそれ以上さなつてゐるのです、日本では生乳ですさ極寒い時で三、四萬、暑くなりますさ三、四十萬、百萬さ繁殖し營養攝取の目的で牛乳を呑む病人や小兒には却て不良さなり日本では生乳を呑む事は未だ許されてゐないのですが

加熱 してない營養に富んだ生乳が使用される樣にならなければ折角の生乳の營養も駄目なのです、それには牛乳供給者さ需要者さが相俟つて公衆衞生に目覺めて欲しいのです、こちらでは度々臨檢をやつてゐますから不正な牛乳を販賣するなどの事は出來ないし五、六年前の牛乳から比しますさうんさ質もよくなつてゐますが一般需要家はもつさ自分の飲むお乳に關心をもつて欲しいのです、西洋では自分が呑まうさ定めるさ先づ初めに牧場に行き乳牛の健康狀態及び搾乳者の牛乳に對する態度（衞生的）などを充分檢べた上でないさ呑まぬさ云ふ良い

習慣 を持つて居ます、大連居住の歐洲人もやはり同じで自分が飲用する前にちやんさ牧場を檢べに行つて居ります、又牛乳瓶が空ますさ決して日本人の樣にそのまゝ放つておくさ云ふ事がなくすぐその手で綺麗に洗ひ上げておくさ云ふ良い習慣があります、これは馬鹿に丁寧すぎる樣に思ひますが彼等の公衆衞生思想が日本よりも遙かに發達してゐる事を示してゐるのです、牛乳は配達する前に三十分間八十度の加熱消毒を行ひ九十%の菌は殺されて了ふのですが後の高熱に耐える十%の菌は瓶に殘つて居るわけで

夏季 などは僅かの時間で非常に大きな力でこの菌は繁殖いたします、ですから瓶が空ましたら早速水で灌ぎその水は補木（殊に八ツ手）にかけてやつたり或は婦人方の洗顏用に利用いたしますさ顏の生地も細かになり然も瓶は衞生的です、需要家から集めた空瓶を販賣店で消毒するさ申しましても較多い牛乳瓶ですから一つ一つが綺麗に消毒される事は疑はしいので、折角牧場の方では充分な加熱消毒が行はれてゐても瓶の方に菌が殘つてゐたために牛乳の中に多くの菌が繁殖する事になり人體にも害を及ぼしますからこの點を充分考へてお互の衞生のために洗瓶しておきたいのです、又一般飲用家に

注意 して貰ひたいのは牛乳は朝早く五時頃には配達されるのを晝頃迄もそのまゝ放つておかれる向も中にはありますが、牛乳は時間が經てば經つほど變化し營養價値も薄くなるので、長く放つておいて飲むさ云ふ事は故意に惡くして飲むさいふ樣なわけになるのですから配達されたらすぐ飲むさ云ふ習慣をつけたいのです、又最近賣出されてゐるサニタリ牛乳、小兒牛乳さかキング果汁牛乳或はコーヒー牛乳さ云ふ樣なものが賣出されてゐますがこれらは營業者が自由に名付けたものでこれら

加工 した牛乳は價値上からは却つて普通の牛乳に劣つてゐるのでたゞ嗜好飲料さして選ぶのでしたらどれでも良いわけなのです、牛乳の善惡を素人で見分けるには試驗管にアルコールさ牛乳を同量入れてよくふり、横にして見て小さな粒狀のものが出來試驗管につけばこれは古いものです、新しいのでは決して粒狀は出來ずたゞ白い滲だけです、もし配達された牛乳の色が變つてゐたり、ゴミが入つてゐたり或は

不審 の點があれば警察まで持參されゝばこちらではいつでも檢査してあげる事にしてゐます

テツピンの湯垢

不潔どころか大切な役目を

綺麗好きの人の中には鐵瓶の湯垢を氣にしてこれを剝落すのに苦勞してゐる人もありますが鐵瓶の湯垢は不潔などころか大事な役目をもつてゐるのです、湯垢さいふのは水中の炭酸カルシウムや硅酸カルシウム等の礦物質が鐵の表面さ化合して鐵瓶の內面に附着して一種の膜を生じたもので、この膜のために鐵の金氣の水中に溶け出るのが防がれますから從つて美味しいお茶が呑めるわけです

㈠タイチヤン ハ コレハ イケナイ ト タマ ヲ ナデナガラ アベコベ ニ ヘイタイ ヲ アナ ニ イレロ
㈡パツト オト ガ シタカ ト オモフ ト イツノマニヤラ タイチヤンタチ ガ オモテ ニ デテ タツテキルシ
㈢ヘイタイ ガ ミンナ イワヤ ノ ナカ ニ ギチギチ ニ ツメコマレテ キル メツタ ニ デラレナイ ヤーイ
㈣オマヘタチ ハ ワルイコト ヲ スル カラ ユツクリ ソノナカ ニ キナサイ ト イヒナガラ ニゲダシタ

滿日各地版

職業と敎育を授け 同胞に積極的救濟

日毎に增加する避難同胞に 奉天居留民會の情け

【奉天】匪兵の危害を受け住むに家なく食ふに食なく奥地居住の鮮農は追はれ追はれて先づ安全地帶に居を求め鐵道沿線に押かけるもの多數あり目下奉天に避難中のものは奉天居留民會の手により鐵西苦力宿舍、製糖會社、迫擊砲廠等に

收容 されその數一千四百十六名に達してゐるが尚毎日のやうに二十數名の避難民が民會に押しかけて救濟を求めてゐるので係員も大多忙である、これ等避難民の中男子は叺繩等の製造によつて幾分でも收入の道を得せしめるため民會で斡旋をなし叺製造のおさ二百個を朝鮮より購入し北市場の元普通學校跡に於て製造に從事せしめることになつた、又女子は十六日より各方面から寄贈されたぼろを民會樓上で整理せしめ毎日六十名の母子を集めて

雜巾 その他のものを作りこれを賣つて收入に充てゝゐるそして之が指導に鐵島夫人、加茂校の大村敎員、赤松夫人等が盡力してゐる又是等避難民中には病人が續出するので收容所に病室を設け之が診療に當つてゐる、避難民の子弟敎育に關しては鐵西方面に收容してゐる子弟で敎育を受くべき二百名に對し去る九日より奉天普通學校に入學せしめ敎育を授けてゐる迫擊砲廠收容の

學齡 兒童百名に對しては同所に敎室を設け十九日より授業を開始することになつてゐるなど鮮人に對する諸救濟方法は漸次徹底されつゝある

便衣隊かキ印か 男裝の支那美人

馬占山援助に赴く途 旅費盡き力盡きて捕はる

【奉天】死を誓つて東三省を回收す」と外套の襟裏に墨で縫ひ込み「東三省を失ふ人々皆悲し、當局の偉人之が回收に力を致さずして馬占山のみは孤軍奮鬪國のため最善を盡してゐる自分も死を誓つて馬占山の部下に入らんとするものなり」と標榜した二十歲過ぎの支那男裝美人が奉天を通過し北行の際文官屯で取押へられ十七日奉天署に連行嚴重取調べの結果右は大連に男裝して現はれ水上署の手によつて取押へられた支那美人であることが判明した彼女の語るところによれば

山東省濟南府生れ宋美奇(二三)と稱し十歲の時家庭敎師につき五年間敎育を受け孤軍奮鬪の馬占山を紙上で見てその部下に加はらんことを希望してゐた偶々去月廿九日附の支那紙で女子援馬團を組織し黑龍江省に派遣されることを聞き一月一日父母には無斷で七十元を拐帶し北平に走つたが女子援馬團は既に出發の後であつたそれでも彼女は初心をまげず北平の西河沿で陳記成衣局より「誓死收回東三省」と縫ひ込んだ外套を廿元で買ひ求め單獨二日北平を出發したのであつた天津まで汽車で來る途中劉桂貞(二〇)と稱する女學生と知り合ひになり宋美奇が黑龍江省に行く目的につき一切を打明けると劉も大いに贊成共鳴し途中下車して劉の宅に二、三日滯在し一月八日天津に着いたのであつた、それから汽船で十四日大連に渡り徘徊中水上署員に發見され散々油をしぼられた上キ印と斷定されたが十五日夜大石橋までの切符を求め同地を出發したのであつた、しかし彼女は大石橋を乘り越して蘇家屯に於て車掌に發見されやむなく下車した、彼女は同地より徒步で線路をテクり奉天を通り越して老命廟驛まで行つたがか弱い彼女は疲れ果てゝ一歩も運ばれず同驛で開原行第三百卅五號輕油動車に無切符のまゝ飛び乘つたもの、忽ち車掌に發見され文官屯でつき下され十七日奉天署に連行されたもので目下保護中である

尚彼女は今後の目的については何等話さないがその他については今より二年前共同丸に乘船し靑島を出帆大連に赴く途中船員に暴行を加へられたため同船が大連港外に差掛つた際投身自殺を企てたが海關員に救助されたことなども他愛なくしやべくつてゐた、彼女は果して便衣隊かあらず、キ印かあらず、全く謎の謎とされてゐるが結局係官に對し旅費がなくて北行することも出來ず又奉天に賴るべき身寄の處もなく就職口を願ひ出てゐたとは又以て不可解な支那婦人ではある

各地の戸外デー

奉天

【奉天】第二回戸外デー並にスケート祭は本十七日午後一時より國際運動場に於いて擧行された、定刻場の正面に各出場者整列し君ケ代を放送しそれより岩田地方課長の開會の辭あり、次いで出場者は大國旗を先頭に小學生、中學生、中學堂、醫大、一般の順序に依り各戸外デーの小旗をかざしスタンドから擴聲器に依つて放送される行進曲に合せて全員滑走あり、次いで自由滑走を終つて左記プログラムに依り順次競技が行はれたが當日は出場者は觀衆無慮數千名に及び午後三時半盛會裡に終了した

プログラム

一、小學校リレー(男女)
一、フリースケーティング
一、高等女學校リレー
一、中學堂リレー
一、醫大對外人ホッケー
一、初心者リレー
一、中學校リレー
一、醫大リレー

長春

【長春】長春地方事務所主催のスケート大會は十七日午前十一時から西公園に於て開催されたが、全滿第二回戸外デーを利用しての擧行であつたため西公園の池畔は非常な人出で餘興タップリの競技種目は頗る歡迎を受け更に會場上空には長春飛行隊の飛行機が手のとゞく位な低空飛行を以て會に興を添へ稀に見る盛況であつた

撫順

【撫順】戸外生活禮讃し撫順スケート祭の名の下に伍堂所長、石橋經理課長を會長として計畫された全撫順スケート大會は十七日午前八時半から永安臺中央リンクに於て盛大に開催された此日恰も零下十八度の寒氣にもめげず會する者老幼男女四百餘人、石橋會長の挨拶に次いで直に競技に入り小學生の二百五十米スピードを皮切りに五

鞍山

【鞍山】鞍山に於ける第二回戸外デースケート祭は既報の如く十七日午後一時より宮城町中央リンクに於て開催された、定刻スケート選手並に一般觀衆一千數百名參集し小野寺會長より一場の挨拶あり戸外デーの行進歌を合唱し直に競技に移つたが競技は興味本位にしてリンゴ拾ひ、パン喰ひ、提灯等を連續し一般觀衆は多大の拍手を送り盛況であつた、戸外デーの意味に於て一般觀衆にも百五十名に對し賞品を授與した競技終了後氷上

に於て、健康第一戸外へ戸外への小旗を飜へし戸外生活獎勵行進歌を歌ひつゝ旗行列を行し萬歲三唱して散會した

大石橋

【大石橋】待ちに待つたオール大石橋スケート大會が十七日午前九時より學校裏スケート場で開催された天候急に革り零下十八度に下降したるにもかゝはらず外へ外への宣傳徹底し定刻前既に黑山の人垣を築いた小學兒童の競技も昨年と比較してその技數倍に熟し漸次回數を重ねるに伴れ各選手その特技を發揮し觀衆手に汗を握らしめた愈々決勝戰リレーとなれば各所應援團に送られ地方側驛側地方事務所小學校職員の混成隊側の三組に分れ各々その獨特の技を競ふ事となつた最初地方側のスター高田君最も有効に驅つたが漸次地學の混成隊優勢となり遂に優勝カップ本社優勝メダルは其手に落ちた斯くて第二回戸外デーの宣傳實行が遺憾なく遂行された

百、千五百、五千、一萬米等の個人選手乃至一般競爭やクレーレースさてはスプーン競爭、列車競爭チエーン競爭、假裝競爭、一般對中學のホッケー戰其他の氷上競技が次ぎ〳〵に行はれ鏡の如く研ぎ澄まされたリンク上には終日これ等の人々が樂の音に合せて滑りに滑つたが午後三時半四百に餘る參加者全部の一大氷上行進を最後に大會の幕を閉ぢた尚當日の主なる入賞者左の如し

△五百米一着出原五十秒六(新)石橋、相澤△千五百米一着出原二分五十秒二△五千米森高十一分十七秒四、石塚、稻田△一萬米一着森高二十分三十三秒七、出原、佐々木△一般對中學ホッケー一般ゴー一中學

瓦房店

【瓦房店】十七日は戸外デーなので午前九時より小學校庭に於てスケート大會を開催等級により各賞品を授與したが午後一時より旭山公園に於て兎狩を催した十四反の兎網を張り全山を包圍して小松の下を勢ひ込んで追ひ廻つたが當日は生憎兎連中他所行きと思ひ影も見せなかつた餘興の福引で元氣を盛返したが一同寒い〳〵と言ひながら網を肩にして家路に歸つた

旅順

【旅順】氣は暖かく空晴れた十七日の日曜日旅順市中は久方振りでホントの旅順らしい情景が織出されたそれは凱旋した旅順重砲兵大隊の兵隊さん初めての公休外出、入港中の二遣艦隊旗艦球磨乘組水兵さんの半舷上陸、富士町スケート場の全旅順スケート大會で男女學生の往來が街頭に點出されたので躍る樣な空氣が町一パイに滿ちてゐた、武器をさつては敢然威武を振ふ陸海軍將士も銀盤上に轉倒する無邪氣さはワンパク兒童を喜ばせ明い女學生を微笑させる小供奉仕の親共も小春の如き戸外へ〳〵で久しく張りつめた空氣が一時に開放され和やかな日曜が現出されてゐた

謹告

從來撫順支局に於て配達爲致來候弊紙は爾今瀨田新聞舖に於て一纏めとして配達致すことに合議の上決定致候に付從前同樣御愛讀賜はり度右謹告仕候

昭和七年一月十四日

滿洲日報社

流感撫順に迫る

永安新屯兩小學校は 缺席兒童平常に倍加

【撫順】沿線各地に蔓延せる流感は追ひ〳〵撫順にも侵入し來り昨今は發熱せぬまでも咽喉を痛め或は輕い頭痛を覺ゆるものが大分多い模樣である、そこで各學校ではマスクやウガヒを勵行せしむるやうにして極力豫防に努めてゐるが十八日撫順署衞生係の調査に依ると左表の通り附屬地內各校では永安小學校及び新屯小學校の兩校の缺席者が最近は平常に倍加し永安校の如きは約一割の缺席兒を見てゐるが其他は平常通りの出席數でまだ異狀ないさ

校別	在籍數	平常	昨今
撫中	三五二	一六	一七
撫女	三六三	一〇	一〇
實習	一五〇	二	二
永安	一四〇一	六五	一二〇
千金	八二九	二三	二三
新屯	二七二	五	一〇

鳳凰城附近匪賊

今なほ盛んに出沒

【安東】安奉線鳳凰城を中心として附近に於ける匪賊の情報左の通り

一、十六日午前零時四十分頃高麗門西方步哨線前に三名の匪賊斥候現はれたるを以て高麗門駐在警察官は直ちにこれを擊退せり

一、通遠堡の西方十二支里于家西溝に十四日夜約八十名の匪賊滯在中との情報を得たる通遠堡駐在警察官は軍部と協議の結果討伐する事に決定し軍警約四十八名出動し該部落に到着するや匪賊は逃走の後であつたので附近を搜査長銃二挺を押收引揚げたり

一、湯山城附近東湯北方八支里の湯伴城に十五日夜徒步の匪賊二百名及乘馬匪賊二百名宿營し乘馬匪賊は十六日朝何れにか移動せるが徒步匪賊は今尚宿營中の模樣である

遼陽附近匪賊

【遼陽】遼陽城西夏施堡村に十四日午後九時頃頭目濫作舟、新愛國自國等の騎馬匪百餘名來襲し同村の婦女を凌辱したる上三名の婦人を馬に乘せ頭目の所在地馬草溝に拉致したさ

◇

頭目王全一は第九區の有志を介して遼陽縣自治執行委員會杜委員長に歸順運動中の處許容されなかつたので村民に對し匪賊の食料として高粱十石、精米一石豚二頭を取あへず大砂嶺に送附せよと命じたので村民も之に應じ十六日輸送したさ

◇

煙臺の東方三十五支里拉子寺、三家子に約二百名の匪賊現はれ同部落で金品馬匹を掠奪した上民家に放火約四十戸を燒却東方に向け移動したさ

匪賊を銃殺

【安東】湯山城沙林子に於て十六日午前二時頃同地公安隊員が匪賊一名を逮捕せるが此奴は先般五龍背を襲擊せる一味にして頭部に彈丸一發を受けたる傷ありたる爲め公安隊に於ては直に銃殺に處した

旅順スケート大會レコード

【旅順】十七日第五回全旅順スケート大會における重なるレコードは左の如くである

▲五千米 一着一一分二九秒六(A組上倉)同(C組記錄なし足羽)同中學校(一三分一五秒笹本)

▲小學校八〇〇米 男子一分五九秒三、(第一小學校B組)女子二分五四秒(第一小學校A組)

▲五〇〇米決勝 一着A組(五五秒上倉)同B組一分(岩本)D組一分二二秒二四(石田)D組一分一二秒六(佐々木)I組一分二二秒一(池田)

▲千五百米 一着三分三四秒四(一中A組福富)同三分三二秒(一中B組笹本)同三分五六秒一(二中道)同三分五〇秒一(工大菊地)

▲千六百米 一着三分四三秒八(一中)同三分三三秒三(關東廳林野)

▲八百米 一着二分一五秒(旅順高女)同一分四三秒九(關東廳林野)

松山本社長

【長春】本社松山社長は十六日午後一時着列車で本社販賣部長帶同來長、富士屋ホテルに投宿したが同日は南嶺の戰跡を視察後滿鐵地方事務所長格岡茂氏を訪問挨拶、次いで長谷部旅團長大島聯隊長を訪問慰問の辭を述べホテルに歸つたが十七日は午前十時より寬城子の戰跡を視察後飛行場西公園を經長春神社に參拜午後二時二十九分發列車で赴哈した、尚社長は十九日哈爾賓發歸長、二十日吉林往復二十一日長春發赴四、獨立守備隊司令官を訪問奉天に赴く豫定だ

二人連の支那人 邦人を袋叩

被害邦人は生命危篤

【長春】長春三笠町三ノ二〇特產商瀧ノ内恒治長男政彥(二〇)は十六日午後四時頃先生を驛に見送りに行きその歸途滿鐵經濟係裏に於て二名連れの支那人に毆打され人事不省に陷りたるも寒氣のため生氣づき附近の人力車を雇ひ歸宅し醬生堂醫師の診斷を受け靜養中なるが目下發熱依然人事不省である、因に政彥は右足及び橫腹(三寸四方位の靑色斑痕あり)左手に出血あり生命危篤であるが毆打された原因不明

大石橋スケート祭 本社優勝メダルを受ける地方事務所小學校職員混成隊代表

かくて斃れた (3)

血を吐きつゝ數發の射擊

劉二堡附近の匪賊討伐に 松下上等兵の奮戰

原籍靜岡縣榛原郡地頭方村新庄獨立守備隊步兵第六大隊第三中隊步兵上等兵松下庄右衞門氏は去る四日北部中隊長の部下として劉二堡附近にある頭目老北風の率ゆる優勢なる馬賊討伐に午前四時出動した

◇

午前九時三十分劉二堡西方一里餘の無名部落に達するや、數百名の馬賊柳壕子の南方二百米の附近を北方に向ひ退却するを認め中隊長北部大尉は部下五十餘名を率ゐ縱之が追擊を敢行し前進中、西山特務曹長の第一小隊の乘車せる一臺の自動車は柳壕子南方千米の附近に於て故障のため停車した、小隊長は止むなく下車し徒步を以て柳壕子部落に入るや其の附近堤防及高地より我隊に向ひ猛烈なる射擊を浴せるので小隊長は之に應戰すべく輕機關銃分隊を左村落の端より小銃分隊を村落內の一端より散開し射擊を命じた

◇

この射擊戰では松下上等兵の右胸部に盲貫銃創を與へた、肺を貫通されたるに拘らず上等兵は「野郎射つたな小隊長殘念です、松下は未だ一發も射擊せぬ中に敵にやられて之は殘念なことはありません」と言ひ捨て深手の負傷も顧みず數發の射擊をなしたるも出血甚だしく終に其の場に斃れた

◇

依つて小隊長は戰友に命じ同人を附近の支那家屋に送り軍醫の診療を受けしめた、即ち肺部盲貫銃創を受け口より血を吐きつゝ數發の射擊を爲したことは斃れて尚止まざる軍人精神の發露とも稱すべき陣中美談である【鞍山支局發】

野戰病院歸遼

【遼陽】錦州方面に出動中であつた野戰病院班廣瀨軍醫正新田軍醫の一隊三十五名は任務を終り十六日急行で遼陽に歸着した

撫順附近の匪賊狀況

【撫順】撫順附近最近の匪賊情勢は約一週間前まで撫順縣孤家子地方を脅威してゐた約百名の賊團が撫順署の前後二回に亙る討伐によつて殆ど潰走したので同方面は最早安全であるが昨今注目されてゐるのは市街東北方十里餘の地點遼寧縣營盤の北部に接近し來つた安泰綫舗子臣大頭目に屬せる騎馬隊匪賊百餘名の南進で同隊は十七日營盤附近の上哈達部落に入り夕食を命令し漸次南下する模樣である中である、尙五六名組の辻強盜は相變らず炭坑附近に屢々出沒し十六日も日沒後間もない五時半さいふに古城子舊露天掘西國洋行出張所近橋下を岩谷組小苦力頭が通行中突如梶棒所持の五人組辻強盜が襲擊して後頭部に一寸五分の裂傷をあたへ所持金現大洋十圓及び時計一個を強奪逃走したる事件あり撫順署では屆出により非常召集を行ひ時を移さず活動を開始したが屆出遲れのため未だ犯人は逮捕に至らぬさ

匪賊の脅迫狀

【安東】草河口商務會長及び村長に對し十六日匪賊より左の如き脅迫狀を送附し來つた爲め同地では警戒を嚴重に爲し匪賊の來襲に備へてゐる

軍費に必要なれば金一萬圓準備し貸與を乞ふ若し應ぜざれば草河口一帶一物もなき樣燒拂ふ尙本軍費は當方に於て出來次第返却する右金は石頭場、東滿一帶に要領を得たるものに持參せしめ尙金額の授受の折は必ず取置く事期日は十五日午前十二時迄 司令部派 副眞金闌

尙村長宛の脅迫狀左の通り

現在日支兩國戰爭中なり我々は草河口に行き戰ふ其の際鄕團兵三十名を我々に加勢する樣乞ふ若し應ぜざれば銃殺す

吉林

消防隊を組織

吉林居留民會內に在る自警團は今回の皇軍來城以來人口も益々增加するので消防の必要を感じ近く消防隊を組織すべく計畫中であるが右に就いて西野副團長は語る

創設當時は手押ポンプを以てする考であるがそれも資金の關係からの事で滿鐵方面からでも資金が得られれば蒸汽ポンプにし度いと思つて居る何れにせよ近く組織し度いと思つて居る云々

軍隊慰問映畫

當地滿鐵公所庶務係では皇軍入城以來あらゆる便宜を供與し又は慰問に努めて居つた事は既に報じた通りであるが今度は又慰問のため二十日頃軍隊慰問の活動寫眞を催し一般居留民にも公開することにして居るが庶務係の鵜原氏は長春方面と連絡を取り今度は優秀映畫を上映するので目下準備中である

遼陽

愛國號着陸

奉天に十五日無事到着した關東軍の飛機愛國號は二十日午前十時奉天離陸十時三十分遼陽に着陸し午後二時離陸南行の豫定である當日在住者は國旗を擁して同機を歡迎すると共になるべく多數飛行場に參觀されたく一般に參觀を許さると同時に係官から防空思想に關する講話があるとのことである

迫擊砲試射

遼陽警備隊では十五日は步兵聯隊練兵場で十六日は鐵西に於て迫擊砲の射擊演習を實施した

復興會總會

社團法人遼陽復興會は廿四日午後二時から公會堂に於て第五次定期總會を開き昭和六年度下半期の決算報告をなすさ

河原畑不起訴

鞍山探鑛公司筆生河原畑平八郎、上坂清新の兩名は銃砲火藥取締法違反事件で遼陽領事館檢事々務取扱に於て審理中の處十五日不起訴と決定兩人共釋放された

服部師披露

遼陽高野山弘法寺住職服部本岳師は十八日午後五時から檀徒總代、新聞關係者其の他の有志數十名を寺房に招き披露宴を催した

鞍山

實靑定時總會

鞍山實業靑年團第三回定時總會は既報の通り十六日午後八時より實業協會堂に於て擧行された定刻團長奧平廣直氏より開會の挨拶あり時局發生以來團員の團本來の使命に向ひ獻身的の奉仕に對し謝辭を述べ續いて藤田庶務幹事より六年度中の事業報告あり、藤竿會計幹事の舊年度收支決算報告あり終つて團役員改選に就て滿場一致各分團より二名宛の銓衡委員を擧げ委員は別室に於て協議の結果、役員並に各分團長は左記の通り決定し重任せる團長以下役員の就任挨拶あり、同九時總會は無事終了引續き同所に於て來賓及び團員の懇親會を催し奧平團長の發聲にて團の萬歲を三唱し十時盛會裡に散會した、因に一月十五日現在の團員は百十四名であるさ

（團長）奧平廣直（副團長）太田義一、秋貞利吉（幹事）藤竿義雄、藤沼韓一郎、眞杉久男、坪內榮達、野村數幸（各分團長）「市部」東十二「南部」高橋昇三「西部」新原德次「中部」望月忠治

瓦房店

七十八翁慰問

宮城縣岩沼町出身古住遜治氏は本年七十八歲の高齡なるに拘らず頗る元氣旺盛で十三日當地に來り守備隊及警察署を訪問慰問の辭を述べた記者は其壯圖と健康を祝し且つ慰問を謝する意味を以て「旭光東天遍乾坤。滿蒙天地初光輝」の句を呈するさ翁は直に「滿洲蒙土入干戈。一旿戰問倫利那。孤劍飄何處去。乾坤到處碧山多」と稱し飄々乎として北方に去つた、奉天長春を終へ錦州に入り引返して朝鮮經由歸還する豫定であるさ

旅順

看護兵歸る

旅順衛戍病院長鷹渡軍醫長以下十名の看護兵は十七日午前九時十分着列車にて歸隊驛頭には永山市長を始め官民多數の出迎へあり市長の挨拶廣瀨軍醫矢澤病院長の謝辭あり一同元氣神に衛戍病院に向つた

ピンポン大會

小森運動具店主催にて來る三十一日午前九時から旅順公學堂講堂で全旅順ピンポン大會を擧行するが試合方法は一チーム五名の團體競技にして優選戰（補缺二名）とし會費一チームに付き一圓五十錢（晝食其他の費用）申込期日は二十五日迄で右の爲め主將會議は二十八日午後七時から靑葉町小森運動具店に於て開催する

十六日開催された滿洲神社奉建會委員會に就て更らに十七日午後一時から市役所に永山委員長隆山東畑米岡の各委員參集關東廳に對する出願事項に就き協議を遂げる處があつた

◇

鯖江町內田致廣氏は十七日旅順署を通じ軍隊出動警察官に對し金一封を贈つた

◇

管間旅順驛助役は今回奉天驛列車區へ轉勤となつたので十六日各方面を歷訪告別の辭を述べた

◇

十五日關東軍司令部から旅順農會宛第二回の苹果八萬個（約三千圓）の注文があつたので直ちに嚴選に着手した

◇

改年と共に各町總代改選の結果其後決定せるは▲乃木町二丁目 總代丸山米吉、副總代山崎光之助▲敦賀町 總代甲斐和太郎、副總代原彌吉

◇

太原本社旅順支社長は十六日單身來旅關東廳を訪問兩三日中改めて單身着任する

◇

各町總代新年總會は來る二十二日聖德殿に於て開催聯合町內會正副總代の改選其他を附議する

◇

中央町內會では十八日壽又は聖德殿に於て新年總會を行ふ由

御めでた

▲富士町八 西貞雄氏長男忠三郎君六日出生▲敦賀町四四 土屋公則氏長女弘子孃九日同上▲厩町陸官七三 丸山乙郎氏長男幸好君四日同上▲八島町二三 森清次郎氏長男繁君一日出生▲白玉山町一一 池田季藏氏三男威信君五日同上▲扶桑町二ノ一 中田景穗氏二女郁子孃八日同上▲千歲町一二ノ七 原章吉氏長男茂恭君九日同上

市中の噂

旅順官民の中の一部には甚だ道義心の乏しい非常識者が居る事は遺憾此上ない事だ、總ての集會には依然として時間の勵行は行はれず、それで御互に文句や不平を唱へてゐるのだから奇妙此上なしである▲又歡送宴や祝賀會に際してその申込が締切迄に通知する者は約半數、殘りの半分はその日の然も數分前に是非入れろとの御託宣、茲に於て市の庶務係全くテンテコ舞を演ずる實狀は眞に同情に堪へない、オマケに理窟迄コネ出す氣マ、者迄も飛出すのだから言語道斷だ▲主催側の用意準備は一通りの苦心ではないバカリか注文の數なぞは經費の上からそればかりぢやない、整理の上から非常な深い關係が伴ふのでそれや、コレヤの苦心は却々大變だら、將亦秩序の爲め夫れ〴〵食卓番號等の籤を以て定めてゐるがイザ着席となると「君！僕誰だい、好いよ一緒に……」コンナ會話が交されて任意の着席で正直に着席しようと思つた者は席がなくウロ〳〵してゐる始末▲甚だしいのは此會費が未だに精算が出來ぬ事が二つや三つぢやない、第十三師團隊の送別會費、菱刈前軍司令官の送別會費、本庄軍司令官の歡迎會費明治節の祝賀會費なぞは未だ納めない處ある、其慣例の一つ、昨年の海軍記念日祝賀會費がヤツと數日前納入濟となつた、正に六ケ月振りで精算が出來た、而もそれが二十圓に滿たぬ金額で――全く呆れかへるより他はない無關心にも程がある▲此上は將來の爲め＝改善斷行の爲め＝一時の文句があつても＝會費の如きは從來の電話申込は一時の參考受附として會費納入を以て效力を生ずる事と定め、たとへ如何なる方面でも事態がどうであらうとも懸習慣の一掃改善の實を擧げるため絕對嚴格な主義方針の下に猛進すべきである若し事實上コレが不可能とするなれば將來と雖も到底改善は絕望である一つの癌となつて前後收拾し得ない一大困難に陷る事を痛感せねばならぬ、英斷とは正に此事だ、他の金錢問題や會合事とは意味が違ふ一人の非常識沒義者の爲め迷惑、蹉跌を生ぜしめ引いては社會一般に對し秩序紊亂？を來すに至る當然の結果を想へば先づ市の庶務係英斷敢行のスタートを切るべしだ

第二の反抗 (127)

三宅やす子　阿部金剛畫

喜美の其後 (11)

きつと今頃は、勤め先の方も工合よく勤めて、新らしい奧さんと――あの美しい、品のいゝお孃さんが、幸福な花嫁になつたら、どんなに美しく引立つことだらう――朗らかな新家庭を作つて居られるのだらうか。

でなければ、婚約時代のたのしさを充分に味はふ爲に、あちこち散步だの映畫の見物に時間をつぶしてゐるのかしら、どつちにしても不滿な男の集つて來るカフエーあたりに、足を運ぶことはないにきまつてゐる。

すると、自分が、かうして、ものやの空だのみで、あの方を待つてゐるやうな氣持で居るのは全く、莫迦々々しいことだ。

と考へると、喜美は、もう、何がしら、わけがわからなくなつて、いつそ、近藤の申込を、承諾してしまはうか、といふ氣にもなるのだつたが――

さうして、日を經ることに、喜美にいろ〳〵と云ひ寄つて來る客は、決して近藤ばかりではないといふことがわかつて來た。

其日限りの浮氣から

「今晩どつかへいかないか」

と誘ひかけてくるのは、今日は、お天氣だね、といふ日常の挨拶位にしか感じないほどの、女給の訓練も出來て來た。

身を固めるなら、何も、初戀の人に似てゐるつていはれて、其人の代りに、人形みたいにお嫁さんになることはない。もつと自分の選んだところ、といふ標準が、いつとなしに、お金の不自由のないところ、といふ目標をおいて居ることに、ふいと氣がつくと、喜美は、僕の間に變りはてた自分の心に愕いた。

「近藤さん、さつぱり來ないわね」

えみ子といふ友達が、ある晚、ぼんやり、自分のところに來る客を待ちぼうけて、アクビをしながら云つた。

「さうでもないわ、一昨日來たばかしですもの」

喜美は興味のない聲で答へる。

「だつて――每晚だつたぢやないの、此頃少し足をぬくやうれ、喜美ちやん、あんまり邪慳にするんぢやないよ」

「じやけんになんかしないわ」

「勿體ないよ。ばちが當るよ。ほんとうに、此不景氣に、あんなに金離れのいゝお客がたんとあるもんぢやない――それに、いやらしいところがちつともなくてさ――あたしだつたら、もう下に置かずに御機嫌とるよ。あんたははなからあんないゝお客に見込まれたから、此稼業の苦勞をしらないんだよ」

えみ子は、あゝ、あと歎息をして

「あんな親切な人許りがお客だと思つたら大間違ひさ――あたしなんか、來る男も來る男も、薄情者で、でなけや甲斐性なしで――おかになるどころかあべこべに、こつちから、擲つてゆくんだもの」

「それや、好きな人ならみつぐだつて可いぢやないの」

「のんきだよ。あんたは――此不景氣に、もう、みつがうにもみつぐもとがありやしないぢやないの」

えみ子は眼をクリツとさせて云つた。

SANTE

肺結核の革命的治療藥

サンテ

● 「サンテ」には、應用の適切を期する爲め、一號（有熱用）、二號（無熱用）、三號（虛弱質用）、の三種がある。これも創見者藤澤博士の苦心の現はれであつて、ピッタリ病狀に當てはまる藥を選ぶ事が治癒の促進にどれほど有效に働く事か云ふ迄もない事である。

◉「サンテ」は、各號とも、味緩和にして服用し易く、副作用、習慣作用、或ひは配合禁忌等の缺點のないのを特徵としてゐるから、他の藥物と併用する場合があつても何等妨げないのである。

【適應症】肺結核、肺浸潤、肺尖加答兒、肺氣腫、慢性氣管枝加答兒、肺炎、濕性並に乾性肋膜炎、結核性腹膜炎、喉頭結核、淋巴腺結核、腸結核、結核性下痢・肺門淋巴腺腫脹、脊椎カリエス、瘰癧、骨並に關節結核、結核性並に腺病性眼疾

【種類】「サンテ」一號‖有熱期に適す
「サンテ」二號‖無熱期に適す
「サンテ」三號‖前記各適應症の恢復期並に結核性體質、腺病質、虛弱質、榮養不良に適す

【藥價】

「サンテ」一號	一二〇錠 二圓八十錢	三六〇錠 八圓十錢
「サンテ」二號	一二〇錠 二圓八十錢	三六〇錠 八圓十錢
「サンテ」三號	一二〇錠 二圓五十錢	三六〇錠 七圓二十錢

◉別に醫家調劑用粉末あり

◉先づ文獻に依りて諸博士推奬の聲を聽け

文獻（實驗報告書）送呈

藤澤博士並に諸博士がサンテを結核性疾患の治療に應用されたる成績報告書及び「療養指針書」を御申越次第送呈す

臨床大家四十餘博士が

「サンテ」を各種の結核性疾患に應用せられて

その藥效を推奬せらる

醫學博士 岩井登門氏
醫學博士 生地憲氏
醫學博士 石山暢昂氏
醫學博士 飯島近治氏
醫學博士 濱田良輔氏
醫學博士 牛田久雄氏
醫學博士 西田宗一氏
醫學博士 豊田正達氏
醫學博士 大國二郎氏
醫學博士 渡邊貞惠氏
醫學博士 川上理作氏
醫學博士 川村六郎氏
醫學博士 高橋三千彥氏
醫學博士 高島俊治氏
醫學博士 竹島光藏氏
醫學博士 竹森啓祐氏
醫學博士 内藤業太郎氏
醫學博士 中村和雄氏
醫學博士 内田謙益氏
醫學博士 内野淺次郎氏
醫學博士 上森虎之助氏
醫學博士 黑岩文一氏
醫學博士 栗原基氏
醫學博士 松崎香住氏
醫學博士 增田貞一氏
醫學博士 小竹政吉氏
醫學博士 小松原謙三氏
醫學博士 蘆名泰氏
醫學博士 齋藤齊氏
醫學博士 佐藤弘氏
醫學博士 澤田四郎作氏
醫學博士 木崎正美氏
醫學博士 木許寛氏
醫學博士 百合野順太郎氏
醫學博士 三好毅一氏
醫學博士 宮井茂吉氏
醫學博士 宮崎正一氏
醫學博士 宮本博人氏
醫學博士 志賀賁氏
醫學博士 弘田茂富氏
醫學博士 森本正好氏
醫學博士 勝呂悌氏
醫學博士 杉田貞之氏
【イロハ順】

全國臨床醫家に急告

‖品切れ中の粉末の用意成る‖

「サンテ錠劑」御注文殺到の爲め「サンテ粉末」製造の暇なく、永らく品切れにて御迷惑を掛けて居りましたが、工場設備の擴張に伴ひ「粉末」の用意も充分に調ひましたから、今後品切れの爲め御迷惑を掛ける事はない積りであります 御諒承の上弊社又は藥品問屋へ御用命を願ひます

何が故に革命的治療藥と云ふか？

結核は、決して症狀を抑へたからとて治る病氣ではない。

結核に多くの場合隨伴し來る發熱、食慾不進、盗汗、下痢、咳嗽、血痰、頭痛、心悸亢進、疲勞感等の症狀に對して、先づその症狀を抑へんとあせるのは人情の止むを得ざる所であるが、此等の症狀は何に因つて起るかと云へば、結核菌の產生する結核毒素の中毒に因つて起るものであるから、單に症狀だけ輕減せしめ得たとて結核治癒の上には何等の效を爲さないのである。

又、一時的に藥で抑へた症狀は、原因たる結核が治らぬ限り、何回でも繰返して發現し來るは當然である。

それよりも、根本的に結核菌を絶滅し、結核毒素を排除し、結核病竈の本質的治癒を計る事の方が、どれ程重要であるか解らない。

斯くして病氣そのものが治癒に赴きさへすれば、區々たる症狀などは、何等の處置を施さずとも、自然に消失して行つて、再び起る事はない。これこそ本當の治り方である。

新發見藥「サンテ」は、この見地より、結核菌に對する殺菌と排毒兩作用を徹底せしめ治療界に一新生面を開拓すべく、醫學博士藤澤好雄氏の多年苦心研究に成れるものであつて舊套依然たる結核治療に正に革命的の斷案を下したるものと云ふべきである。

世には往々にして、理論上效果あるべしと稱せられたもので、臨床上の效果擧がらず、期待の裏切られるものがあるが、「サンテ」に至つては、理論上はもとより、臨床上に應用して實に素晴らしい效果を示す事は、實驗者が總て驚嘆を以て報告せられる所である。

正しき治療に目覺めよ

悲しむべき統計は我國に於て年々約十二萬の人が結核の爲めに死亡して行く事である。

而もその八割は十六歳から三十五歳までの年齡で、斯くも多數の前途有爲の青年や、一家の柱石を爲す壯年が、雄圖空しく恨みを呑んで結核の犧牲となりつゝある事は、小にしては一家、大にしては國家の大損失である。

故に、結核の治療に就ては、患者自身にとつても、家族の人にとつても、最も細心の注意を以て、對策を誤まらざる樣に考慮すべきであるに拘はらず、多くの人は何等深く考へる事なく、たゞ漫然とその日暮しの一時的治療に甘んじ、又は食慾も無いのに無暗に榮養食を詰め込む事のみに骨を折るといふ有樣であるから、病狀は益々惡化する許りである。

云ふまでもなく、結核は結核菌の傳染に因るものであるから、菌の繁殖を抑制せず、毒素の排除も講ぜずして、徒らに榮養食を多く食べたとて、毒素のために弱められた胃腸は到底その負擔に堪へ得ず、不測の下痢など起して却つて身體を衰弱させる位が關の山である。榮養を盛んにする事は、先づ結核に對する根本處置を講じてから後でなければ無駄が多い。

正しき治療は、是非とも結核菌の殺菌と毒素の排除に第一目標を置かねばならない。

即ち、その見地に立つ新發見藥「サンテ」が各知名大家によつて競つて推奬せられ、日々多數患者の感謝の的となりつゝあるのも、決して偶然ではないのである。

肺病を治すか否かの分岐點

結核藥に對する認識不足ほど患者自らを毒するものは無い

世に、結核藥又は結核滋養劑と稱して販賣されてゐるものは、實におびたゞしい多數に上つてゐる。

藥店の店頭を一寸のぞいて見ても、新聞や雜誌の廣告を一瞥して見ても、正に**結核藥オンパレード**の感がある位であつて、惱める患者が、あれこれと迷ひわづらふのも誠に無理からぬ事である。

然し乍ら、此等多數のいはゆる結核藥の中に、眞に結核そのものを治す効力のあるものが果してどれだけあるであらうか。

その多くは、結核性疾患に伴つて起り來る症狀の一部を緩解するだけ、即ち熱を下げるとか、ねあせを制止するとか、咳嗽を抑へるとか、食慾を進めるとかいふに止まり、結核藥に非ずして單なる症狀緩解藥にしか過ぎないのではあるまいか。

その樣な藥をいくら浴びるほど服んだとてたとへ一時的に症狀は輕減しても、結核そのものゝ根本治療にはなる害がない。その正確に就ての認識が足らず、結核藥と名がつけば何でも手當り次第に鵜呑みにしてかゝらうとする患者は自分自ら**治る希望を捨てた人**と云はねばならないのである。

自分の病氣を治さうと思へば、モット眞劍に、自分の服む藥に就て正しく考へねばならない筈ではあるまいか――

今茲に述べんとする「サンテ」は、別項にもある如く、徹頭徹尾結核の病竈に向つて藥物的作用を營む眞の抗結核藥であつて、病氣そのものゝ本體に藥理效果を及ぼし根本的の治癒を計る獨特の創意に成る發見藥である。

見方に依れば、病竈に對する作用のみに急にして、現に患者を惱ましつゝある各種の症狀に對する處置を閑却したるものゝ樣にも見ゆるやう。然し、實際は閑却するどころか、病の本源を鎭める事が、即ち症狀を輕減する事に一致し、而も最も早道なる事を知るものである。

人爲的に外部から症狀を抑へる事は、やゝもすると反動を伴ひ易い。のみならず、各種の症狀の起り來る事は、起るべき原因あつて起り來るものであるのに**その源を究めずして**單に表面に現はれた症狀のみを抑へんとすれば、どうしても無理を生じ易い。

若し、先づその源にさかのぼつて、結核毒素を排除し、症狀の起り來る根を斷つ事が出來たなら、少しも骨を折らずに極めて自然的に症狀を消失せしむる事が出來、病氣そのものゝ急速なる本質的治癒を計る事を得るに違ひない。即ち藤澤博士が苦心されて「サンテ」を創見せられた核心は此處にあるのである。

その效果の手近な證明は、「サンテ」を實驗せられた各博士の報告書に見る事が出來る。

――食慾大いに增進し、健康時と同量の食餌を攝るに至る
――微熱去り、平溫となる
――ねあせ止み、夜間安眠する事を得
――胸痛去り、頭痛、全身倦怠を感ぜず
――咳嗽鎭まり、血痰止み、呼吸輕快す
――肩こり、全身異和感去り、元氣振起す
――ラッセル消失す
――下痢頓挫す

斯くの如き著名な症狀の減退が「サンテ」の服用後、早きは四五日**おそくも一週間目頃**からメキメキと現はれ來る事屢々であつて、患者の氣分は、日增しに不快なる症狀の消失し行くに從ひ、益々明るく輕快となり、體重も增加し、歩一歩全快への堅實な歩みを進めて行くので各博士とも非常な喜びを以てその結果を報告せられ、その效果を賞讃せられてゐる。

單なる症狀の沈靜劑であつても、この樣に速かに安全に奏效を見るのは稀である。まして、僅かに一劑にて、斯くも多數の症狀を一擧にして消失せしめ得るのは、前述の通り、「サンテ」が、病の本源を爲す病竈に直ぐ樣作用して忽ち殺菌排毒の效果を現はす獨特の製劑なればこそであつて、斯くてこそ**始めて本當の治癒が**そこに期待出來得るのである。

なほ、本劑か、服用極めて安易安全であつて、過敏性の婦人や小兒も喜んで之を服用し得る事、又少しも副作用習慣作用なく安心して持長せしめ得る事、及び、本劑のほかに下熱劑や其他の症狀緩靜劑を併用する必要は更になく（併用する事は妨げなけれども、その必要なし）唯一劑のみにて充分各種の效果を同時に現はす故、從つて頗る經濟的なる事など、各博士の一致して推奬せられる所である。

ST44

御注文方法

◉御注文の際は必ず「サンテ」何號と御明記の事
◉御送金は振替貯金（大阪三五七番）御拂込か、又は郵便爲替御利用か御便利、前金の御注文には送料を要せず
◉代金引替便ならば御注文主にて送料御負擔の事

各地著名藥店及び百貨店藥品部にて取次せらる

參天堂株式會社學術部

大阪市東區北濱一丁目
振替貯金大阪三五七番

各地で匪賊討伐

單身敵陣に躍込み十四名を斬る
奮戰中敵彈に當つて河野中尉戰死

十七日歩兵第〇〇聯隊の〇〇部隊は營口北方沙嶺に於て匪賊六七百名と遭遇し直にこれと交戰し一時間に渉る激戰の結果敵に多大の損害を與へて更に西北方に潰走せしめた、この戰鬪に於て河野元秀中尉は勇敢にも單身群がる敵中に躍り込み日本刀を振つて敵十四名を倒したが不幸敵彈に當つて頭部に貫通銃創を受け壯烈な戰死を遂げた、敵は死體約七十を遺して西北方へ潰走したがわが軍の戰死者は河野中尉外騎兵一名歩兵二名である【奉天電話】

沙嶺の遭遇戰

十六日沙嶺一帶掃蕩中の歩兵第〇〇聯隊及び騎〇部隊は途中馬河子、八河子附近に於て優勢なる敵の主力と遭遇しこれに對し痛烈なる攻擊を加へ敵を潰滅せしめた【奉天電話】

牛莊に入城

沙嶺地方に蟠居せる有力なる匪賊討伐のため十六日田庄臺のわが〇〇部隊は途中馬河子村落附近に於て牛莊を襲擊せんと計畫中の匪賊に遭遇し直にこれと猛烈なる市街戰を開始し完全に掃蕩し十七日午後堂々牛莊に入城した【奉天電話】

羽山枝隊が通遼附近を掃蕩
匪賊を擊退引揚ぐ

通遼附近の匪賊掃蕩に向つた羽山枝隊は十七日朝長岡中隊をして興家園を掠奪中であつた約一千名の匪賊を掃蕩した後、同中隊は賊を西北方に擊退し午後一時通遼に引揚げたわれに損害なく賊の死體九十捕虜二十二、鹵獲兵馬三十餘頭小銃二十挺、彈藥五百を鹵獲す【奉天電話】

高山子に匪賊襲來
討伐隊を急派

關東軍司令部發表十七日午後十一時頃千名の匪賊が突如打虎山西方高山子附近に襲擊せるを以て打虎山部隊より歩兵約一個中隊を同地に急派した【奉天電話】

新立屯部隊討伐開始

新立屯北方二道家子附近に兵匪千名出沒し掠奪を恣にしてゐるので新立屯駐屯大隊は十七日拂曉兵匪掃蕩の攻擊を開始した【奉天電話】

氣遣はれる避難同胞の運命
三家堡で重圍に陷る

鮮農吉外七戶三五名は十八日午前六時四十九分着列車で楡樹縣より避難來長したが彼等の談によると楡樹縣は目下吉林軍と作舟軍とが對時中であるが或は今明日中には一大決戰が演ぜられぬかと見られてゐるので人心は極度に不安を呈してゐる、我等一行の外楡樹縣からは鮮農百餘名がハルビンに避難すべく北西に向つたが、三家堡附近で蘇德臣部下の陣地に迷ひ込み目下敵軍のため重圍に陷り或は全滅の殘虐にあはぬかと憂慮されてゐると

因に避難鮮農は鮮人民會の世話で鐵道北の收容所に收容された

が長春警察署では一千二百名餘の避難鮮農に對し十九日午前十時より腸チブスの豫防注射をなした【長春電話】

カチ〳〵山が一等
夜に入り氷上假裝行列等の餘興
照明に映ゆ大銀盤

十七日の戶外デーは氷上大行進に次いで午後六時半より同じく鏡ケ池において盛大な氷上假裝行列、獻燈競爭などの餘興が行はれた、會場の池畔には一ぱいに紅提灯をつるして四方に設けられた大照明燈は煌々と銀盤を浮べた、晝にも增して集つた市民は一帶の堤に一ぱい銀盤を取り卷いてまことに戶外デーの喜びをたゝえた、定刻空には數發の花火が打揚げられ寒空を美しく飾る

戶外デーのマーチと共に集つた假裝の群は兎と狸のカチ〳〵山大連醫院連中の傷病兵オンパレードはお手のもので觀衆をどつと笑はすそのほか逆立の道化師など入り亂れて氷上を疾走乱舞し遂ひには片足を傷ついた筈の傷兵がこゝは御國の何百里と唱ひ出し御醫者さんを置いて走り出すなど當日呼物の假裝行列は大成功であつた

次で獻燈競爭、フイギアースケーターの氷上遊戲等に觀衆を熱狂せしめ、同八時半盛會裡に第二回戶外デーは終つたが假裝行列は審査の結果滿鐵松原、遞信局打越兩君のカチ〳〵山が一等と決定、大連醫院連中七君の傷病兵オンパレードが二等、滿鐵山田君の逆立の道化師が三等に決定、それ〴〵賞品を授與された

討伐困難な彼等の警戒振り
部落民を手先に使用
匪鄕潛入記（五）　佐內泗外生

滿

洲一帶にはびこつて絶えず地方良民を脅かしてゐる匪賊の跳梁に對し官憲はその討滅に非常な苦心努力を拂つてゐるが、容易にこれが掃滅を期することの困難なのは何故か、彼等が官憲の手から遁れんとする警戒振りを覗くと益々その困難さが窺はれる、その第一は部落民が後日彼等の祟りを受けることを恐怖してゐるから常に彼等の手先となつて絶えず討伐軍を不利に陷らしめる場合が多い、又彼等賊徒も抵抗しない限り土地の者に對しては絶對生命に危害を加へないから部落民も小々なことは我慢し、禍根が一掃された時は良いが

部

落の者が官憲の手引等した樣な場合匪賊も絶大の復讐を行ふからつまり成るべく彼等の御機嫌を取つて好意を示す譯だ、假りに有る地點に大部隊の匪賊の集團があるとして、若しこれに討伐の手を加へやうとしても、彼等は官兵の襲擊前トックの昔にそれと悟り移動若くは應戰準備を整へてゐる、又彼等の敏感なことは自分の居る部落の周圍二三ケ村位の內で何か變つたことがあると直にそれを察知する程の完備した警戒網を張つてゐるから容易に彼等の本據を突くことは出來ない、單に匪賊と云つても

僅

か少人數を以て立つのと何百何千と云ふ大部隊の集團もあつてもう數百の集團と成れば內部の統制を保つ上に於てその組織が全く軍隊の形式を取つて居る多くこれを稱して兵匪と呼んでゐるが馬賊も兵匪も實質に於て變りが無い、數百の部隊が或地點を占據した場合、直に警戒配備が行はれる夜間等も徹宵二重三重の嚴重な見張りが立つから絶對に官憲の不意打ちを喰ふことが無い。又腰に銃を持つ身の通有だが夜間にしても決して非常の場合を忘れずいざと云ふ時には直に戰出來るまで武裝したまゝ

應

就寢するのであるその俊敏さは恐らく支那の正規軍隊も及ばない、僅か二三分にして各自戰鬪配備に就くことが出來る【挿畫國井眞みがく】

避難の同胞に無料で施藥
全滿藥劑業者の美擧

事變以來滿鐵各沿線附屬地へ避難してゐる鮮人中病弱者が約一萬人あるが何れも貧困者か或は進んで醫療を受くるものなく又一方醫療方面に於ても仲々行き屆かないため誠に同情に堪へぬ狀況にある折から今回州內外の全滿藥劑業者一同は救護藥品の無料提供方を關東廳に申出たので同衞生課では大いに喜び直に滿鐵及び沿線各警察署と連絡の上至急適當なる方法を講ずることゝなり多大の幸福を齎された

山縣通の小火

十七日午後五時頃山縣通三十番地西洋家具商和興盛方炊事場煙突より發火壁に建てかけてあつた材木に燃え移り正に大事に至らんとしたが消防署の敏速なる出動により未然に消火した、出火原因は煙突の不完全から

大每茅野特派員ら四邦人の死體發見
錦西の西方平山嶺子で

錦州討伐の際兵匪のため拉致されて以來其の生死を危ぶまれてゐた大阪每日特派員茅野記者及び所、山口、加藤の四邦人が無殘の死體となつて錦西の西三十キロの平山嶺子に雨風に晒されて變り果てた姿となつて遺棄されてゐるのが十六日午後に至り發見された【奉天電話】

金庫には數百萬圓七十八萬圓だけ盜難
松原朝鮮銀行本店理事語る

【京城十八日發】平壤鮮銀支店の七十八萬圓の大盜難事件に就き松原本店理事は左の如く語る

平壤支店では朝十時出動して大事件が判つたらしく本店には十一時近くあはてゝ電話があつた何しろ七十八萬圓と云ふ大金で非常に心配してゐるが金庫には數百萬圓の金があるのでその中の七十八萬圓を取つたと思はれる、犯人は內部の者か外部の者か判らぬが或はマンホールを破り大金庫に入つたかも知れぬなほ盜難の鮮銀七十八萬圓は十圓と百圓札が主で三人の宿直は熟睡してゐたと云ふが一說には思想團體の仕業ではないかとも云はれ鮮銀では大狼狽を極めてゐる

大連支店入電

鮮銀平壤支店の七十八萬圓盜難事件について武部鮮銀大連支店長は語る

今本店から盜難の趣だけ通知がありましたが、詳報が判りませんから何とも云へませんが傳へられるが如く思想團體の手が廻つてゐるとすれば使ひ途について一寸困りますれ、何れにしても今頃奇怪なことが起つたものです

滿洲に入れば遂に迷宮か
鮮銀本店某課長談

【京城十八日發】平壤鮮銀支店七十八萬圓盜難事件に就き本店の一課長は語る

平壤支店には何時資金の需要があるか判らぬので數百萬圓を準備してゐる、この大盜難で金が國境を出てゐなければ判るだらうが現金の事だし若し滿洲にでも入つたとなれば遂に判らぬかも知れぬ

鏡ケ池の賑ひ
第二回戶外デー參加者（上）入選した氷上假裝行列（下）

國粹會で髷を力士團へ返す

【東京十七日發】新興力士團の刷落した髷は國粹會にては保存の必要を認めず返還した

奔走する
出羽海部屋

【東京十七日發】髷を落して最後的決意を斷行した新興力士團に對して出羽の海部屋では諦め切れずなほ一縷の望みありとなし國粹會に縋ると共に十七日朝來春日野藤島門下の人々は八方に奔走したが出羽海は午前九時協會に役員の召集を請ひ、席上今迄の經過を報告諒解を求めた

北海道大學賜杯獲得
學生スキー大會

【札幌十八日發】第五回全國學生スキー競技大會第二日目は十七日午前十時から札幌神社外苑で擧行された、天氣引續き快晴で寒氣強く絶好のコンデーション、最後の優勝を決すべき選手の緊張は勿論、觀衆も黑山と會場を埋め熱狂聲援した、地元、北大は本日最初のジャンプ競技で壓倒的大捷を得た、結局五種目中四種目の一等を得總得點十一點を三年目に再び本懷を遂げ秩父宮賜杯を獲得した期待された早大はリレーに勝つただけで得點二十六點二位に落ち午後五時十分リレーのラスト日大飯田選手が全く暮色に包まれてゴールに到着し競技を終了午後六時より豐年館に於て秩父宮優勝賜杯その他の賞杯の授與式をなし目出度く大會の幕を閉じた

全滿大會準備

昭和製鋼所州內設置期成同盟會では昭和製鋼所の滿洲設置を高唱するため來る二十日大連に於て全滿大會を開催するが、これが準備のため十八日午後二時より市役所會議室に於て準備會議を開催すると

明大校友會

明治大學校友會關東州支部では十六日午後五時より大連扇芳亭に於て總會開催の結果津上善七氏支部長に新任、同氏より更に十一名の幹事を新任校友たる奉天市長趙欣伯氏に激勵電報を發し激勵するところあり三十餘名出席盛會裡に午後九時終了

神明高女の國旗掲揚式

二月一日午前十時より國旗掲揚式を擧行する事になつてゐるが同國旗は攝津町一一吉富直方氏の寄贈になるもので二十尺に三十尺の大きさであると

安樂椅子

……◇……

鶴島町の魚屋妻女殺人強盜事件の犯人を捕縛してホッと一息入れた大連署の千葉司法主任、十六日はいささか氣拔けの態で出署してゐたが、しみじみと犯人逮捕の苦心を語り出す。

……◇……

「捕へて見れば何でもないやうなものゝ、逮捕の端緒を掴むまでの苦勞は並大抵じやない、幸ひに早く捕へることが出來たから市民に面目も立つた樣なもの、若し今度の犯人が捕まらない樣であつたら自分はいさぎよく腹を切る考へであつた」と腹ならぬ太い首をなでる、

……◇……

「まる二晝夜殆ど眠らなかつたので昨夜はゆツくり眠らうと思つたがなかなか落付いて眠れない、せつかく眠つても飛んでも無い時に目がさめる、我のせるだと笑はれちや憫ないよ……全く机にかじりついてゐる我々でもこれ位緊張してゐるのだ、外に出てゐる刑事連の苦心は察するに餘りがあるよ……」

曙の鐘 (170)

倉田潮
河野想多畫

第二の戀人 (二)

お夏はあけみに手つだつて、背中に湯をかけてやりながら、その問に答へた。

「警察ではあの夜私が五階に、春木やたえ子と一緒にゐたものですから、その時の二人のしたことを詳しく話せと私に云ひますのよ」

「でも、それは前におまへが警察の人に一度よく話しておいたことぢやないの」

「さうですの。前に御嬢樣と打合せをした通りに申し述べておいたのですが、それが違つてゐはせぬかと云ふのですの。たえ子が警察へ來てあの夜のことを細かに話したらしいですわ。それが春木の陳述と符合してゐるので、私が嘘を云つてゐるのではないかと思つてまた呼び出したのでせう。でも、私、御嬢樣と相談しておいた通り春木とたえ子の云ふところは總て嘘だ、二人が田舍に逃げて行つてゐる中にうまくつくりあげた嘘だ――と何處までも云ひ張りましたのよ。」

あけみは默つてお夏の顏を見た。お夏の警察で云ひ張つたことは、かれて二人で打ち合せてある通りだつた。しかし、あけみはお夏がその通りを云つたとの返事を聞くと、思ひがけない烈しい憎惡につきあげられた。この古狸のやうなお夏の口からあの純な春木を死におとす言葉が、しやあ／＼と述べ立てられたのだらうか。春木の陳述は總て嘘です――と口をぬぐつて云つたのだらうか。實はあの夜「階下に行つて醫者をよんでこい」と、春木に云はれた時、階下に行く風をして春木の犯行を見屆けたら、まことしやかに申立てたのだらうか。本當は其犯行は春木ではなくお夏自身がしたことであるのに、已の罪を無垢な春木になすりつけようとして、あべこべなことを申立てゝ、しすましたと云ふ顏をして今湯に這入つてゐる。「御嬢樣」の云ふことを信じて、「お嬢樣」が自分を[illegible]かつた言葉をそのまゝ信じて安心してゐる。その御嬢樣が實は裏で何んなことを考へ、何んなわなをつくつてゐるのかも知らないのだ。ちがひなぞが何になるものか。ふぬけの戀慕、愚鈍の妖覺！自分の眼の前に、怖ろしい千じんの斷崖があるのが見えないか。

「それで、お夏」とあけみは激した心を聲にあらはすまいとし靜かに云つた。「警察はお前の云ふことを信じたの」

「それはよく解りませんが、多分信じたと思ひますのよ。「春木をてつてい的にしらべて見る」と云つてましたから」

「ふーん」

とあけみは苦げに低く唸りながら、そつぽを向くと、苦痛にひん曲つたやうに顏をゆがめた。

春木は仇敵だ――と彼女は心の中で呟いてゐた――あれほど思ひをかけてゐる自分を冷たくはねつけて、何處までも外の女の後を追ふ男は、敵と思ふより外にすべはない。總てが然らざれば無！戀人と奉ることが出來なければ、慘忍に殺すより外に方法はない。激しいあけみの心からすれば其の間の妥協は總て許されないのだつた。

湯舟からあがると、お夏が背中をながさうと云ひ出した。あけみは長い首をさげて、上半身をお夏のするまゝにまかせてゐたが、春木の冷やかな心を思ひ已の不思議な運命を思つて、涙が止度なくあふれ落ちるのだつた。マリアを殺さねばならなくなつたのもその原因は春木への戀からではないか。

急にあけみはお夏に涙を見られるやうな氣がして、そこにゐたたまれなくなつた。來た時と反對に逃げるやうに浴室を出て、泣くところを求めて己の部屋にかへつて來た。今は平常の驕慢も優越も誇りも、總て失はれてゐた。

がばと卓子に顏を埋めると彼女はさめ／＼と泣き初めた。泣いて泣いて、やう／＼涙がとまると、ふと眼をやつたピアノの背後に、彼女は或る怖ろしいことを見て、ぞつとして突つ立ち上つた。マリアと入れかへた大きい人形が何時の間にか見えなくなつてゐた。

滿日臨時碁戰

先相先先番　井上太市初段
　　　　　　永田利八二段

一〜十九

—【12】—

●二二一ワ十九　○二二二チ十九　●二二三ヨ十九　○二二四チ十九
●二二五ツ十八　○二二六ル九　●二二七チ九　○二二八ト十九
●二二九レ十一　○二三〇ソ十　●二三一レ十五　○二三二ツ十九
●二三三レ十六　○二三四ツ十四　●二三五ツ十一　○二三六ツ十六
●二三七ツ十二　○二三八ホ十九　●二三九ホ十八　○二四〇ヘ十九

永田氏五目勝

けふの放送

大連 JQAK 一月十九日

▲午前七時ラヂオ體操
▲午後六時五十分ニュース
▲華語講座「テキスト第七十二課」滿鐵學務課秩父固太郎
▲長唄「雛鶴三番叟」唄岩崎、三味線平田夫人、ピアノ村岡樂童
▲ハーモニカ(イ)ジプシーラブレハー作(ロ)アメリカンパトロール・ミーチヤーム作(ハ)ドマーヴレキンイヴアノヴイチ作、永田彰男
▲義太夫「義經千本櫻忠信勝本三四、靜」淨瑠璃宮崎扇松、三味線鶴澤叶治郎、ツレ彈碇山夫人同三村すみ子
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニュース

東京 JOAK

一月十九日午後六時三十分
▲滿蒙特別講座「日本と滿蒙」中野正剛▲人形淨瑠璃「梅川忠兵衛冥土の飛脚新口村の段」（文樂座より）淨瑠璃豐竹古靭太夫、三味線鶴澤清六▲連續二人漫談「一九三二年風景」第二席德川夢聲、古川綠波、伴奏指揮福田宗吉

（明治卅八年十二月十五日 第三種郵便物認可）

滿洲日報

發行人 鈴木□ 編輯人 橋本喜□ 印刷人 木村武盛
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社
定價 一ケ月 金一圓二十錢 郵税 金十五錢 一部 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

過去二十箇月に亘る露支交渉徒勞に歸す
莫支那全權露都を引揚

【モスクワ十七日發】一昨夏以來露支交渉代表としてモスクワに在つた莫德惠氏は**過去二十箇月間に亘る交渉も徒勞に歸し本日遂にモスクワを後にハルビンへ向つて出發した、**滿洲事變以來露支會議は正式には決裂して居なかつたが、昨年十月外務人民委員次長カラハン氏と莫德惠氏との會見を最後として事實上停頓の狀態に在つたものである（寫眞は莫氏）

胡氏入京難

【上海十八日發】香港十七日來電によれば汪精衛、蔣介石兩氏の出馬來電に接した胡漢民氏は直ちに返電を發し依然血壓高く當分入京不可能なる旨回答した

日支の直接交渉は北平にて開くべし
學良南京政府に打電

【南京十七日發】國民政府は本日學良から左の如き對日問題對策決定せりや否やの問合せ電報を接受した

國民政府の對日對策決定せりや否や、若し滿洲問題對策がなほ決定に至つてゐないなら余は自己の方針に基きこれを處理する又若し日支直接交渉が行はれるならその交渉は北平にて開かるべきである

蔣介石氏の支持で新政府危機を脱す
近く重要宣言を發出

【上海十七日發】汪精衛氏の杭州行きと同時に蔣介石氏は近く個人の資格で現政府支持の重要宣言を發表するだらうと傳へられてゐる

崩壞されりとみえた南京政府が上海財界との諒解成立と相俟つて一應は危機を脱した譯である

胡氏が出馬せば共に南京へ赴く

【上海十八日發】杭州來電、汪精衛氏は十七日終日蔣介石氏と會見し南京行問題につき協議したが遂に「胡漢民氏が南京に出馬するならば自分等も出馬、入京し三名で事務に就くべし」といふに決定し即日その旨孫科氏に打電すると同時に廣東に在る胡漢民氏に對し北上を促す電報を發した、尙蔣介石氏は胡漢民氏の上海に來る迄は再

び惡化に因り汪精衛氏は杭州にあつて靜養する旨發表した

張海鵬氏動靜

來奉した張海鵬は十七日午後二時約一時間半に亘つて軍司令部に本庄軍司令官を訪問し來奉の挨拶を爲すと同時に種々意見の交換を爲したが、午後四時省政府に臧式毅、袁金鎧、于冲漢、趙欣伯氏らを訪問し新國家問題に關し協議するところあつた【奉天電話】

犬養首相引籠る

【東京十八日發】犬養首相は去る十六日以來齒痛みのため引籠中であるが議會開會間際のことゝて特に大事を取り本日の定例閣議にも出席せず官邸に臥床療養中である

高橋藏相快癒

【東京十八日發】舊臘來病氣引籠り中なりし高橋藏相はこの程全快したので十八日午前十時開會の定例閣議に久し振で出席した

愛國號で歸奉した本庄軍司令官　遼西方面の皇軍を慰問し十七日愛國號に初搭乘して歸奉した本庄軍司令官、飛行機から下りんとするが軍司令官

呉佩孚の兩代表舊直隷系を糾合
張學良懷柔に腐心

【天津十八日發】呉佩孚氏の代表曾裕韓、趙王璣の兩名は過日來津し舊直隷派を糾合し何事か畫策中なるが軍事は于學忠、冠英傑、財政は前財政總長張英華等がそれぞれ擔任して呉佩孚勢力の結束に當ることゝなつた、之に怖れをなした張學良は右二代表を北平に招いて懷柔を試みる一方張宗昌も自派に之を引き入れんと努めてゐる

滿洲代表の在京有志招待　上京中の滿洲代表は十四日午後五時から在京滿洲關係有志を新橋花月に招待し、松岡前滿鐵副總裁、小日山前滿鐵理事等も出席した

良民と同服裝の匪賊討伐の苦心
軍部の指導によつて警察隊の組織が必要

◇…日支衝突後、全滿蒙に敗走散在した兵匪の數は決して尠くない、それだけこれが討伐は至難なことである、殊に神出鬼沒の彼等匪賊が總て良民と同樣の便衣で何等特長のある目印があるでなく、また日本人には匪賊であるか、どうか直感的に見分けが出來ない不利が、より以上討伐に困難を感じ且つ討伐離に不覺の犠牲者を出すに至る事態を見ることになる

◇…彼等は匪賊を職業としまた敗殘兵も多分に匪賊の味を知つてゐて地方部落民或は官憲は彼等兵匪の暴虐なる後難を思ふとき、これを日本官憲の討伐隊に密告することを恐れ賊をかばふことゝなる討伐隊に雇はれる密偵は地方良民が彼等をかばふのでこれを透視することは出來ない、討伐隊と匪賊その間には戰はざる以前に既にこれだけの距離があり、加ふるに地理と防寒と逃走の早さがある、戰爭と討伐とは勿論同一視する譯には行かないから、戰爭で強い軍隊と匪賊討伐に二十數年間訓練されてゐる警察隊と合作して一擧にこれが討伐を決行したならば、犠牲者を出すことが少くして而も有効なる結果を見得るかと思はれる

◇…警察隊の巡捕が放つ密偵は匪賊搜査にはけだし最も効果あるものであらう、若しこの機會に積極的討伐を決行せざるにおいては高粱繁茂期には恐らく彼等の天下となり地方の治安はいふまでもなく、滿鐵沿線の脅威は今日以上で其慘禍も思ひ半に過ぎるものがあらうことを想像される

◇…若し軍警合作討伐不可能とあれば關東廳はよろしく警察隊を組織し一個中隊百名の四個中隊これを本溪湖、奉天、四平街、大石橋方面に分遣常駐し、その分遣處には滿鐵と交渉して臨時列車の出動用意を整へ、匪賊の動靜に應つて書類報告を略し電話乃至電報報告として迅速なる討伐行動に資することである、勿論軍の後援助力を得ざれば討伐の實を擧ることは不可能であるから、常に連絡をとり應援を乞ふことを忘れてはならない

◇…事變後の匪賊が各地における襲擊目標を見るに、事變前と異なつて少數の軍隊であり、警察官であり、居住日本人で而もその射殺を以て唯一の目的としてゐることを想到するに至らば、現在よりも高粱繁茂期、所謂匪賊の最活躍期における慘害はけだし夥だしいであらうことを覺悟せねばならぬ滿鐵沿線中間驛居住邦人の不安は其居住者以外のものには到底窺知し得ないであらうが、避難に次ぐに避難を以てする實情からして治安が維持され難いことだけは事實として見られる、この點からしても關東廳は當面の問題として附屬地の治安を保持するには、一歩當局が積極的討伐方法を講ずるの必要があらう

◇…軍事行動の一段落を見た今日軍の勢を察知して關東廳は治安維持のため警察隊を組織して軍の討伐に補助機關として出動し偵察に或は搜査に或は討伐に進むべきではあるまいか、此處にいふ警察隊は、所謂獨立警察隊の意味でその參謀は軍人を囑託にするもよからう、目的は一つの匪賊であつてもどうせ軍の指揮を仰ぎ援助を乞はねばならぬ立場であるからである

◇…だから先づ各地の事情を聽取し且つ意見を集めるため管下警察署長會議を奉天あたりに召集して、近く具體化せんとする新國家と協力して最も順應した適切な治安維持策を練るの必要も現下の關東廳には緊急な事業ではなからうかと思ふ、また治安維持の萬全を期するため關東廳としては本來の使命でもあらうことを信ずるのである、但し警察官の獨立隊組織にあたつては軍の意向もあらうし滿鐵としての考へもあらうから、各當事者との間に十分協議して萬全の方法を講ずべき必要は今更いふまでもない（長春文軒南里生）

吉林省政府長官再び反對軍に歸順を勸告
五項目の條件を提示し

吉林省政府の張作舟軍討伐隊は士氣益々旺盛で**十七日からは積極的に北進を開始しつゝあるが、**一方ハルビンの第二十八旅長丁超も吉林省政府が日一日とその基礎を鞏固にし省内の統一が進捗し且滿蒙新國家の實現が具體化して來たので何時までも反熙洽態度を保持する能はないことを感知しゐるため熙長官は十七日附を以て反熙洽軍の首魁**丁超に對し左の五ケ條よりなる歸順條件を送附、提示する處あつた**

一、濱縣政府を無條件にて解散し管内各縣にその旨通知すること
二、無條件にて解散せば重要人物の生命財産を省政府にて完全に保護す
三、省政府に屬する各縣長は吉林省政府に於て任命す
四、各旅、團、營長は當分更迭せず
五、各旅、團、營長は自發的に代表者其他を吉林省政府に派遣し歸順の誠意を表示すること

之を受理した丁超は張景惠、誠允王修其他と緊急會議を開催、善後策を講じつゝあるが、果して如何なる回答をなすやは頗る注視されてゐる、然し吉林剿匪軍の士氣旺盛なること銃器彈藥の豐富なること、兵數の大なることに對し**反熙洽軍は銃器彈藥の極度に缺乏せること勝算の見込なきところより自己の地位を保全するため寢返るものあること、積極的の戰意なく態度を曖昧にするもの續出**すること等から彼等が反熙洽軍と斷つのも唯時間の問題だとされてゐる、然し丁超一派は歸順條件として十六日頃洩らした處に依れば現狀の對峙したまゝ、卽ち吉林軍の北進した地點までを以て條件としその力の及ばなかつた處は從來のまゝ何等手をつけぬといふ虫のいゝ言ひ分でありし爲め之は勿論一蹴されたやうである【長春電話】

對日斷交問題は馮玉祥氏が支持
蔣、汪兩氏入京後決定

【南京十七日發】陳友仁氏の日支國交斷絕論は馮玉祥氏これを支持し居るが何分事重大のため目下杭州に在る蔣介石、汪精衛兩氏の入京後決定される模樣なるが、蔣、汪兩氏は國民政府の勸めにより近く南京に來る模樣である

朝野兩黨豫想の當選議員數
民政二百名以上確信

【東京十八日發】第六十議會は休會明け劈頭、解散必至と目され朝野兩黨は昨今選擧對策に忙殺されてゐるが、政友會では絕對多數獲得間違ひなしとして次の如く算定してゐる、卽ち全國府縣會議員總選擧の得票數、加ふるに第十六回第十七回總選擧の結果を參酌し全國を通じ現在より八十六名增加し合計二百五十七名としてゐる、之に對し民政黨は安達一派の脫黨により二百四十六名、民政黨無所屬を加へて二百五十名、結局如何に惡くても二百名を下る事はないと觀て政友會の絕對多數は不可能としてゐる

駐日米大使更迭
後任は現駐土大使

【ワシントン十七日發】駐日アメリカ大使フォーブス氏が近く辭任し、その後任として駐トルコ大使ジョーセ・クラーク・グルー氏が任命さるべしとの報について國務省はこれを否定してゐるが、確なる筋でフォーブス大使は近く辭職の意向を表明して居り既に數週間前よりグルー氏がその後任として擬せられてゐることであるから右は確なものと信じて居り既にグルー氏任命に關し東京政府に通牒、意向聽取中であるとさへいはれてゐる

人事

▲山西恒郎氏（滿鐵理事）十八日朝奉天へ
▲佐藤應次郎氏（滿鐵々道部次長）十七日夜奉天より歸連

蛇角（1932）

御歌會初めの御製、畏れ多いが大御心と國運發展の曙光とが織込まれたりと拜察す。

◇

議會解散見込濃厚、朝夜兩黨共に、絕對多數獲得の成算。

◇

對日斷交論に議論沸く、支那では成程大問題だからな、日本から見てはどちらでもよいが。

◇

採陣の對日斷交論、根據は人氣取りと賴來他力主義、これが拔けない間は支那は駄目。

◇

蔣介石汪精衛握手說、南京を離れた爾は木から落ちた猿、學良と結んでみても賴り少い、古巣は矢張り戀しい。

◇

新興力士の髷、國際會も持て餘して返還、力士髷全滅の期も近い今日、一二個保存も妙だらうに。

—◇—

西鄕隆盛の髷、伊藤博文公の髷など、博物館に陳列されてゐたら興味があらう。

山岡長官赴任
約三千名が見送る

【東京特電十八日發】山岡新關東長官は秦秘書官外三名を同伴、昨夜十時十五分東京驛發赴任の途についたが流石に人氣者の長官のことゝて千數百名の日本大學生、神州學生協會員、秦拓相、内田滿鐵總裁、貴族院藤村男その他約三千名の見送りあり山岡長官は「かくまで熱誠なる見送りを受けまして衷心感謝に堪へず、赴任の上は全力を盡し君國の爲め最善を盡します」と簡單な挨拶を爲した

大廟各山陵參拜

【宇治山田十八日發】山岡長官は秦秘書官帶同午前九時十二分宇治山田市着服裝を整へて九時三十分伊勢大廟に參拜新任の奉告をなしたる後畝傍に向つた

東亞の謎（178）

國枝史郎
挿畫 伊藤順三

大連の冒險（三）

隣の卓で五人の男が——それはいづれも日本人であつたが、さうしてビールを飲んでゐたが、そのビール瓶とコップとで、變なことをしてゐるのであつた。

右の頰に痣のある一人の男が、小供が冗談でもするやうな工合にそれでゐて四邊の人々に、氣づかれないやうに注意しいしい、こんなやうにコップと瓶とを並べた。

するど額に傷のある男が、有るか無しかに微笑しながら、三個ならんでゐるコップの一つを——それは中央の一つであつたが、それを取り上げて飲む眞似をした。

（あれは黄帮の茶碗陣だ。今やつたのはその一つの「巨魁來」といふ奴だ）

伯は心の中でさう思つた。

と、右の頰に痣のある男が、何氣ない樣子に一つ一つ、コップと瓶とを片付けたが、又それをこんなやうにこつそりと並べた。

（こいつは入會式ありといふ意味だ）

伯は直に知ることが出來た。

と、前齒の缺けてゐる男が、卓上の眞中に立つてゐるコップを取ると唇へ持つて行つて飲む眞似をした。痣のある男は微笑したが、素早くコップと瓶とを片付け、それから又も並べ出した。

その樣はかうであつた。

（五人の新入會員ありといふ意味だ）

見てゐた伯は直ぐ思つた。

と、一番年長らしい、四十五、六の肥えた男が、右の端のコップを取り上げて、唇へあてゝ飲む眞似をした。

コップと瓶とは片づけられた。が、痣のある男によつて、又こんなやうに並べられた。

（一人は犠牲とならざる可らず……あれはかういふ意味の符だ）

松下伯はさう解した。

と、蕭洒とした夕キシードを着た、二十八、九の色の白い男が、卓上に置いてあるコップを取ると唇へ持つて行つて飲む眞似をした。

（解つたといふ意味なのだ）

伯は頷いて然う思つた。

コップと瓶とは片づけられた。が、またそろそろと並べ出された。

この間にもホールでは、ジャズが奏されダンスが踊られ、茶碗陣をやつてゐる卓の前を、無數の男女が踊り拔き通つた。

しかし誰もがこの黄帮の、不思議で微妙な茶碗陣の、行はれてゐることは知らなかつた。

伯は飾ら隣りの卓を見た。

コップと瓶とが、かう並べられた。

（一人は犠牲を行はざる可らず——あれはかういふ意味の符だ）

昭和第七春を壽ぎ奉る 歌御會始の御儀

けふ宮中鳳凰間にて行はせらる

【東京十八日發】昭和第七春を壽ぐめでたき歌御會始の儀は豫定の如く十八日午前十時より宮中鳳凰間にて　天皇、皇后兩陛下出御の上勅題「曉鷄聲」を披講嚴かに行はせられた、この日早朝御儀の間に飾設終るや九時半には鷹司點者たる入江御歌所々長を始め講師德川達孝伯以下諸役荒木學習院長、東大講師ドイツ人クルト・ジンゲル氏等陪聽者十二名參入定めの席に着き終れば十時天皇、皇后兩陛下出御あらせられ詠進四萬餘首から選ばれた選歌に續き各皇族殿下詠進歌の披講ありて皇后、皇太后御歌の披講後御製の奉讀あり十一時三十分式を終へさせられた

御製

ゆめさめて　わかよをおもふあかつきに　長なきさりの　こゑそきこゆる

皇后宮御歌

有明のつきなほのこる空までも　のさかにひびく　にはさりのこゑ

皇太后宮御歌

くらきよにまよふ心を　さまさむと　曉はやく鷄のなくらむ

大勳位雍仁親王妃勳一等　勢津子

まつはらのおくよりひびく　さりかれに　やしほち遠く　しらみそめたる

海軍大尉大勳位　宣仁親王

天日のかゝやきいてむ　うれしさを　まつほからかに鳥うたふなり

大勳位宣仁親王妃勳一等　喜久子

なかき夜もあけかたなりさ　ひさひさを　ゆめよりさます庭鳥のこゑ

選歌

東京府陸軍中將大島健一女　静子

しらしらさ湯川のけふり　みえそめて　鷄かれずなり伊豆のやまさと

京都府　小室昌信

しらみゆくやふれのまさに　きこゆなり　みなさのまちの　にはさりのこゑ

京都府　村田ちか子

大川のかはなみしろく　あけそめて　つゝみのいえに　さりかれそする

京都府　小石八千代

ものゝふのかさてをいはふ　はたみえて　あけゆくささに　にはさりのこゑ

愛知縣　坂井田順一

くみあけし筒井のみつに　あかつきの　ひかりうこきて　さりのこゑする

兵匪團鐵嶺を包圍

關東廳に警官增員請願

城内襲撃事件以來武器少きを知る兵匪團は三度當地襲撃を企圖しつゝあるもの如く犇々と縣城に接近し中間驛を脅かし十七日の如きも平頂堡東方一里憨永寺の山中に百五十騎の兵匪潜入し同夜平頂堡を襲撃すべく戰備中を探知せる警察署では午後十時貨車にて加治部長以下十餘名を急派したが折から近來稀なる大雪に阻まれて襲撃を中止したるもの如く十八日朝にいたるも移動の氣配なく引續き警戒中

更に一方新臺子にも十七日夜老來好の一團襲來説あり荒木部長以下十餘名が急援敵脅警戒したかくの如く今や鐵嶺を中心に四方は兵匪に圍まれ縣下八區のうち賊影をみざる區域なきまでに侵入蹂躙せられ北は施家堡子、廖雲堡等に金山好の精鋭二千餘があり西は八區から五區新臺子西方二里の地點に迫り南東は大甸子より四區二區一區までも侵略せられ東北は金家寨馬家寨一帶に千餘の集團あり

これに對する守備隊は勿論警察官の如き文字通り連日連夜不眠不休の警備で八日目每に僅かな休養が與へられるのみで既に病に臥す人もあり憂慮すべき狀態にあるをもつて鐵嶺時局後援會では遂に當地各機關を代表し關東廳に對し警察官增員請願の電報を發した【鐵嶺電話】

前小煙臺附近で 兵匪を剿滅

遼陽を狙つた天下好

獨立守備第○大隊の討伐隊は遼陽を西北方より挾みうちせんさせる匪賊團老北風の部下天下好の率ゆる五百の兵匪さ十七日午前七時煙臺西方約四里の地點王家溝、前小煙臺の間に於て大激戰を演じ賊を全滅せしむるに至り威風堂々赫々たる武勲をたて、出動地遼陽に引揚げた

この大部隊の匪賊討伐はわが○○隊の包圍攻擊によれるものにて大石橋第○大隊長岩田中佐の率ゆる第○中隊長東海林（熊岳城）部下は王家溝より第○中隊長森軍部下は小新庄屯第○中隊長葛沼部下は夏字窩棚より天下好匪賊團の根據地前小煙臺に向ひ包圍攻擊をなすべく十七日朝午前一時遼陽を出發煙臺に同二時着それ〴〵部處につき準備終了したのは午前六時半、岩田大隊長の指揮により午前七時攻擊を開始し賊は西方に向ひ退却し始めたので我勇士は獅子奮迅の大接戰を演じ見事掃蕩したもので第○中隊の正面に遺棄せる敵の死體百餘十、馬六十、鹵獲品は馬五十、長機彈藥多數で我れに何等の損害も無かつた【熊岳城電話】

松尾輜重隊 死體發見

傳騎と共に

十六日混成○○旅團の搜索の結果松尾少尉指揮の輸送官兵並に傳騎合計三十名の死體が錦西の西方で發見された【奉天電話】

滿鐵の貧困學兒救護卅七名

滿鐵經營の各地小學校の貧困學童救護數は昭和六年十二月末現在で總計三十七名（十八世帶）でその内譯は安東十三、奉天七、瓦房店、開原各三、鞍山、四平街、公主嶺、長春、遼陽各二、ハルビン一で前年度に比し三名を減じてゐる

性別は男子二十五名、女子十二名で保護者の收入は無收入六、十圓以下四、三十圓以下六、六十圓以下四を示し貧困の原因は世帶主の死亡四、不具二、疾病一、係累過多三、失業四、不景氣五となつてゐる

監部通强盜 狂言か

申立が疑しい

十七日午後五時五十分ごろ市内監部通百廿番地藤原カツ（四二）方へ二人組の支那人强盜押入り主人の不在を幸ひ女を脅迫し現金一圓九十錢を强奪逃走した事件の屆出で大連署刑事隊は直に現場に急行し檢證したところ要女の言葉に不審な點多くどうやら虛僞の申立らしいので直に非常警戒を解き引續き藤原カツにつき取調べてゐる

中等學校の 入學考查日決る

女子商業校が皮切り

昭和七年度の大連市内男、女各中等學校新入學生選拔考查日は左の通りである

▲大連一、二中學　三月二、三の兩日
▲大連商業　二月廿二、三の兩日
▲神明、彌生兩高女　二月廿六、七の兩日
▲大連女子商業　二月十九、廿の兩日

なほ右各校の募集人員は神明、彌生兩高女が各百九十名、大連女子商業が八十名、大連一、二中、大連商業等は何れも未定で兩三日中に決定の筈

入江たか子東坊城監督 遂ひに日活を脫退

池永所長の交渉不調

【東京十八日發】昨年十二月獨立プロダクシヨン設立を標榜して日活を去つた東坊城恭長、入江たか子兄弟は後援者細川氏と今後の方針につき協議の結果一應池永日活社長とも種々意見を交換したが池永社長は東坊城の要求は容れず入江のみの復活を要求したので十七日夜細川氏より脫退の聲明書を池永社長に手交した、斯くて東坊城兄弟の日活脫退は實現した

入江たか子本名東坊城英子即ち東坊城子爵の第三女で明治四十四年生れだから本年とつて二十二歲、昭和二年三月東京文化學院中等部卒業、在學中から演藝に趣く深く、卒業後は京都のエランヴエタル小劇場の主要メンバーとして活躍してゐたが認められて同四年一月日活へ入社した、今日の大をなす緒口は村田實監督の「生ける人形」以來現代劇部では夏川靜江と並んで堂々たるスター振りを見せてゐたが、最近片岡千惠藏の「元祿十三年に」共演し、時代劇にも亦充分の腕を有することを示し日活の至寶とまで云はれる程となつた、脫退の直接原因は昨秋の日活社剰員整理の際兄東坊城恭長監督の進退が問題となり、結局たか子の脫退を恐れて東坊城監督の犧牲となつて阿部豐監督が馘首された事に關し、たか子が兄恭長監督に同情してのことと云はれてゐる、たか子の日活に於ける最終の作品はサトウ・ハチロウ氏原作、東坊城恭長監督、たか子主演の「淺草悲歌」であるが、從つて同映畫は恭長監督の最終の作品でもある（寫眞は東坊城監督と淺草悲歌でつくばれおけいに扮した入江たか子）

暴力團襲擊說に 力士團警戒

天龍以下何れも避難

【東京十八日發】十七日午後突然國粹會から返却された髷の處置につき同日夜協議を進めやうとしてゐた矢先駒込の新興力士團本部に午後六時二十分「佩政一派百餘名が今夜襲擊すべく準備中」との慥報が駒込署より入り同時に危險を慮つて一時避難の勸告があつた折柄夕食中の居合せた天龍以下の力士團は早速それ〴〵立退き階上に病臥中の山錦も遅れて避難したが一方同署では時を移さず綱島警務課長に報告すると共に同署の警官應援の下に約百名で力士團本部の內外附近の警戒に當つた日中外出した力士がそれと知らず歸宅し警官に占領された本部附近の物々しい警戒に驚いて再びいづれかに立去るなど一沫の不安が漂つたが十一時過ぎになつて漸く警戒線が解かれた

朝鮮銀行の平壤支店で 七十八萬圓消える

けさ金庫を開け發見

【平壤特電十八日發】十八日午前九時頃平壤府里門里朝鮮銀行支店江口支配人代理が出勤して大金庫を開けると各貨幣取り混ぜて七十八萬圓が盜難にかかつて居るので大に驚き直に平壤署に屆出でた、同支店では十六日から每夜三名交替で夜勤して居たが何時の間に盜られたか不明である、警察では大金庫非常口から侵入したと認めて居るが一說には外部から侵入の形跡はないものともいはれ近頃の怪事件である

トランク一杯に 詰め込んで逃亡

消費組合本部に怪盜 贓品から足がつき逮捕

十四日午後十時ごろ市內西公園町滿鐵消費組合本部の硝子窓を破壞して侵入し、懷中時計三十一個價格約八百圓、オーバ、洋服、女コート、反物約五十點價格約四百圓の物品を大型トランク一杯詰め込んでゆう〳〵逃走した怪盜事件あり大連署司法係では遠藤、河野、佐々木、舟曳各刑事が必死の搜査を續けた結果市內質屋から多數の贓品を發見、犯人は元遞信局工務課第一修繕部員だつた熊本縣生れ住所不定上野義行（二三）と判明、同人の立廻り先

江口副總裁が けふ寫眞展へ

江口滿鐵副總裁は晝食後の小閑を利用して十八日午後零時二十分八木秘書役、山崎總務部次長を帶同し本社の時局展覽會に赴き佐賀支配人の案內で會場の隅から隅まで觀覽、目の當り第一線にある將士の戰鬪や陣中生活の狀況を見て「貴重なものばかりだ、僕も一部頒けて貰つて保存しやう」など感心してゐた、それから印刷所の作業狀況を見學し新聞工場では高速度輪轉機其他を見て「こんなに詳しく新聞社の內部を見たのは始めてだ、有難う」と述べ五十分歸社した【展覽會場の副總裁（右一行）】

街頭で十一名が落命

大連署管內の交通事故 昨年になり始めて數字が減る

都市生活者の前に常に大きな脅威を與へてゐる交通事故はスピード時代が生んだ當然の結果として每年增加し、街頭の血腥い慘事も年々二百件に近い戰慄すべき統計を現はしつゝあるが一九三一年における大連署管內の狀況は同署保安係が事故防止を計畫し街角の擴張、標燈標識の新設、交通訓練デーの實施等によつて近年來の事故統計に比べ初めて減少の數字を現はしてゐる

卽ち昨年中の交通事故總數は二百二十六件、昨年に比し百八十七件の減少、內譯は依然自動車事故が多く百八十三件を占め自轉車六十二件、電車三十六件、オートバイ十件、汽車八件、馬車人力車その他十八件で、これ等事故の犧牲者となつて街頭に血を流した重輕傷者は百八十九名、死亡者十一名で自動車の犧牲者は依然九十名といふ多數を占めてゐる

次に之等交通事故による損害は總計六百五十九圓二十錢で、自動車の損害が二千三百五十二圓と斷然多く汽車の二千圓、電車の五百七十九圓、人力車の六百八十二圓、自轉車の三百三圓、オートバイの二百六十五圓の順である、事故發生の場所は繁華な十字路は互ひに注意をするので比較的尠く浪速町九件、伊勢町五件、大山通三件といふ數字であるに反し松林町、初音町、桃源臺方面三十四件、春日町十六件、常盤橋十件、西廣場十三件、大廣場十一件が主なるものである

窃盜露人引致

水上署では天津日本總領事館警察より手配により十八日入港天津丸にて密かに來連せる舊ロシア人スレビッチ（三七）を窃盜容疑者として引致目下天津に照會の上取調中因に同人は時計窃盜を犯したもので あるが餘罪ある見込だと

窃盜被疑者として取調中十八日午前十一時ごろ大連醫院の温浴室に隱れてゐたところを難なく逮捕した同人は昨年十月頃馬事の友社に勤務中百餘圓の業務上橫領を行ひ大連檢察局で起訴猶豫となつたもので餘罪多數の見込みである

刀靈祭執行

十七日第十四回刀劍研究會は初春に當り刀靈祭を執行し多數の參會者あり終會裡に午後五時散會したが出品刀の主なる中今回の東京撮影のため亞東印畫協會左內繁雄氏實地出張中馬賊頭目が所持してゐた一部支那孩へにした石燃刀二尺二寸が異彩を放つた▲奥州仙臺住國包刀第一中學校▲長曾禰興里刀五泉智三▲飛騨守氏房刀森泉倫和▲備前家守刀山行光刀篠岡久安▲豐州高田住良龜太郎▲越前國康繼刀黑木美雄▲宇田國宗刀細野長松▲川合久幸脇差同人▲越前國源宗弘脇差長島幸吉▲長州顯國脇差吉川長造▲無銘脇差仙福岩二郎▲大村光世短刀津上善七▲了戒擢上ゲ刀內藤四朗

聖德公園に 辻强盜

通行人が逮捕

十七日午後五時半ごろ市內櫻町五十番地桑原嘉惣次方長野かず（二三）が聖德街一丁目停留所より公園內を通行中突然暗闇より支那人現はれ「奥さん一寸」と呼び止め驚いて逃げんとしたかずえを押し倒し所持せる風呂敷包みを強奪し逃走せんとしたので同女は泥棒々々と連呼せるため附近通行中であつた市內聖德街二丁目中川榮太郎、同木村勝也の兩氏が引捕へ聖德街派出所に突き出した取調べの結果犯人は河北省生れ當時住所不定の岳篤山（二〇）と判明、引續き餘罪取調中

青森縣鰺ケ澤 今曉大火

二百六十戸燒く

【青森十八日發】青森縣西津輕郡鰺ケ澤町柳町日傭業酒井金作方より十七日午後十時二十分發火折柄の十五米の强風に忽ち燃え擴がり附近町村から駈附けた消防隊の努力も空しく遂に新地町五十一、漁師町六十七、新町五十二、釣町三十二、濱町九計二百六十三戸を舐め盡し十八日朝三時二十分漸く鎭火した

同所は水利の便惡く海水を利用せんとしたが意の如くならず斯く大事に至つたもので詳細なほ不明である

妻女庖丁自殺

市內白金町九〇滿鐵社員山田榮太郎妻セキ（四〇）は十八日午前一時五十分ごろ家人の就寢中炊事場にあつた野菜庖丁で咽喉を搔き斬り紅に染まつて苦悶中を夫榮太郎が發見最寄の醫師を招いて應急手當を施したが頸動脈切斷で午前二時三十分遂に絕命した

原因は最近精神に異狀を來たしてゐるため發作的に行つたものらしい

金州丸に無電

海務局では州內航路標識確立について努力を續け本年度中にその完成を見るが同時に海難救助或は航路標識修理等に今後屢々同局所有船の出張を見る筈なので今回檢疫船金州丸に新に眞空管式無電設備を施す事となり既に滿洲ドックにおいて起工中二月一杯にて完成の見込である

カザン鐵慘事

卽死六十八名

【モスクワ十七日發】去る二日モスクワ郊外カシノ驛附近で列車が顚覆し卽死者六十八名重輕傷者百三十名を出すの大椿事が起つたが、右事件は公表を禁止されてゐたが、椿事の責任者として起訴された鐵道の役人十一名の第一回裁判が本日行はれたので初めてその詳細が公表されたのである

獻金募集成績

大連教化團體聯盟では十七日の日曜日を期し年末年始の節約による時局獻金を募集したが市內十三ケ所の獻金箱で合計百三十一圓七十七錢の獻金があつた

酒母麴品評會

關東州酒造組合では來る二十三日午前九時より大連民政署に於て酒母麴品評會を催し同時に新酒持寄會をも併せ催すと

時局講演會

沙河口青年聯盟支部、在鄕軍人その他同地修養團體合同主催にて十八日午後七時より沙河口小學校講堂にて關東軍附臼田少佐の時局講演會を催すと

寒稽古納會

沙河口署では十九日午前十一時より同署演武場にて署員の寒稽古武道納會を行ふと

うらる丸船客

【門司特電十八日發】二十日入港うらる丸の主なる船客諸氏左の通り

帝大教授平林武、同橋本傳右衛門、同那須幸、車輪會社員田中太助、貿易商小澤太兵衛、副島四郎、三神吾朗、大同海運社員辻針吉、國吉喜一、杉野耕三郎新興キネマ一行

天氣豫報　十九日

北西の風晴

各地溫度　十八日午前十一時　十七日最低

	十八日午前十一時	十七日最低
大連	零下二、四	零下九、〇
旅順	〇、八	同七、八
營口	零下四、七	同一五、一
奉天	同八、五	同一八、五
長春	同一三、〇	同二三、四

けふの小洋相場（十時）　金百圓は一八〇圓八〇錢

武門血笑記 (27)

下村悦夫作　布施長春挿畫

愛憎の盾 (三)

久し振りに吸ふ外氣！ しつとりさした月の光！ 濺之丞の心は、おのづから明るく躍つた。自分では意識してゐないけれど、城下へ向いた彼の足も、自然さ小急ぎになつてゐた。

思はぬ出來事のために、久しく振りで見る兩親や兄の顏、友達や師匠の溫顏！ それにも增して、彼の心を時めかしたのは、夢現の間にさへ忘れるこさの出來なかつた戀人お梨花の美しい顏であつた。彼の女の事を思ふさ、濺之丞の胸は風に吹かれる若芦のやうに爽かに揺れ渡る——。

か、彼の行く手に、奈何な事が待つてゐるか？ 何ンにも知らない彼は、明るい事ばかりを考へながら、歩一歩城下へ近づいて行くのであつた。

「おう、こゝだつた！」

濺之丞は、いつか、黒兵衛の邸

首を窺しに來た晩、禰馬や作樂と集つたる茶屋の前まで來るさ、思はず、足を止めて、かう呟いた。

「陣野や白井はどうしてゐるだらう……？」

するさ、瞬轉、戀する者の繊細な心は、次ぎのやうな事を思つた。

(俺の不在の間に、お梨花どのは二人のうちの何れかにッ……)

濺之丞は、我さ我思ひにぎょッさして、不図の眉をぐいッさしかめた。が、直ぐ、

(馬鹿なッ、そんな事があるものか！)

自分で自分を云ひくるめるやうに、心の中でかう云ふさ、己の邸のある方角へ、スタ〳〵さ大股に足を早めた——。

また、夜更けさ云ふ程でもないが、人通りの稀な屋敷街には、森さ月の光が照り渡つて、濺之丞の跫の音が寂しく響く……。

さ、彼の邸の近くの、兎ある曲り角まで來た時であつた。向ふから來る男女の姿が、月の光に、描き出されたやうに美しく現れた。

戀人同士か、睦しく肩を寄せて靜かに歩い來るらしいその姿！ 濺之丞の眼は、吸ひ寄せられたやうに、その姿をぢつさ眺めた。途端その口から、

「むッ」

さ、迸つたのは、押し殺されたやうな沈鬱な叫び聲！ 彼はヒラリさ、物陰へ身をかくして、二人の姿にぢつさ見入る。

しめやかに語らひながら、次第に濺之丞のかくれてゐる前にさしかゝつた男女——。おゝその二人！ それは濺之丞が、驚いたのも無理がなかつた。陣野禰馬さお梨花さであつた。二人が歩いて來た方角から察しるさ、どうやら、お梨花が陣野の邸を訪れた歸り途を、禰馬が送つて行くものらしい。

今は、天下晴れての許婚の間柄、二人は餘で鴛鴦のやうに、睦じい禰馬が低い聲で、何事か囁くさ、お梨花は甘えたやうに、ホヽさ笑ふ、そして、こゝに濺之丞が、物陰に身をひそめて、自分達の樣子を見て居やうなざゝは露知らず問もなく、彼方の通りへ曲つてしまつた。

濺之丞は、彼さして、見るべからざるものを、見たのであつた。知るべからざる事を知つたのであつた。すッくさ、物陰から立ち上つて、二人の姿を見送つた彼の眼からは、煮湯のやうな涙が流れ落ちた。

「知らなかつた！ 知らなかつた！ こんな事があらうさは、露ほども知らなかつた……」

濺之丞は、がつくりさ頭を落す醜口のやうに、かく呟いて、ギリ〳〵さ齒を噛み鳴らし、夢遊病者のやうにふら〳〵さ歩き出した。

オリエンタル歌劇團來演　廿一日常盤座

オリエンタル少女歌劇舞踊團が來る二十一日から常盤座に來演するこさに確定した、一行は女優軍を中心に二十六名の新進歌劇團で新しいジャズバンドさ共に春を唄ひ流行を躍り、香川靈驗解説の映畫漫

一行中の花形華丘洋子は帝劇舞踊部第三期生で、赤坂に華丘舞踊研究所を開き先年歐米を巡遊し、加入しダンスさ唄を得意さし、橘美智子は藤間流の舞踊名手でマキノ、日活を經てレヴュウ團を組織した事あり舞踊を得意さし「唐人お吉」が呼び物にしてゐる、高砂峰子は大阪松竹樂劇部出身でスズラン座のスターさして活躍した事あり、ダンスさ三枚目役を得意さしてゐるさ【寫眞はジャズダンス】

新興キネマ　發聲準備　今春は本腰に

松竹蒲田の城戸所長は今回年四十二本のトーキー製作を發表して蒲田に於けるトーキー萬能時代來るを思はせてゐるが、日活に次いで新興キネマでも帝キネ時代「赤垣源藏」「子守唄」等のトーキーを發表後鳴りをひそめてゐたが、昨秋秘密裡に木村荘十二監督でサトウハチロウ原作の「昨日の唄」を松狂兒、森静子主演でトーキーさしての製作を行ひ、研究をつゞけつて居り着々トーキー製作に對する準備を進め今春には本腰で愈よ乘り出すものさ觀測される同社の幹部は「トーキー製作準備は進めて居り當方さしてもいざさなればどし〳〵やります」さ語つてゐる新興側さしても愼重な態度でかゝ

トーキーに降伏した　チャップリン

「街の灯」を製作後歐洲巡遊に出發したチャールス・チャップリンは英國、佛國、獨逸等を歷訪して近く日本にも來朝するさの噂があるが、氏はトーキーに反旗をひるがへして製作した「街の灯」がロンドン、ベルリン其他の國においても思ふやうな成績をあげ得ず同作品の配給權を獲得した人々が、その料金の餘りにも高額なるに反し成績が思はしくなく不評判であるさ言ふ事實に、大いに心痛し、一時は撮影所の全員を解散して映畫製作を斷念するかの如き態度を示してゐたが、最近に至り「街の灯」がトーキーであればより以上の成績をあげ得たさ言ふ確信を得たもの、如く從來反對の態度を示してゐたトーキーの製作を決意してこの第一回作品さしてストーリーを物色中のさころブロードウエイの當り狂言「ザグッド・コンパの陣組。

本社特選 新棋戰 (其一)

角落 八段▲土居市太郎
四段△鈴木禎一

【圖は四四歩迄の局面】

▲鈴木氏「持駒」ナシ

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
香	桂	銀	金	王	金		桂	香	一
	飛					銀			二
歩	歩	歩	歩	歩		角	歩	歩	三
					歩	歩	歩		四
									五
			歩	歩					六
歩	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	七
							飛		八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

△土居氏「持駒」ナシ

△二六歩　▲三四歩
△二五歩●　▲三三角
△四八銀　▲三二銀
△五六歩　▲五四歩
△四六歩　▲四四歩
△五七銀　▲五二金右
△六六歩●　▲六四歩
△三八金　▲四三金

【土居八段講評】△上手直に二五歩さ突出した目的は敵若し角聞の際は三三角さ上らせ次に四二角さ引かす方が手順の損益に關係するので斯く指したので、大駒落の如き上手絕對見込みない局面には斬樣な僅少な作戰にも注意をして置かなくてはならない。續て六六歩さ指したのは敵に六四歩さ受けさせ角の働きを薄くしやうさの意ぺであつて、勿論敵六四歩さ受けなければ機會を圖り六五歩さ突き出す心算である。

【萩原六段解說】上手(土居先生)の二五歩は後に二五桂跳の構崩しの手は出來なくなるのであるがこの二五桂跳の順は上手攻め過ぎの嫌ひがあるので二五歩さ突き、そして敵に三三角さ上らして後に四二角さ引かし、その間下手の構聞ひに一手の差を生じるそれは上手が二五歩さ北處で突かないさ下手は次に三三銀さ上り次に四三金の構へにして三二玉さ移し三一角の順になつて飛車先の八六歩を切り同歩、同角、八七歩の時手順に四二角の形に出來るので一手の差を生ずる。又下手が早く上手六六歩に對し六四歩さ突き三一角の進出が一時消えても、それは三一角の形で陣形を整へ、後に七五歩、同歩、六五歩、同歩、七五角の進出さなつて一旦四二角さ引くのさはそこに一手の差があるので、上手は前述の如く二五桂の手は消えても早く二五歩さ突いて三三角さ上からするのである。以下の手順は角落に於ける下手構聞ひの陣組。

噂話

各館さも一寸一服さいつた中ダレのさころへ寶館は依然好調をつゞけ▲日曜日に「緋鹿子草紙」再上映さマキノ、右太プロの三本立で俄然ヒットし午後六時五十分に木戸止めをしたさいふ凄い景氣であるが▲けふから大日活が東活で二十錢興行をするので、どんな風に寶館に響くか▲この對戰こそ注目されるが、もし大日活に對抗して好調だつたら祝杯をあげるさ力み返つてゐる▲映樂館のメトロ發聲映畫「肉體の呼ぶ聲」は發聲効果が百パーセントださ果然ウエスタンが凱歌を奏し好評を博してゐる▲それに外人客が開館以來益々殖えて來たこさもいよ〳〵目立つて來た、このチャンスに一つクリーンヒットを飛ばす必要があらう

オンス」(好い仲間)に白羽の矢を立ててその權利を獲得したから或は東洋行も中止して同映畫の製作に專念する事になるやも知れぬさ言はれてゐる